技術サービスのバナーをクリックすると
掲載ページに移動します

MYエスロン® 技術サービス

本カタログに掲載している製品の配管検討に役立つツールを
公開しております。ぜひご活用ください。

MYエスロン 技術サービス で検索

SEKISUI 環境・ライフラインカンパニー

エスロンタイムズ
https://eslontimes.com
二次元コードで
アクセスはコチラ!

専用の管理ページでさらに便利に!
あなただけのエスロンタイムズ MYエスロン®

*記載価格はメーカー希望標準設計価格です。
*価格には消費税は含まれておりません。
*記載価格は2025年8月現在の価格です。
*製品の色調は実物とは異なる場合があります。
*記載事項は予告なく仕様変更する場合があります。

不許転載

2019年10月 初 版
2025年 8月 改訂12版

エスロンプラスチック単管式排水システム
耐火プラAD継手HG・SGカタログ

積水化学工業株式会社
給排水インフラ事業部

ツールコード
No. 05643
2025. 8. 4TH TX

SEKISUI

2025.8 改訂12版

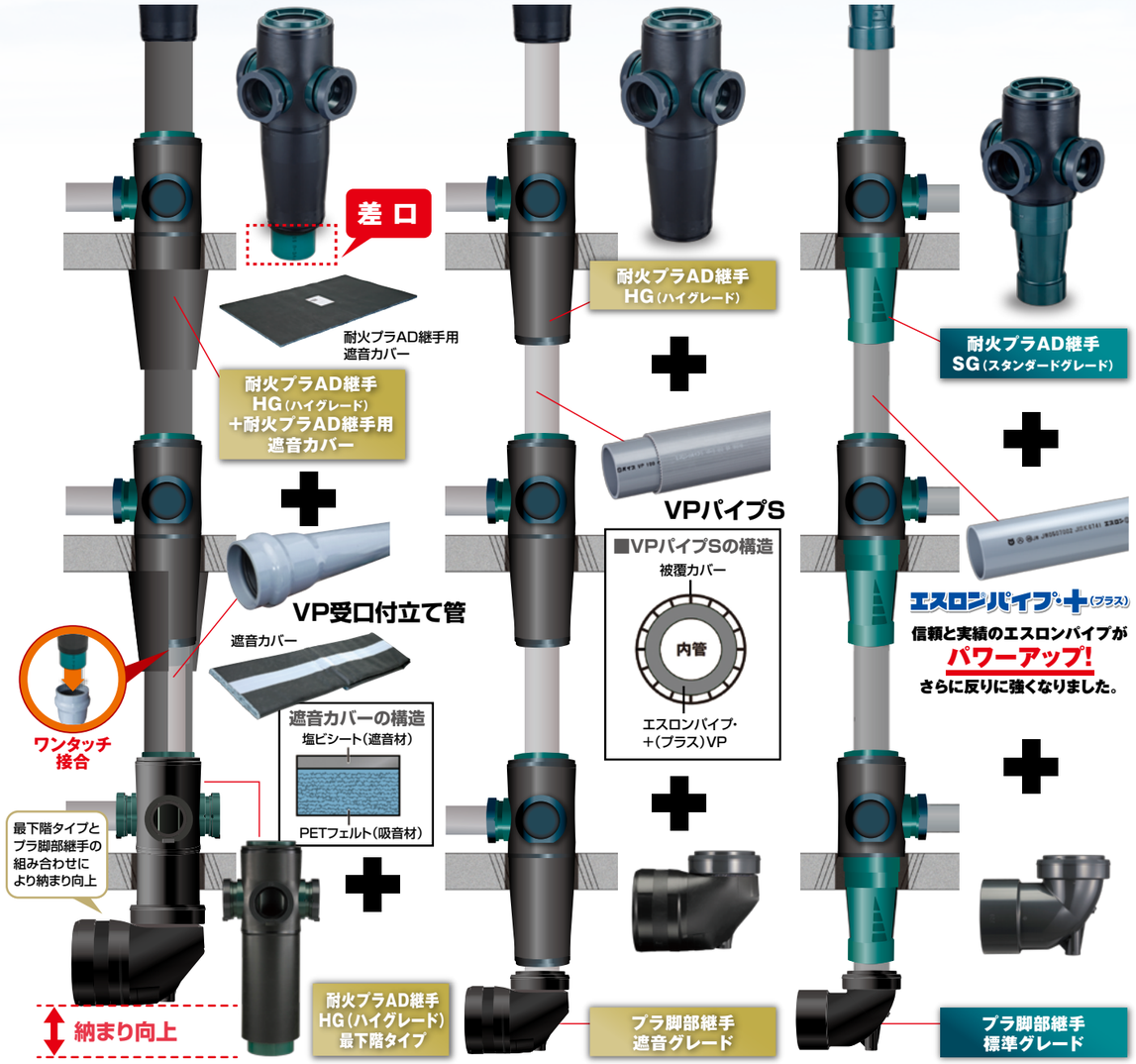
■建物用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管・継手(建物排水・通気用)

エスロン® プラスチック単管式排水システム

耐火プラAD継手HG
耐火プラAD継手SG
プラ脚部継手
エスロン®パイプ・+(プラス)
VPパイプS
VP受口付立て管

単管式はプラスチック時代へ。プラ脚部継手の開発により立て管から横主管までオールプラ化を達成！

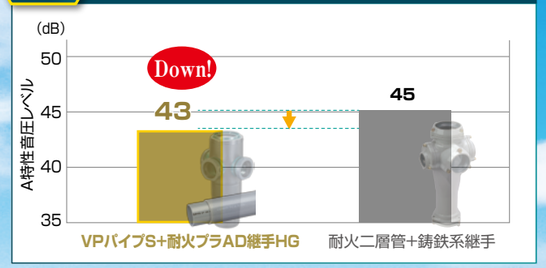
積水化学は独自の耐火技術を用い、2011年にプラスチックによる
単管式排水システム、耐火プラAD継手を開発しました。
2019年には、プラスチックの耐食性はそのままに**遮音性、施工性の向上**を実現した
耐火プラAD継手HG･SGが登場。
立て管、横枝管ともエスロンパイプ･＋(プラス)VPの接続が可能で更に経済的になりました。
そして2020年、プラ脚部継手の開発により**立て管から横主管までオールプラ化を達成**。
同時開発の耐火プラAD継手HG最下階タイプと組み合わせることで、
更なる納まりの向上を実現しました。
充実の品揃えで高層階にも中低層階にも安心してお使いいただけます。



耐火プラAD継手 HG･SGの 3つの特長

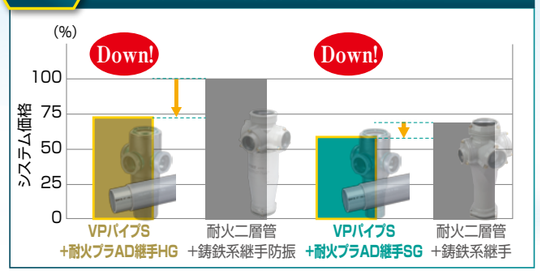
遮音 遮音性能が更にアップ！

遮音設計を一新。非常に高い遮音性を実現します。



コスト削減 更に経済的に！

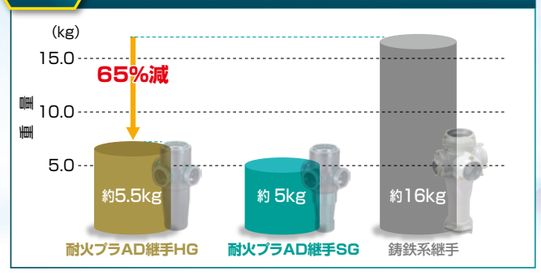
VP管との認定を取得。経済的な配管が可能です。



※パイプで防火区画貫通する場合は耐火VP管で貫通してください。

コンパクト・軽量 施工性も更に進化！

継手重量は鋳鉄系継手の約1/3。簡単に持ち運びできます。



プラ脚部継手／耐火プラAD継手HG最下階タイプ

特長1 オールプラ化で耐久性向上

立て管から横主管まで錆の心配はありません

特長2 天井配管の納まり向上

最下階タイプとの接続で枝下長さは最短290mm
※プラ脚部継手は耐火プラAD継手HG･SGとの接続も可能です

特長3 軽量・易施工

弊社鋳鉄脚部継手の約1/3
（4.2kg：遮音グレード 100×150の場合）

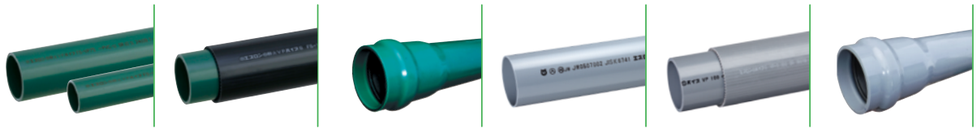
INDEX

耐火プラAD継手 HG·SG

SG(スタンダードグレード)　HG(ハイグレード)

page 13

耐火VPパイプシリーズ／エスロンパイプシリーズ



耐火VPパイプ　耐火VPパイプS　耐火VP受口付立て管　エスロンパイプ・＋(プラス)VP　VPパイプS　VP受口付立て管

page 31

耐火DV継手／透明耐火DV継手／耐火DV遮音継手

耐火DV継手　透明耐火DV継手　耐火DV遮音継手

page 34

脚部継手

プラ脚部継手 標準グレード　プラ脚部継手 遮音グレード　AD脚部継手

page 41

耐火プラAD継手HG·SGとは …… 4
流下のしくみ …… 5
最下階合流システムの適用、許容排水量と許容階数 …… 6
各システムの特長 …… 7
耐火認定·評定範囲 …… 9
品揃え·規格 耐火プラAD継手HG·SG …… 13
品揃え·規格 耐火プラAD継手HG·SG 関連製品 …… 28
品揃え·規格 耐火プラAD継手HG 二段タイプ …… 29
品揃え·規格 エスロンパイプ·+(プラス)VP、VPパイプS、VP受口付立て管、遮音カバー …… 31
品揃え·規格 耐火VPパイプ、耐火VPパイプS、耐火VP受口付立て管、遮音カバー …… 33
品揃え·規格 耐火DV継手、透明耐火DV継手 …… 34
品揃え·規格 耐火DV遮音継手 …… 39
品揃え·規格 プラ脚部継手 …… 41
品揃え·規格 AD脚部継手 …… 42
品揃え·規格 AD脚部継手·ADメカニカル継手 …… 43
品揃え·規格 関連製品 …… 44
配管の納まり例 …… 45
支持金具の納まり例 …… 49
標準施工方法 …… 50
注意事項 …… 65

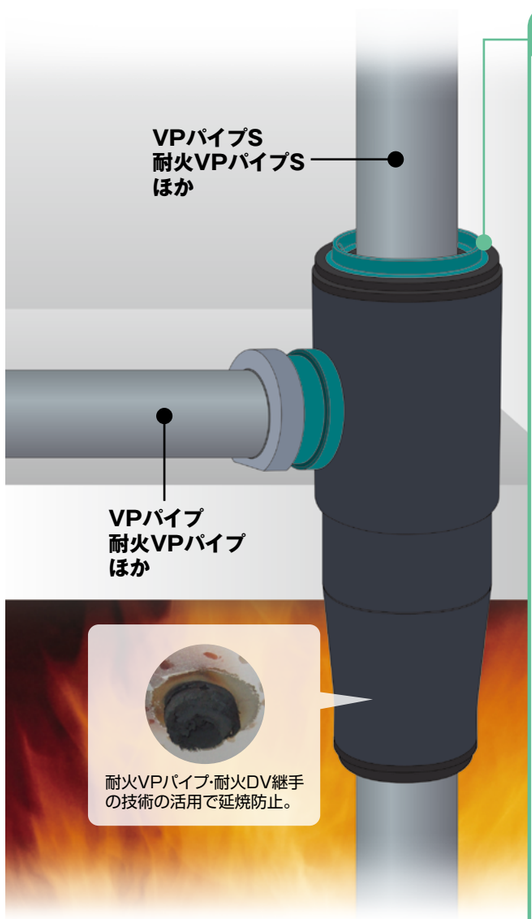
■本カタログの掲載マークについて

⚠警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡、又は重傷を負う危険性が想定される内容が記載されています。

⚠注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が障害を負う危険性や物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

耐火プラAD継手HG·SGとは

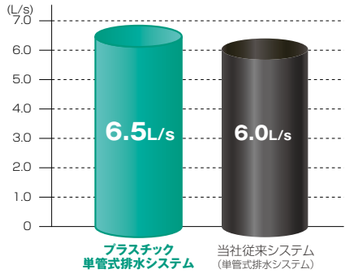
排水性能、遮音性能、耐火性能など従来システムと同等の性能を備えながら、
樹脂化により軽量化、耐食性と施工性の向上を実現しました。



耐火プラAD継手HG·SG

排水性能

旋回羽根により排水を整流化。業界トップクラスの排水性能を実現。



※17階規模の性能

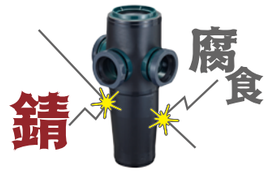
耐火性能

耐火プラスチック技術の活用で国土交通大臣認定及び(一財)日本消防設備安全センター性能評定を取得。立て管·横枝管ともにエスロンパイプ·+(プラス)VPで接続できます。

どちらもVP接続OK!

軽量·腐食レス

重量は鋳鉄継手の1/3。プラスチック製のため腐食の心配もありません。

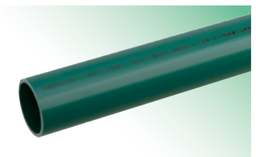


エスロンタイムズ
耐火プラAD継手HG·SGについて

製品情報を二次元コードでCheck!

https://www.eslontimes.com/system/items-view/256/

耐火VPパイプの構造

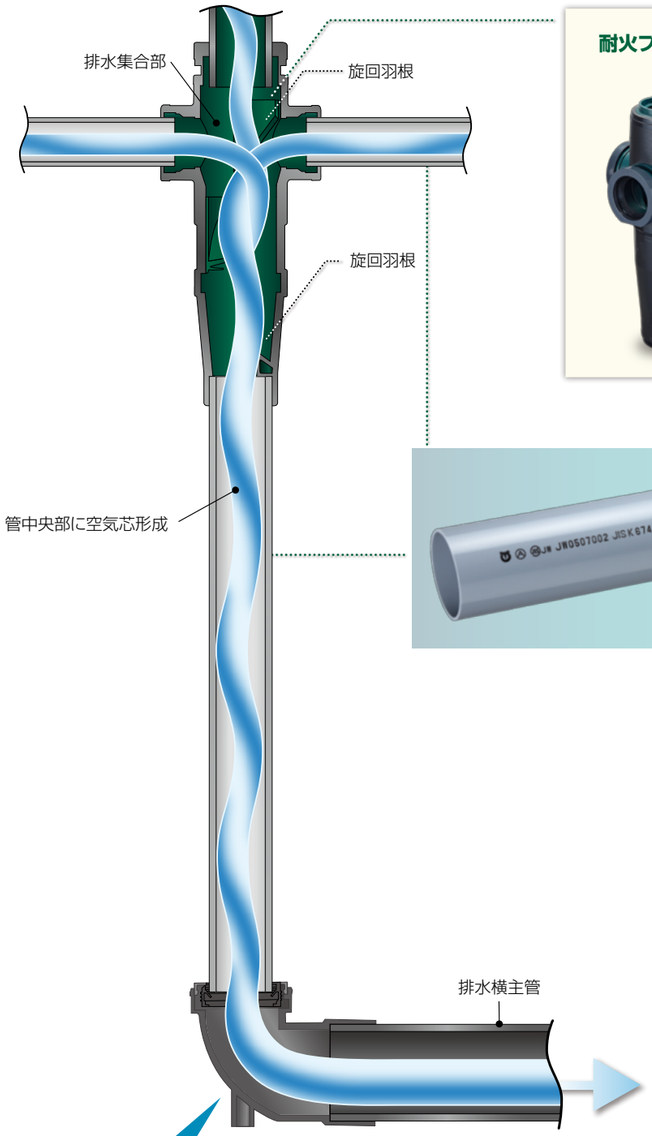


排水性能
内外層
硬質ポリ塩化ビニル

耐火性能
中間層
耐火塩ビ配合

積水化学の開発した耐火テクノロジーにより
塩ビ管がさらに進化!
熱によりパイプの中間層が膨張し、
貫通部からの火災の延焼を防止します。

流下のしくみ



エスロンパイプ・+(プラス)

信頼と実績のエスロンパイプがパワーアップ!
年間を通して反りに強く、取り扱いやすく、施工のスピードアップに貢献します。

流下のしくみ

1 耐火プラAD継手の集合部の大きな空間部により、立て管を流下する排水と横枝管からの排水は継手内でスムーズに合流します。

2 継手に流入した排水は、継手の旋回羽根によって立て管の管壁に沿って流れ、空気芯を確保します。

3 最下部の曲管に使用するプラ脚部継手の最適な底面形状設計によって排水はスムーズに流れ、空気の流通を確保します。

プラ脚部継手(プラスチック製)

プラ脚部継手
標準グレード

プラ脚部継手
遮音グレード

AD脚部継手(鋳鉄製)

AD脚部継手
ロングタイプ

掃除口付支持付
AD脚部継手

AD脚部継手

最下階合流システム専用

掃除口付AD脚部継手
スリム直結ショートタイプ

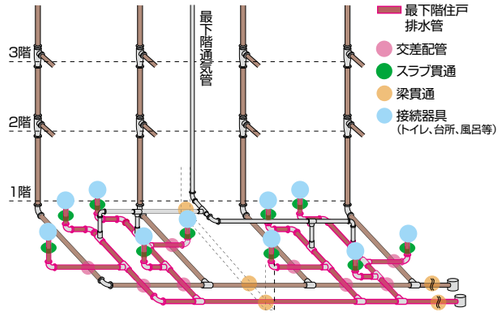
AD脚部継手
スリム直結ショートタイプ

最下階合流システムの適用、許容排水量と許容階数

●当社独自の設計基準により**汚水・雑排水系統全てに適用可能**。
●最下階住戸の排水配管の**簡略化が可能**。

従来システム<最下階住戸排水単独>

最下階住戸排水は、排水立て管と別系統。単独で排水。



最下階排水管
●最下階住戸排水が別系統のため配管の維持管理(洗浄等)が大変。

通気スペース
●最下階用通気管が必要で通気管の設置スペースの確保が大変。

交差配管
●勾配確保のための設計・施工が大変。

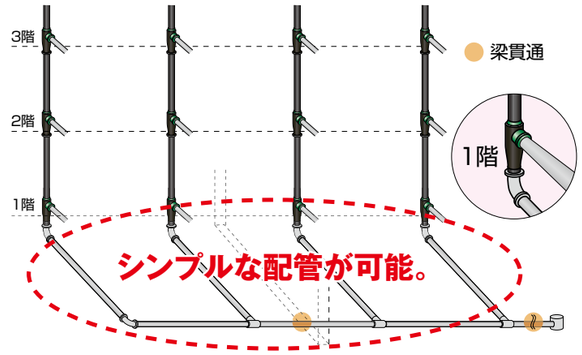
スラブ貫通
●スラブ貫通が多くプラン変更やリフォーム時の間取り変更が大変。

梁貫通
●梁貫通が多くボイドや補強等の施工が大変。

従来システムでは様々な課題が…最下階合流システムを導入!

最下階合流システム

最下階住戸排水を、排水立て管系統に合流。



システム導入のメリット

維持管理性の向上
最下階住戸の排水管も、他の階と同一の方法で維持管理が可能。

最下階住戸の間取り変更が容易
最下階住戸の排水配管もスラブ上部での配管になるため、間取り変更への対応が容易。

設計・施工が容易
他の配管との干渉や交差配管が低減され、配管勾配の確保が容易。

施工省力化・建物強度上有利
スラブ、梁の貫通が少なく、ボイド数が減少。

省スペース化と施工費・材料費のコストダウン
最下階単独排水管・通気管が不要。

メリット大

■ 許容排水量

SHASE-S218-2014「集合住宅の排水立て管システムの排水能力試験法」に準じて決定した許容排水量は下表の通りとなります。

立て管	継手	管径(A)	許容排水量(ℓ/sec) 規模相当17階建て	規模相当20階建て	規模相当25階建て	規模相当30階建て	規模相当35階建て	規模相当40階建て	規模相当45階建て	規模相当50階建て	規模相当55階建て	規模相当60階建て
耐火VPパイプ、エスロンパイプ・+(プラス)VP	耐火プラAD継手 HG・SG	75	3.5	3.4	3.3	3.3	3.2	3.2	3.2	3.0	3.0	2.9
		100	6.5	6.4	6.2	6.1	6.1	6.0	5.8	5.7	5.6	5.5

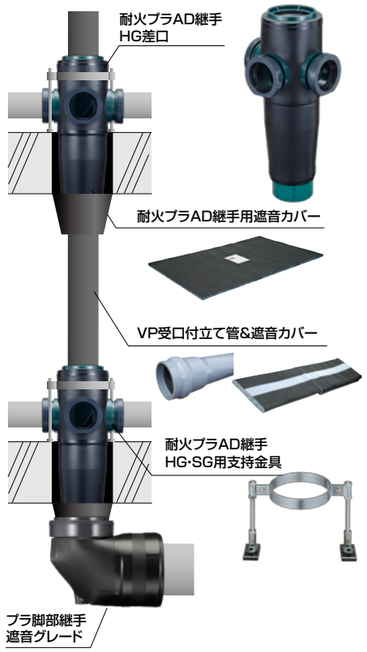
■ 許容階数早見表

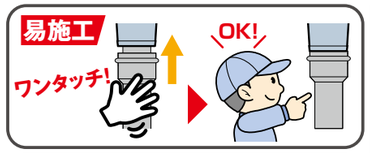
※最下階排水を単独排水とした場合の階数により記しており、接続可能な住戸数は下表より1つ少なくなります。

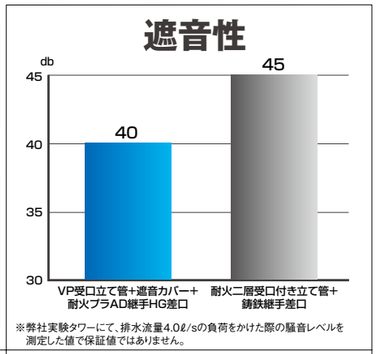
			パターン 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
接続器具の種類			便器			便器	便器		便器	便器	便器	便器
				浴槽				浴槽	浴槽	浴槽	浴槽	浴槽
				洗面				洗面	洗面	洗面	洗面	洗面
				洗濯				洗濯	洗濯	洗濯	洗濯	洗濯
					台所	台所		台所			台所	台所
						手洗い	手洗い			手洗い		手洗い
立て管	継手	管径(A)										
耐火VPパイプ、エスロンパイプ・+(プラス)VP	耐火プラAD継手 HG・SG	75	—	12階	22階	—	—	7階	—	—	—	—
		100	60階	39階	59階	23階	50階	24階	21階	20階	15階	14階

遮音・防振・易施工シリーズを豊富にラインアップ。
用途に合わせた最適なシステムを構築できます。

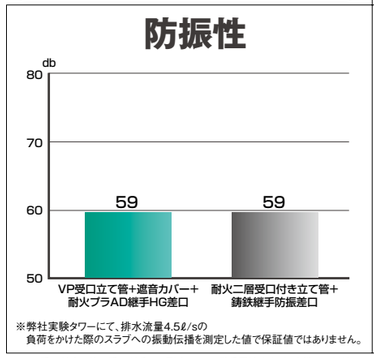
易施工　高遮音　防振



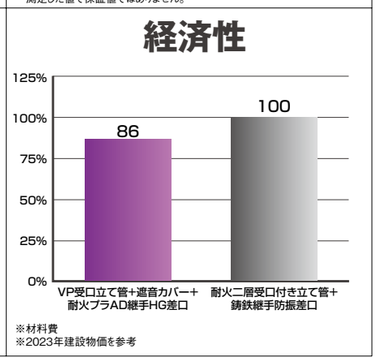




※弊社実験タワーにて、排水流量4.0ℓ/sの負荷をかけた際の騒音レベルを測定した値で保証値ではありません。



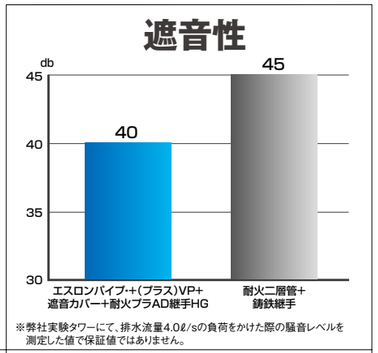
※弊社実験タワーにて、排水流量4.5ℓ/sの負荷をかけた際のスラブへの振動伝播を測定した値で保証値ではありません。



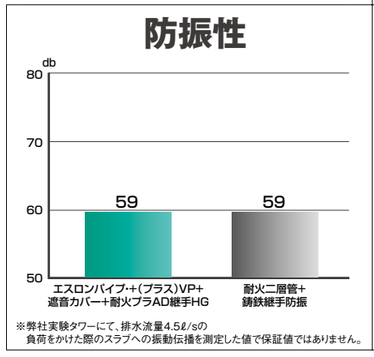
※材料費
※2023年建設物価を参考

※VP受口付立て管の受口部分には耐火プラAD継手用遮音カバーを巻いてください。

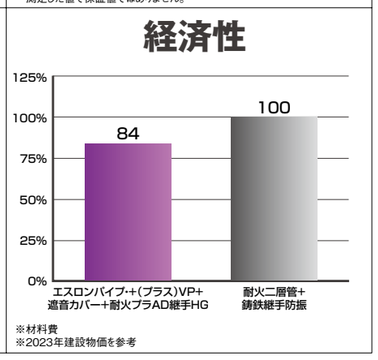
高遮音　防振



※弊社実験タワーにて、排水流量4.0ℓ/sの負荷をかけた際の騒音レベルを測定した値で保証値ではありません。

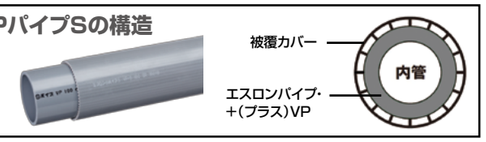


※弊社実験タワーにて、排水流量4.5ℓ/sの負荷をかけた際のスラブへの振動伝播を測定した値で保証値ではありません。

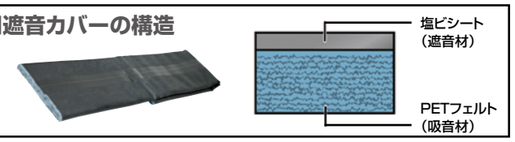


※材料費
※2023年建設物価を参考

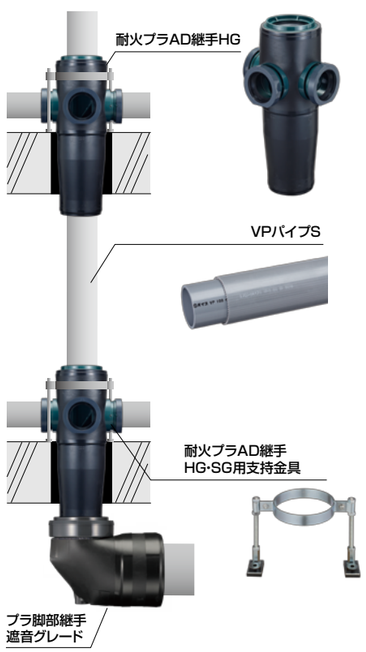
■VPパイプSの構造

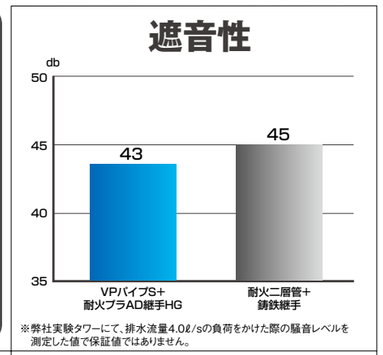


■遮音カバーの構造

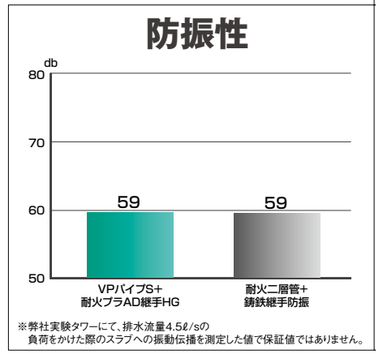


遮 音　防 振

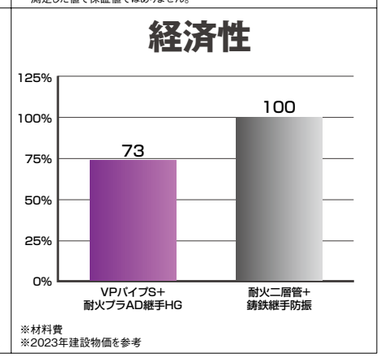




※弊社実験タワーにて、排水流量4.0ℓ/sの負荷をかけた際の騒音レベルを測定した値で保証値ではありません。

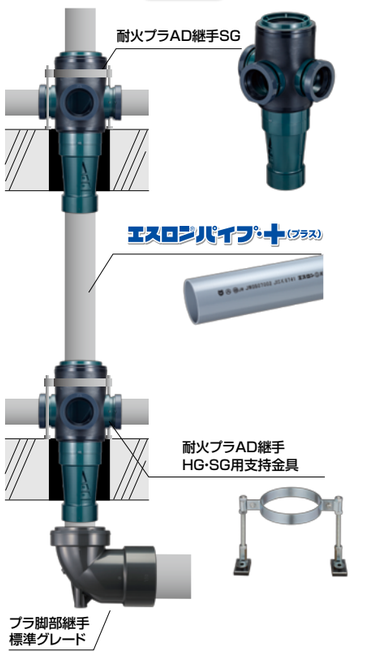


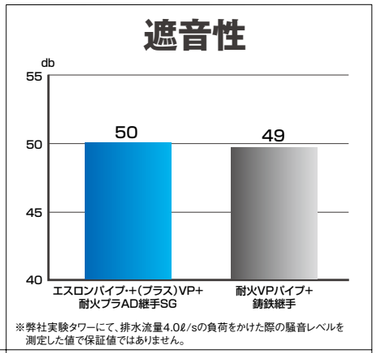
※弊社実験タワーにて、排水流量4.5ℓ/sの負荷をかけた際のスラブへの振動伝播を測定した値で保証値ではありません。



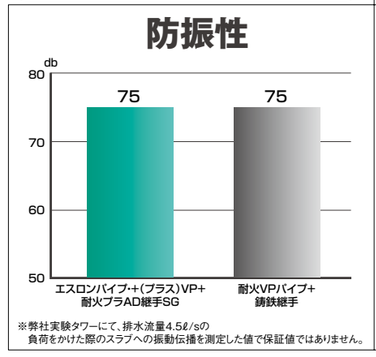
※材料費
※2023年建設物価を参考

経済性

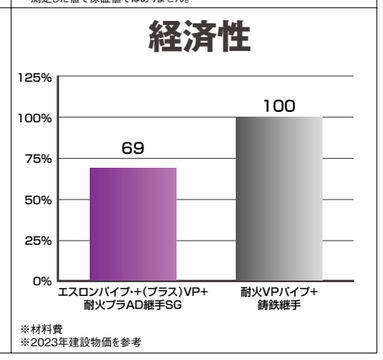




※弊社実験タワーにて、排水流量4.0ℓ/sの負荷をかけた際の騒音レベルを測定した値で保証値ではありません。



※弊社実験タワーにて、排水流量4.5ℓ/sの負荷をかけた際のスラブへの振動伝播を測定した値で保証値ではありません。

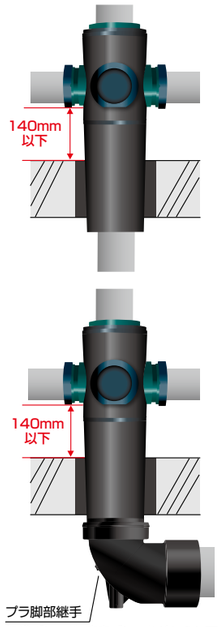


※材料費
※2023年建設物価を参考

耐火認定・評定範囲

耐火プラADシステムの耐火認定・評定（床貫通）

●ご使用の際には必ず認定書、評定書の内容をご確認ください。
●他の認定・評定品と接続する場合には、認定・評定外となる恐れがありますので所轄の消防機関までご確認ください。
●他社耐火性硬質ポリ塩化ビニル管・継手との組み合わせは認定・評定外となりますので使用しないでください。
●防火区画貫通部についてご不明な点は、所轄の消防機関までご確認ください。

	耐火プラAD継手HG（二段タイプ、最上階タイプも同様）	耐火プラAD継手HG 最下階タイプ	耐火プラAD継手SG
床貫通	 ⚠ 継手横枝管底とスラブ上面の距離は140mm以下としてください。	 ⚠ 継手横枝管底とスラブ上面の距離は140mm以下としてください。	⚠ 継手横枝管底とスラブ上面の距離は50mm以下としてください。
枝浮かし高さ	140mm以下	140mm以下	50mm以下
国土交通大臣認定	PS060FL-1147-1	PS060FL-1054-1	PS060FL-1053-1
消防評定共住区画	KK2021-006	KK2019-016	KK2019-015
消防評定令8区画			
用　途	排水管及び通気管（汚水雑排水等の生活排水用）		
スリーブ径	φ209mm以下		
貫通箇所／処理	床 ALC・コンクリート厚み 100mm以上／モルタル埋め戻し		

耐火プラAD継手をスラブから浮かして配管する場合の継手横枝管底とスラブ上面の距離

⚠ 脚部継手の上部受口はスラブに埋設しないようにしてください。

立て管に接続可能な管種

立て管
エスロンパイプ・+(プラス)VP
エスロンパイプ・+(プラス)VP 遮音カバー巻き
VPパイプS
VP受口付立て管
VP受口付立て管 遮音カバー巻き
耐火VPパイプ
耐火VPパイプ 遮音カバー巻き
耐火VPパイプS
耐火VP受口付立て管
耐火VP受口付立て管 遮音カバー巻き

横枝管に接続可能な管種

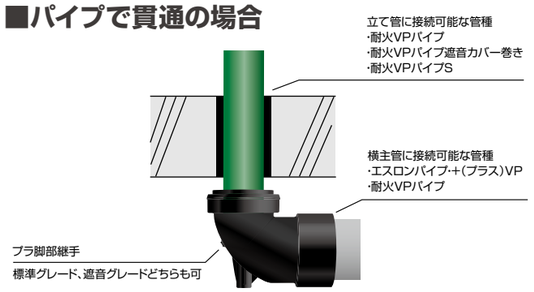
横枝管
エスロンパイプ・+(プラス)VP
エスロンパイプ・+(プラス)VP 遮音カバー巻き
VPパイプS
耐火VPパイプ
耐火VPパイプ 遮音カバー巻き
耐火VPパイプS

横主管に接続可能な管種

横主管
エスロンパイプ・+(プラス)VP
耐火VPパイプ

耐火プラADシステムの耐火認定・評定（床貫通）

■パイプで貫通の場合



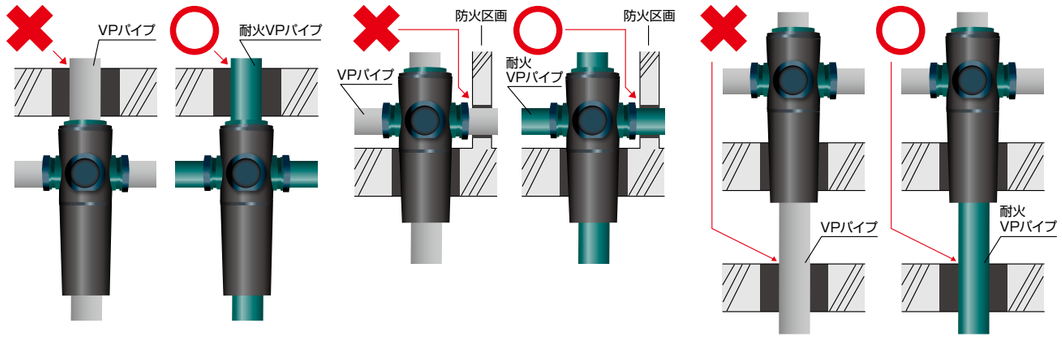
国土交通大臣認定	PS060FL-1052-1
消防評定共住区画	KK2019-014
消防評定令8区画	
用　途	排水管及び通気管（汚水雑排水等の生活排水用）
スリーブ径	Φ209mm以下
貫通箇所／処理	床ALC・コンクリート厚み100mm以上/モルタル埋め戻し

耐火プラAD継手HG・SGの認定書・評定書は
エスロンタイムズ よりダウンロードいただけます。
https://www.eslontimes.com/system/jump/123/

【認定外となる施工方法】

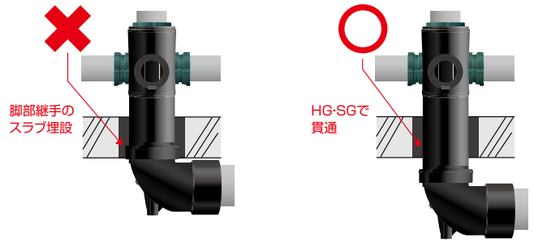
耐火プラAD継手HG・SG共通

⚠ 防火区画貫通は耐火プラAD継手または耐火VPパイプで可能です。
耐火プラAD継手と組み合わせても、VPパイプで防火区画を貫通することはできません。



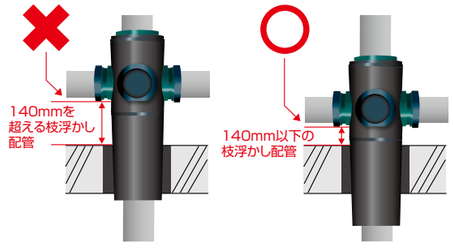
耐火プラAD継手HG・SG共通

⚠ 脚部継手の上部受口はスラブに埋設しないようにしてください。



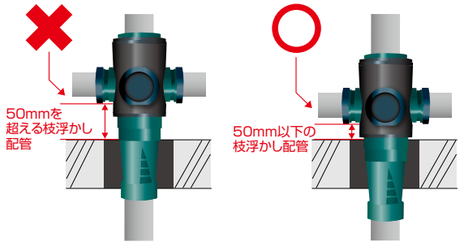
耐火プラAD継手HG（2段、最上階タイプも同様）

⚠ 耐火プラAD継手HGをスラブから浮かして配管する場合、
継手横枝管底とスラブ上面の距離は140mm以下としてください。



耐火プラAD継手SG

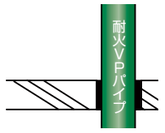
⚠ 耐火プラAD継手SGをスラブから浮かして配管する場合、
継手横枝管底とスラブ上面の距離は50mm以下としてください。

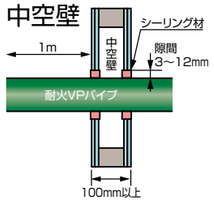
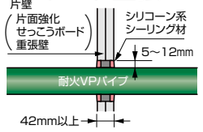


耐火認定・評定範囲

耐火VPパイプの耐火認定・評定

●ご使用の際には必ず認定書、評定書の内容をご確認ください。
●他の認定・評定品と接続する場合には、認定・評定外となる恐れがありますので所轄の消防機関までご確認ください。
●他社耐火性硬質ポリ塩化ビニル管・継手との組み合わせは認定・評定外となりますので使用しないでください。
●防火区画貫通部についてご不明な点は、所轄の消防機関までご確認ください。

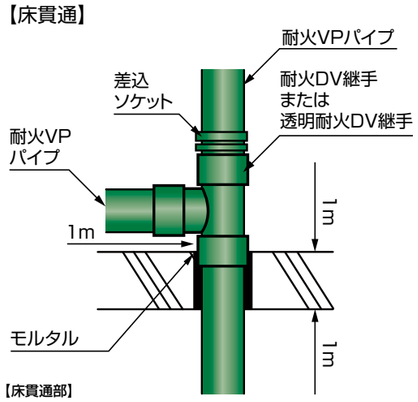
床貫通		 ※防火区画貫通部から1m以内の範囲は耐火VPパイプ、耐火DV継手、透明耐火DV継手をご使用ください。 耐火VPパイプの認定書・評定書はエスロンタイムズよりダウンロードいただけます。 https://www.eslontimes.com/system/jump/124/		
管種		耐火VPパイプ	耐火VPパイプS	耐火VPパイプ+遮音カバー
口径		200A以下	100A以下	100A以下
国土交通大臣認定	スリーブ径	Φ312mm以下	Φ209mm以下	Φ209mm以下
	貫通部箇所	床 ALC厚み 100mm以上 床 コンクリート厚み 75mm以上	床 ALC・コンクリート厚み 100mm以上	
	貫通部処理	モルタル埋め戻し		
	認定番号	NEW PS060FL-1214	PS060FL-1052-1	PS060FL-1052-1
消防評定共住区画	スリーブ径	Φ300mm以下	Φ209mm以下	Φ209mm以下
	貫通部箇所	床 ALC厚み 100mm以上 床 コンクリート厚み 75mm以上	床 ALC・コンクリート厚み 100mm以上	
	貫通部処理	モルタル埋め戻し		
	評定番号	NEW KK2023-004	KK2019-014	KK2019-014
消防評定令8区画	スリーブ径	φ300mm以下	Φ183mm以下	Φ209mm以下
	貫通部箇所	床 コンクリート厚み 150mm以上		
	貫通部処理	モルタル埋め戻し		
	評定番号	NEW RK2023-001	RK22-002	RK27-006

		耐火VPパイプ				
壁貫通		壁			中空壁 	片面強化せっこうボード重張 
口径		200A	125A~150A	100A以下	200A以下	150A以下
国土交通大臣認定	スリーブ径	Φ312mm以下			Φ240mm以下 (隙間3~12mm)	Φ189mm以下
	貫通部箇所	壁 ALC・コンクリート厚み 75mm以上			中空壁 厚み100mm以上	片面強化石こうボード 重ね張り厚み 42mm以上
	貫通部処理	モルタル埋め戻し			シリコーン系 シーリング材充填	シリコーン系シーリング材充填
	認定番号	NEW PS060WL-1219			NEW PS060WL-1215	PS060WL-0849-1
消防評定共住区画	スリーブ径	Φ300mm以下			Φ240mm以下 (隙間12mm以下)	
	貫通部箇所	壁 ALC・コンクリート厚み 75mm以上			中空壁 厚み100mm以上	
	貫通部処理	モルタル埋め戻し			シリコーン系 シーリング材充填	
	認定番号	NEW KK2023-002			NEW KK2023-003	
消防評定令8区画	スリーブ径		Φ260mm以下	Φ183mm以下		
	貫通部箇所		壁 コンクリート厚み 100mm以上			
	貫通部処理		モルタル埋め戻し			
	評定番号		RK27-008	RK19-042		

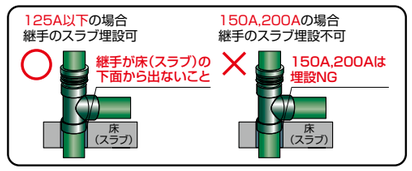
※耐火VPパイプS、耐火VPパイプ+遮音カバーでの壁貫通はできません。

耐火DV継手、透明耐火DV継手の耐火認定・評定

【床貫通】



【床貫通部】

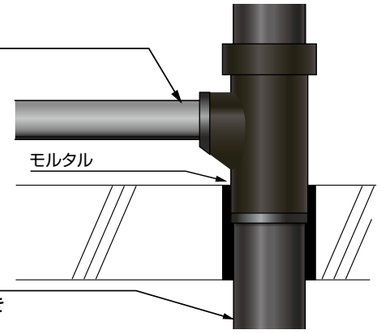


耐火DV遮音継手の耐火認定・評定

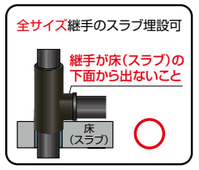
【床貫通】

横枝管
・耐火VPパイプ
・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)
・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RF−VP)
・耐火VPパイプ遮音カバー巻き

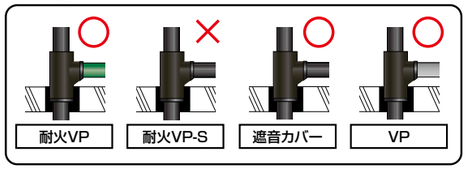
立て管
・耐火VPパイプ遮音カバー巻き

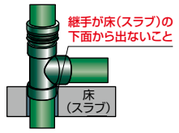
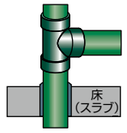
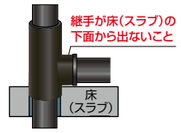


【床貫通部】



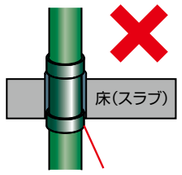
【横枝管】



		耐火DV継手、透明耐火DV継手の耐火認定・評定		耐火DV遮音継手の耐火認定・評定
口径		125A以下	200A以下	125A以下
床貫通部		管+継手 	管のみ 	管+継手 
国土交通大臣認定	スリーブ径	Φ209mm以下	Φ312mm以下	Φ209mm以下
	貫通部箇所	床 ALC厚み 100mm以上 床 コンクリート厚み 75mm以上		床 ALC・コンクリート厚み 120mm以上
	貫通部処理	モルタル埋め戻し		
	認定番号	NEW PS060FL-1213	NEW PS060FL-1214	PS060FL-0902-1
消防評定共住区画	スリーブ径	Φ209mm以下	Φ300mm以下	Φ209mm以下
	貫通部箇所	床 ALC厚み 100mm以上 床 コンクリート厚み 75mm以上		床 ALC・コンクリート厚み 120mm以上
	貫通部処理	モルタル埋め戻し		
	認定番号	NEW KK2023-004		KK29-002
消防評定令8区画	スリーブ径	Φ209mm以下	Φ300mm以下	
	貫通部箇所	床 コンクリート厚み 150mm以上		
	貫通部処理	モルタル埋め戻し		
	認定番号	NEW RK2023-001		

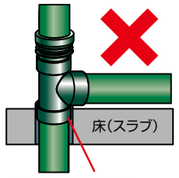
【耐火DV継手、透明耐火DV継手、耐火DV遮音継手の認定外となる施工方法】

・継手がスラブ下に出てはいけません。



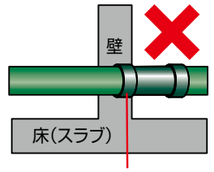
継手が出てはNG

・150Aの継手はスラブに埋設してはいけません。



150Aは埋設NG

・継手を壁に埋設してはいけません。



継手の壁埋設NG

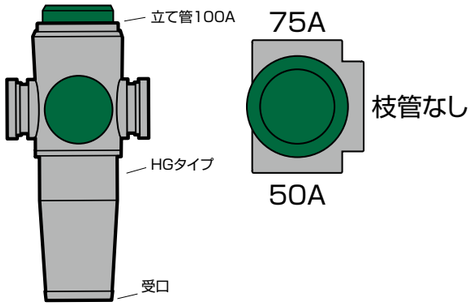
耐火DV継手、透明耐火DV継手、耐火DV遮音継手の認定書・評定書はエスロンタイムズよりダウンロードいただけます。
https://www.eslontimes.com/system/jump/124/

耐火プラAD継手HG・SG 品番の見方

下図のように横枝管が無い方向を左、ある方向を上として時計回りに表記します。

品番例 **H G 1 7 0 5 U**

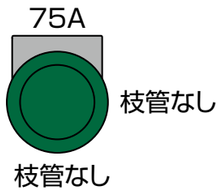
- 下部受口
- 枝管呼び径 75A-なし-50Aの2口
- 立て管100A
- HGタイプ



※4～6桁目の末尾が枝なしとなる時は0を省略します。

品番例 **H G 1 7 U**

- 下部受口
- 枝管呼び径 75A-なし-なしの1口
- 立て管100A
- HGタイプ



	1桁目	2桁目	3桁目	4桁目	5桁目	6桁目	7桁目
	タイプ		立て管呼び径	枝管呼び径			下部接続
HG	HG		100:1 75:7	品番4桁目 → 品番5桁目 → 品番6桁目			受口:U 差口:S M（100A:差口Sの145mm延長 / 75A:差口Sの125mm延長） L（100A:差口Sの245mm延長）
HG 最下階タイプ	HL						差口:S
HG 最上階タイプ	HU						受口:U 差口:S M（100A:差口Sの145mm延長 / 75A:差口Sの125mm延長） L（100A:差口Sの245mm延長）
SG	SG						受口:U

枝管呼び径	品　番
50A	5
65A	6
75A	7
100A	1
枝管なし	なし又は0

各タイプの特長

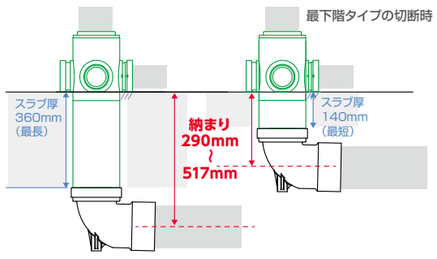
■耐火プラAD継手HG 最下階タイプ

本体は227mmまで切断可能なので
現場での納まり調整が可能です。

⚠ 耐火プラAD継手HG最下階タイプは必ずプラ脚部継手（呼び径125×125、125×150）と組み合わせてご使用ください。

⚠ 耐火プラAD継手HG最下階タイプ本体下部への管の接続・延長は行わないでください。必ず最下階タイプ本体下部とプラ脚部継手を直接接続してください。

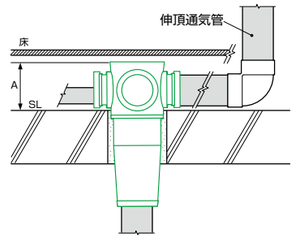
配管の納まり例（横主管150Aの場合）
●最下階タイプ+プラ脚部継手（呼び径125×150）



■耐火プラAD継手HG 最上階タイプ

立て管の最上階で伸長通気管を横方向に
取ることが可能です。

	呼び径	スラブから頂点までの長さ A寸法（mm）
耐火プラAD 最上階継手	75A	175
	100A	175



品揃え拡充　差口タイプにニューラインアップ

■耐火プラAD継手HG 差口M・L（厚スラブ対応）

本体枝下の延長により、厚スラブでの施工が可能です。

⚠ 受口パイプと接続する場合、継手の差口部は切断しないでください。
長さ調整が必要な場合は受口パイプを切断し、調整してください。

●品揃え品種

耐火プラAD継手HGの下表の品種で差口M、Lを品揃えしています。

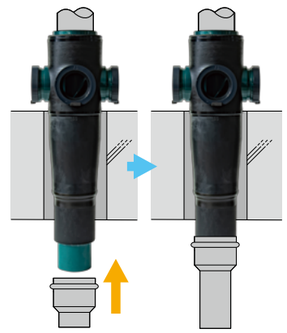
			標準タイプ	最上階タイプ	最下階タイプ	二段タイプ
本　体	75A	差口M	○	○	—	—
	100A	差口M	○	○	—	—
		差口L	○	○	—	—

●耐火プラAD継手HG 差口M・Lと受口パイプとの接続方法

受口パイプの端部と継手差口の端部が
当たるまで挿入してください。
従来の差口Sと同じ施工方法です。（P.55参照）

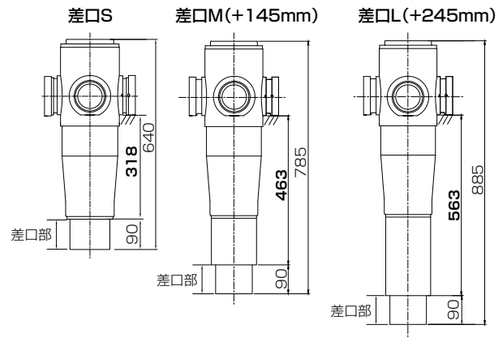
継手の差口部はS・M・Lとも同じ長さです。
（100A：90mm、75A：80mm）

スラブ厚みに応じて、選定してください。

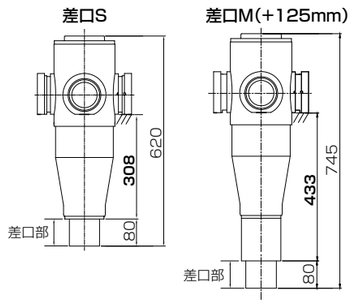


●寸法

〈本体100A〉



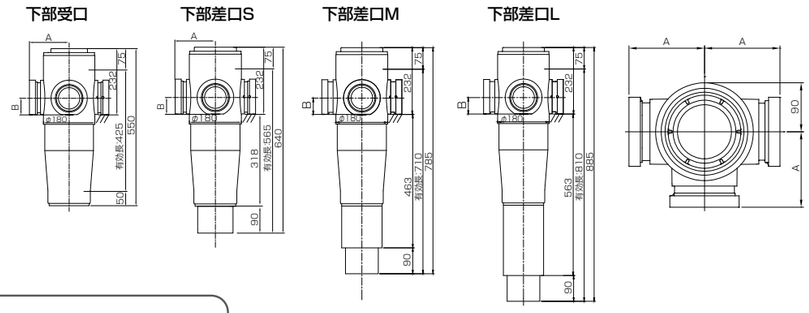
〈本体75A〉



耐火プラAD継手HG・SGの承認図・CADデータは エスロンタイムズよりダウンロードいただけます。
https://www.eslontimes.com/system/jump/123/

■耐火プラAD継手HG（立て管100A）

●寸法



差口M：品番末尾のSをMに変えてください。
下表価格の6,000円加算となります。
差口L：品番末尾のSをLに変えてください。
下表価格の8,000円加算となります。
※差口Mと差口Lは全て受注生産品です。

横枝呼び径	耐火プラAD HG	
	A寸法	B寸法
CO栓	107mm	—
50	139mm	42mm
65		51mm
75		58mm
100	160mm	71mm

■横枝管 ゴム輪受口 品揃え

・横枝管枝数0枝

枝数	価格(円/個)	図例	下部接続	横枝管無し	
0枝	23,410	(100)	受口	HG1U	
			差口	HG1S	

・横枝管枝数1～3枝

枝数	価格(円/個)	図例	下部接続	●横枝管呼び径							
				50		65		75		100	
1枝	23,410	●(100)	受口	HG15U	★	HG16U	★	HG17U	★	HG11U	★
			差口	HG15S	★	HG16S	★	HG17S	★	HG11S	
2枝 90°	25,300	50 (100)●	受口	HG155U		HG156U		HG157U	★	HG151U	
			差口	HG155S		HG156S		HG157S		HG151S	
		65 (100)●	受口	HG165U		HG166U		HG167U	★	HG161U	
			差口	HG165S		HG166S		HG167S	★	HG161S	
		75 (100)●	受口	HG175U	★	HG176U	★	HG177U	★	HG171U	
			差口	HG175S		HG176S	★	HG177S		HG171S	
		100 (100)●	受口	HG115U		HG116U		HG117U		HG111U	★
			差口	HG115S		HG116S		HG117S		HG111S	
2枝 180°	25,300	50 (100)●	受口	HG1505U		HG1506U		HG1507U		HG1501U	
			差口	HG1505S		HG1506S		HG1507S		HG1501S	
		65 (100)●	受口	HG1605U		HG1606U		HG1607U		HG1601U	
			差口	HG1605S		HG1606S		HG1607S		HG1601S	
		75 (100)●	受口	HG1705U		HG1706U		HG1707U		HG1701U	
			差口	HG1705S		HG1706S		HG1707S		HG1701S	
		100 (100)●	受口	HG1105U		HG1106U		HG1107U		HG1101U	
			差口	HG1105S		HG1106S		HG1107S		HG1101S	

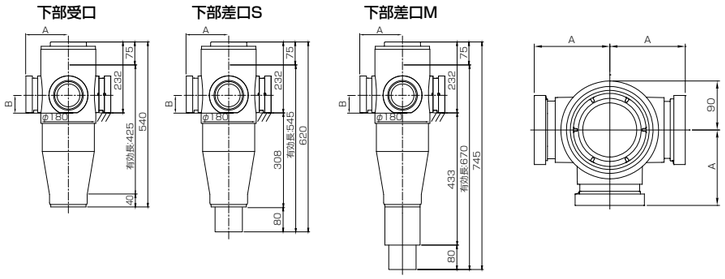
枝数	価格(円/個)	図例	下部接続	●横枝管呼び径							
				50		65		75		100	
3枝	27,200	50 (100) 50●	受口	HG1555U		HG1556U		HG1557U		HG1551U	
			差口	HG1555S		HG1556S		HG1557S		HG1551S	
		50 (100) 65●	受口	HG1565U		HG1566U		HG1567U		HG1561U	
			差口	HG1565S		HG1566S		HG1567S		HG1561S	
		50 (100) 75●	受口	HG1575U		HG1576U	★	HG1577U		HG1571U	
			差口	HG1575S		HG1576S		HG1577S		HG1571S	
		50 (100) 100●	受口	HG1515U		HG1516U		HG1517U		HG1511U	
			差口	HG1515S		HG1516S		HG1517S		HG1511S	
		65 (100) 50●	受口	HG1655U		HG1656U		HG1657U		HG1651U	
			差口	HG1655S		HG1656S		HG1657S		HG1651S	
		65 (100) 65●	受口	HG1665U		HG1666U		HG1667U		HG1661U	
			差口	HG1665S		HG1666S		HG1667S		HG1661S	
		65 (100) 75●	受口	HG1675U	★	HG1676U		HG1677U		HG1671U	
			差口	HG1675S		HG1676S		HG1677S		HG1671S	
		65 (100) 100●	受口	HG1615U		HG1616U		HG1617U		HG1611U	
			差口	HG1615S		HG1616S		HG1617S		HG1611S	
		75 (100) 50●	受口	HG1755U		HG1756U		HG1757U		HG1751U	
			差口	HG1755S		HG1756S		HG1757S		HG1751S	
		75 (100) 65●	受口	HG1765U		HG1766U		HG1767U		HG1761U	
			差口	HG1765S		HG1766S		HG1767S		HG1761S	
		75 (100) 75●	受口	HG1775U		HG1776U		HG1777U		HG1771U	
			差口	HG1775S		HG1776S		HG1777S		HG1771S	
		75 (100) 100●	受口	HG1715U		HG1716U		HG1717U		HG1711U	
			差口	HG1715S		HG1716S		HG1717S		HG1711S	
		100 (100) 50●	受口	HG1155U		HG1156U		HG1157U		HG1151U	
			差口	HG1155S		HG1156S		HG1157S		HG1151S	
		100 (100) 65●	受口	HG1165U		HG1166U		HG1167U		HG1161U	
			差口	HG1165S		HG1166S		HG1167S		HG1161S	
		100 (100) 75●	受口	HG1175U		HG1176U		HG1177U		HG1171U	
			差口	HG1175S		HG1176S		HG1177S		HG1171S	
		100 (100) 100●	受口	HG1115U		HG1116U		HG1117U		HG1111U	
			差口	HG1115S		HG1116S		HG1117S		HG1111S	

※★は標準品です。その他は受注生産品となります。
※便器排水の流入対面に横枝管を接続しないでください。（P.54参照）

■耐火プラAD継手HG（立て管75A）

下部接続タイプ

●寸法



差口M：品番末尾のSをMに変えてください。
下表価格の6,000円加算となります。
※差口Mは全て受注生産品です。

横枝呼び径	耐火プラAD HG	
	A寸法	B寸法
CO栓	107mm	—
50	139mm	42mm
65		51mm
75		58mm
100	160mm	71mm

■横枝管 ゴム輪受口 品揃え

・横枝管枝数0枝

枝数	価格(円/個)	図例	下部接続	横枝管無し	
0枝	22,140	75	受口	HG7U	
			差口	HG7S	

・横枝管枝数1～3枝

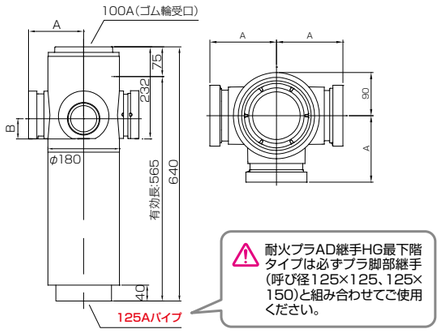
枝数	価格(円/個)	図例	下部接続	●横枝管呼び径					
				50		65		75	
1枝	22,140	75	受口	HG75U	★	HG76U		HG77U	
			差口	HG75S		HG76S		HG77S	
2枝 90°	24,040	50 75	受口	HG755U	★	HG756U		HG757U	
			差口	HG755S		HG756S		HG757S	
		65 75	受口	HG765U		HG766U		HG767U	
			差口	HG765S		HG766S		HG767S	
		75 75	受口	HG775U		HG776U		HG777U	
			差口	HG775S		HG776S		HG777S	
2枝 180°	24,040	50 75	受口	HG7505U		HG7506U		HG7507U	
			差口	HG7505S		HG7506S		HG7507S	
		65 75	受口	HG7605U		HG7606U		HG7607U	
			差口	HG7605S		HG7606S		HG7607S	
		75 75	受口	HG7705U		HG7706U		HG7707U	
			差口	HG7705S		HG7706S		HG7707S	

枝数	価格(円/個)	図例	下部接続	●横枝管呼び径					
				50		65		75	
3枝	25,940	50 75 50	受口	HG7555U		HG7556U		HG7557U	
			差口	HG7555S		HG7556S		HG7557S	
		50 75 65	受口	HG7565U		HG7566U		HG7567U	
			差口	HG7565S		HG7566S		HG7567S	
		50 75 75	受口	HG7575U		HG7576U		HG7577U	
			差口	HG7575S		HG7576S		HG7577S	
		65 75 50	受口	HG7655U		HG7656U		HG7657U	
			差口	HG7655S		HG7656S		HG7657S	
		65 75 65	受口	HG7665U		HG7666U		HG7667U	
			差口	HG7665S		HG7666S		HG7667S	
		65 75 75	受口	HG7675U		HG7676U		HG7677U	
			差口	HG7675S		HG7676S		HG7677S	
		75 75 50	受口	HG7755U		HG7756U		HG7757U	
			差口	HG7755S		HG7756S		HG7757S	
		75 75 65	受口	HG7765U		HG7766U		HG7767U	
			差口	HG7765S		HG7766S		HG7767S	
		75 75 75	受口	HG7775U		HG7776U		HG7777U	
			差口	HG7775S		HG7776S		HG7777S	

※★は標準品です。その他は受注生産品となります。
※便器排水の流入対面に横枝管を接続しないでください。(P.54参照)

■耐火プラAD継手HG 最下階タイプ（立て管100A）

●寸法



⚠ 耐火プラAD継手HG最下階タイプは必ずプラ脚部継手（呼び径125×125、125×150）と組み合わせてご使用ください。

横枝呼び径	耐火プラAD HG	
	A寸法	B寸法
CO栓	107mm	—
50	139mm	42mm
65		51mm
75		58mm
100	160mm	71mm

⚠ 耐火プラAD継手HG最下階タイプ本体下部への管の接続・延長は行わないでください。必ず最下階タイプ本体下部とプラ脚部継手を直接接続してください。

■横枝管 ゴム輪受口 品揃え

・横枝管枝数0枝

枝数	価格（円/個）	図例	下部接続	横枝管無し	
0枝	23,410	(100)	差口	HL1S	

・横枝管枝数1～3枝

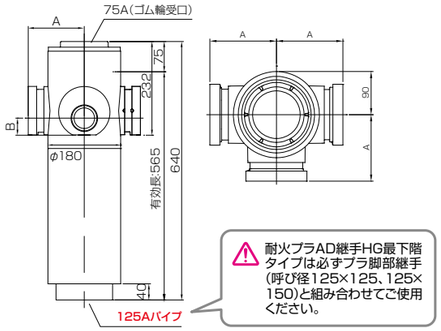
枝数	価格（円/個）	図例	下部接続	●横枝管呼び径							
				50		65		75		100	
1枝	23,410	●(100)	差口	HL15S	★	HL16S	★	HL17S	★	HL11S	★
2枝 90°	25,300	50 (100)●	差口	HL155S		HL156S		HL157S		HL151S	
		65 (100)●	差口	HL165S		HL166S		HL167S	★	HL161S	
		75 (100)●	差口	HL175S		HL176S	★	HL177S	★	HL171S	
		100 (100)●	差口	HL115S		HL116S		HL117S		HL111S	
2枝 180°	25,300	50 (100)●	差口	HL1505S		HL1506S		HL1507S		HL1501S	
		65 (100)●	差口	HL1605S		HL1606S		HL1607S		HL1601S	
		75 (100)●	差口	HL1705S		HL1706S		HL1707S		HL1701S	
		100 (100)●	差口	HL1105S		HL1106S		HL1107S		HL1101S	

枝数	価格（円/個）	図例	下部接続	●横枝管呼び径							
				50		65		75		100	
3枝	27,200	50 (100) 50 ●	差口	HL1555S		HL1556S		HL1557S		HL1551S	
		50 (100) 65 ●	差口	HL1565S		HL1566S		HL1567S		HL1561S	
		50 (100) 75 ●	差口	HL1575S		HL1576S		HL1577S		HL1571S	
		50 (100) 100 ●	差口	HL1515S		HL1516S		HL1517S		HL1511S	
		65 (100) 50 ●	差口	HL1655S		HL1656S		HL1657S		HL1651S	
		65 (100) 65 ●	差口	HL1665S		HL1666S		HL1667S		HL1661S	
		65 (100) 75 ●	差口	HL1675S		HL1676S		HL1677S		HL1671S	
		65 (100) 100 ●	差口	HL1615S		HL1616S		HL1617S		HL1611S	
		75 (100) 50 ●	差口	HL1755S		HL1756S		HL1757S		HL1751S	
		75 (100) 65 ●	差口	HL1765S		HL1766S		HL1767S		HL1761S	
		75 (100) 75 ●	差口	HL1775S		HL1776S		HL1777S		HL1771S	
		75 (100) 100 ●	差口	HL1715S		HL1716S		HL1717S		HL1711S	
		100 (100) 50 ●	差口	HL1155S		HL1156S		HL1157S		HL1151S	
		100 (100) 65 ●	差口	HL1165S		HL1166S		HL1167S		HL1161S	
		100 (100) 75 ●	差口	HL1175S		HL1176S		HL1177S		HL1171S	
		100 (100) 100 ●	差口	HL1115S		HL1116S		HL1117S		HL1111S	

※★は標準品です。その他は受注生産品となります。
※便器排水の流入対面に横枝管を接続しないでください。（P.54参照）

■耐火プラAD継手HG 最下階タイプ（立て管75A）

●寸法



横枝呼び径	耐火プラAD HG	
	A寸法	B寸法
CO栓	107mm	—
50	139mm	42mm
65		51mm
75		58mm
100	160mm	71mm

⚠ 耐火プラAD継手HG最下階タイプ本体下部への管の接続・延長は行わないでください。必ず最下階タイプ本体下部とプラ脚部継手を直接接続してください。

■横枝管 ゴム輪受口 品揃え

・横枝管枝数0枝

枝数	価格（円/個）	図例	下部接続	横枝管無し	
0枝	22,140	75	差口	HL7S	

・横枝管枝数1～3枝

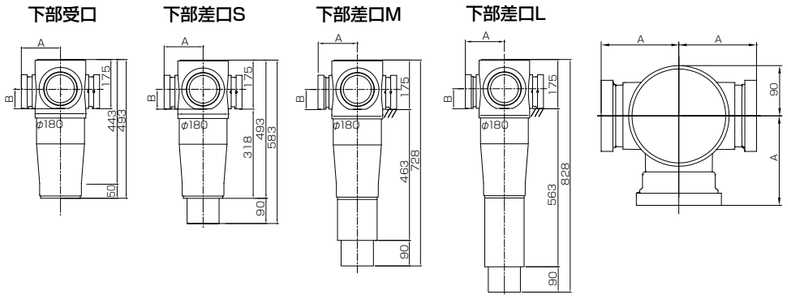
枝数	価格（円/個）	図例	下部接続	●横枝管呼び径					
				50		65		75	
1枝	22,140	75	差口	HL75S	★	HL76S		HL77S	
2枝 90°	24,040	50 75 ●	差口	HL755S		HL756S		HL757S	
		65 75 ●	差口	HL765S		HL766S		HL767S	
		75 75 ●	差口	HL775S		HL776S		HL777S	
2枝 180°	24,040	50 75 ●	差口	HL7505S		HL7506S		HL7507S	
		65 75 ●	差口	HL7605S		HL7606S		HL7607S	
		75 75 ●	差口	HL7705S		HL7706S		HL7707S	

枝数	価格（円/個）	図例	下部接続	●横枝管呼び径					
				50		65		75	
3枝	25,940	50 75 50 ●	差口	HL7555S		HL7556S		HL7557S	
		50 75 65 ●	差口	HL7565S		HL7566S		HL7567S	
		50 75 75 ●	差口	HL7575S		HL7576S		HL7577S	
		65 75 50 ●	差口	HL7655S		HL7656S		HL7657S	
		65 75 65 ●	差口	HL7665S		HL7666S		HL7667S	
		65 75 75 ●	差口	HL7675S		HL7676S		HL7677S	
		75 75 50 ●	差口	HL7755S		HL7756S		HL7757S	
		75 75 65 ●	差口	HL7765S		HL7766S		HL7767S	
		75 75 75 ●	差口	HL7775S		HL7776S		HL7777S	

※★は標準品です。その他は受注生産品となります。
※便器排水の流入対面に横枝管を接続しないでください。（P.54参照）

■耐火プラAD継手HG 最上階タイプ（立て管100A）

●寸法



差口M：品番末尾のSをMに変えてください。
下表価格の6,000円加算となります。
差口L：品番末尾のSをLに変えてください。
下表価格の8,000円加算となります。
※差口Mと差口Lは全て受注生産品です。

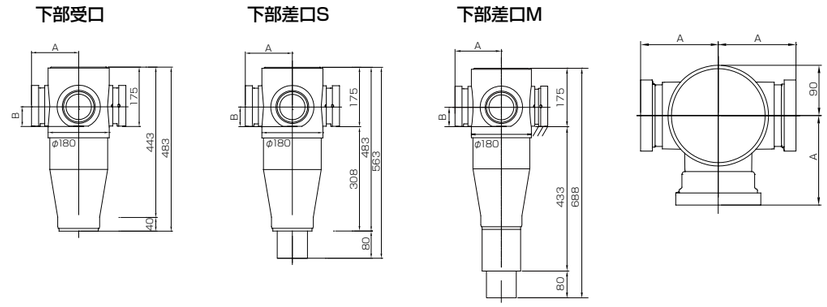
横枝呼び径	耐火プラAD HG	
	A寸法	B寸法
CO栓	107mm	—
50	139mm	42mm
65		51mm
75		58mm
100	160mm	71mm

■横枝管 ゴム輪受口 品揃え

枝数	価格(円/個)	図例	下部接続	●横枝管呼び径 50	65	75	100
最上階 通気+1枝	25,300	100 / (100) / 100	受口	HU151U	HU161U	HU171U	
			差口	HU151S	HU161S	HU171S	
		100 / (100) / 100	受口	HU115U	HU116U	HU117U	HU111U
			差口	HU115S	HU116S	HU117S	HU111S
最上階 通気+2枝	27,200	50 / (100) / 100	受口	HU1551U	HU1561U	HU1571U	
			差口	HU1551S	HU1561S	HU1571S	
		50 / (100) / 100	受口	HU1515U	HU1516U	HU1517U	HU1511U
			差口	HU1515S	HU1516S	HU1517S	HU1511S
		65 / (100) / 100	受口	HU1651U	HU1661U	HU1671U	
			差口	HU1651S	HU1661S	HU1671S	
		65 / (100) / 100	受口	HU1615U	HU1616U	HU1617U	HU1611U
			差口	HU1615S	HU1616S	HU1617S	HU1611S
		75 / (100) / 100	受口	HU1751U	HU1761U	HU1771U	
			差口	HU1751S	HU1761S	HU1771S	
		75 / (100) / 100	受口	HU1715U	HU1716U	HU1717U	HU1711U
			差口	HU1715S	HU1716S	HU1717S	HU1711S
		100 / (100) / 50	受口	HU1155U	HU1156U	HU1157U	HU1151U
			差口	HU1155S	HU1156S	HU1157S	HU1151S
		100 / (100) / 65	受口	HU1165U	HU1166U	HU1167U	HU1161U
			差口	HU1165S	HU1166S	HU1167S	HU1161S
		100 / (100) / 75	受口	HU1175U	HU1176U	HU1177U	HU1171U
			差口	HU1175S	HU1176S	HU1177S	HU1171S
		100 / (100) / 100	受口	HU1115U	HU1116U	HU1117U	HU1111U
			差口	HU1115S	HU1116S	HU1117S	HU1111S

■耐火プラAD継手HG 最上階タイプ（立て管75A）

●寸法



差口M：品番末尾のSをMに変えてください。
下表価格の6,000円加算となります。

横枝呼び径	耐火プラAD HG	
	A寸法	B寸法
CO栓	107mm	—
50	139mm	42mm
65		51mm
75		58mm
100	160mm	71mm

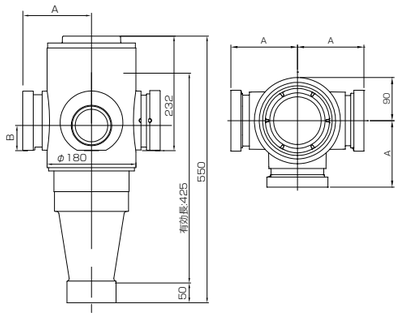
■横枝管 ゴム輪受口 品揃え

枝数	価格(円/個)	図例	下部接続	●横枝管呼び径 50	65	75
最上階 通気+1枝	24,040	75 / (75) / 75	受口	HU757U	HU767U	
			差口	HU757S	HU767S	
		75 / (75) / 75	受口	HU775U	HU776U	HU777U
			差口	HU775S	HU776S	HU777S
最上階 通気+2枝	25,940	50 / (75) / 75	受口	HU7557U	HU7567U	
			差口	HU7557S	HU7567S	
		50 / (75) / 75	受口	HU7575U	HU7576U	HU7577U
			差口	HU7575S	HU7576S	HU7577S
		65 / (75) / 75	受口	HU7657U	HU7667U	
			差口	HU7657S	HU7667S	
		65 / (75) / 75	受口	HU7675U	HU7676U	HU7677U
			差口	HU7675S	HU7676S	HU7677S
		75 / (75) / 50	受口	HU7755U	HU7756U	HU7757U
			差口	HU7755S	HU7756S	HU7757S
		75 / (75) / 65	受口	HU7765U	HU7766U	HU7767U
			差口	HU7765S	HU7766S	HU7767S
		75 / (75) / 75	受口	HU7775U	HU7776U	HU7777U
			差口	HU7775S	HU7776S	HU7777S

※★は標準品です。その他は受注生産品となります。
※便器排水の流入対面に横枝管を接続しないでください。(P.54参照)

■耐火プラAD継手SG （立て管100A）

●寸法



横枝呼び径	耐火プラAD SG	
	A寸法	B寸法
CO栓	107mm	—
50	139mm	42mm
65		51mm
75		58mm
100	160mm	71mm

■横枝管 ゴム輪受口 品揃え

・横枝管枝数0枝

枝数	価格(円/個)	図例	下部接続	横枝管無し	
0枝	18,350	100	受口	SG1U	

・横枝管枝数1～3枝

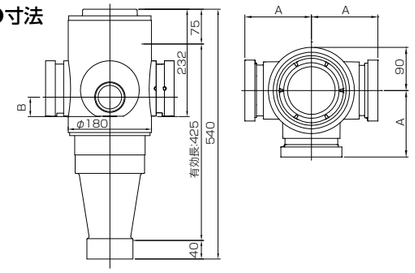
枝数	価格(円/個)	図例	下部接続	●横枝管呼び径							
				50		65		75		100	
1枝	18,350	100 ●	受口	SG15U	★	SG16U	★	SG17U	★	SG11U	
2枝 90°	20,240	50 100 ●	受口	SG155U		SG156U		SG157U		SG151U	
		65 100 ●	受口	SG165U		SG166U		SG167U	★	SG161U	
		75 100 ●	受口	SG175U		SG176U	★	SG177U	★	SG171U	
		100 100 ●	受口	SG115U		SG116U		SG117U		SG111U	
2枝 180°	20,240	50 100 ●	受口	SG1505U		SG1506U		SG1507U		SG1501U	
		65 100 ●	受口	SG1605U		SG1606U		SG1607U		SG1601U	
		75 100 ●	受口	SG1705U		SG1706U		SG1707U		SG1701U	
		100 100 ●	受口	SG1105U		SG1106U		SG1107U		SG1101U	

枝数	価格(円/個)	図例	下部接続	●横枝管呼び径							
				50		65		75		100	
3枝	22,140	50 100 50 ●	受口	SG1555U		SG1556U		SG1557U		SG1551U	
		50 100 65 ●	受口	SG1565U		SG1566U		SG1567U		SG1561U	
		50 100 75 ●	受口	SG1575U		SG1576U		SG1577U		SG1571U	
		50 100 100 ●	受口	SG1515U		SG1516U		SG1517U		SG1511U	
		65 100 50 ●	受口	SG1655U		SG1656U		SG1657U		SG1651U	
		65 100 65 ●	受口	SG1665U		SG1666U		SG1667U		SG1661U	
		65 100 75 ●	受口	SG1675U		SG1676U		SG1677U		SG1671U	
		65 100 100 ●	受口	SG1615U		SG1616U		SG1617U		SG1611U	
		75 100 50 ●	受口	SG1755U		SG1756U		SG1757U		SG1751U	
		75 100 65 ●	受口	SG1765U		SG1766U		SG1767U		SG1761U	
		75 100 75 ●	受口	SG1775U		SG1776U		SG1777U		SG1771U	
		75 100 100 ●	受口	SG1715U		SG1716U		SG1717U		SG1711U	
		100 100 50 ●	受口	SG1155U		SG1156U		SG1157U		SG1151U	
		100 100 65 ●	受口	SG1165U		SG1166U		SG1167U		SG1161U	
		100 100 75 ●	受口	SG1175U		SG1176U		SG1177U		SG1171U	
		100 100 100 ●	受口	SG1115U		SG1116U		SG1117U		SG1111U	

※★は標準品です。その他は受注生産品となります。
※耐火プラAD継手SGの最上階タイプと最下階タイプの品揃えはありません。
※便器排水の流入対面に横枝管を接続しないでください。(P.54参照)

■耐火プラAD継手SG （立て管75A）

●寸法



横枝呼び径	耐火プラAD SG	
	A寸法	B寸法
CO栓	107mm	—
50	139mm	42mm
65		51mm
75		58mm
100	160mm	71mm

■横枝管 ゴム輪受口 品揃え

・横枝管枝数0枝

枝数	価格(円/個)	図例	下部接続	横枝管無し	
0枝	17,080	(75)	受口	SG7U	

・横枝管枝数1～3枝

枝数	価格(円/個)	図例	下部接続	●横枝管呼び径					
				50		65		75	
1枝	17,080	75	受口	SG75U	★	SG76U		SG77U	
2枝 90°	18,980	50 75	受口	SG755U		SG756U		SG757U	
		65 75	受口	SG765U		SG766U		SG767U	
		75 75	受口	SG775U		SG776U		SG777U	
2枝 180°	18,980	50 75	受口	SG7505U		SG7506U		SG7507U	
		65 75	受口	SG7605U		SG7606U		SG7607U	
		75 75	受口	SG7705U		SG7706U		SG7707U	
3枝	20,880	50 75 50	受口	SG7555U		SG7556U		SG7557U	
		50 75 65	受口	SG7565U		SG7566U		SG7567U	
		50 75 75	受口	SG7575U		SG7576U		SG7577U	
		65 75 50	受口	SG7655U		SG7656U		SG7657U	
		65 75 65	受口	SG7665U		SG7666U		SG7667U	
		65 75 75	受口	SG7675U		SG7676U		SG7677U	
		75 75 50	受口	SG7755U		SG7756U		SG7757U	
		75 75 65	受口	SG7765U		SG7766U		SG7767U	
		75 75 75	受口	SG7775U		SG7776U		SG7777U	

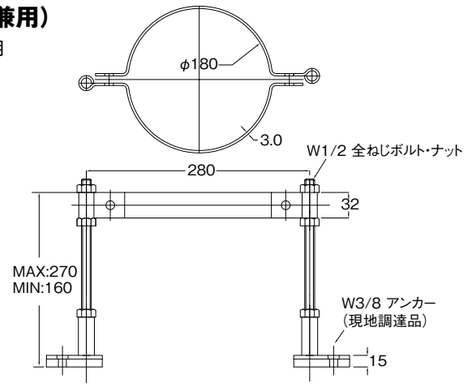
※★は標準品です。その他は受注生産品となります。　※耐火プラAD継手SGの最上階タイプと最下階タイプの品揃えはありません。
※便器排水の流入対面に横枝管を接続しないでください。(P.54参照)

耐火プラAD継手HG・SG用防振支持金具

■耐火プラAD継手HG·SG用防振支持金具（100·75·2段兼用）

※最下階、最上階タイプも兼用

品　番	価格(円/個)	入　数
SJKPAD	6,270	5個

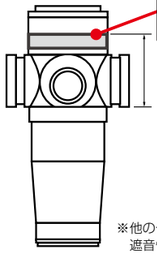


⚠ 耐火プラAD継手HGは枝浮かしにより支持金具の全ねじボルト長さが不足する場合があります。
その場合は現地調達(全ねじボルトW1/2)をお願いします。

■支持固定箇所

·耐火プラAD継手HG·SGの支持金具　固定位置シールの矢印が隠れる位置に取り付けてください。
·耐火プラAD継手HGを施工する場合は必ず本支持金具を取り付けてください。

⚠ 耐火プラAD継手HGを枝浮かし配管する際は、継手横枝管底とスラブ上面の距離は140mm以下としてください。
⚠ 耐火プラAD継手SGを枝浮かし配管する際は、継手横枝管底とスラブ上面の距離は50mm以下としてください。
⚠ 脚部継手はスラブに埋設しないでください。



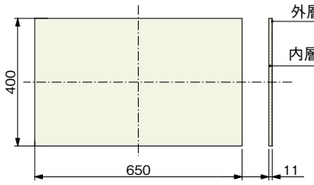
支持金具　固定位置
矢印が完全に隠れる位置に支持金具を取り付けて下さい

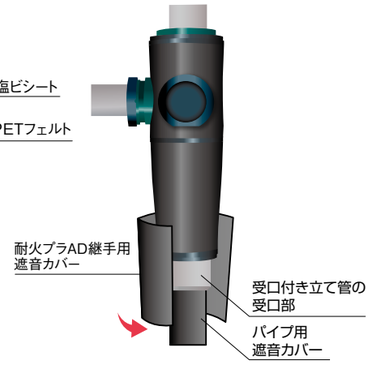
支持金具固定位置シールの上端から枝下までの寸法
・HG最上階タイプ :150
・上記以外のHG,SG :165

※他の位置を支持固定すると継手が凹み、遮音性能などが低下する恐れがあります。

耐火プラAD継手用遮音カバー

■耐火プラAD継手用遮音カバー





種　類		品　番	価格(円/枚)	入　数	梱包重量(kg/個)
耐火プラAD継手用	呼び径100,75共通	FSPADC	5,780	12枚(1枚/袋×12)	12.5

※受口付立て管の受口部分の遮音にご使用ください。
※ジョイントテープ2枚同梱

■遮音カバー用ジョイントテープ

品　番	価格(円/巻)	長　さ	入　数
FSVPCT	8,210	10m	12巻(1巻×12)

使用量

呼び径	切断長さ(mm)	使用箇所数
50	250	40
65	300	33
75	350	28
100	450	22

耐火プラAD継手HG 二段タイプの特長

上下段に排水が必要な住戸タイプへ対応

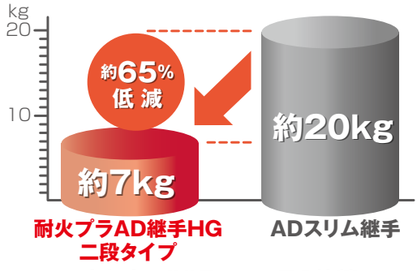
上段の便器排水、下段の台所排水や雑排水の二段タイプの単管式継手を必要とする住戸タイプに対応できます。

多彩な配管形態に対応

上段枝高さが235mmから405mmまでの**18段階**の高さまで対応の品揃えにより、従来の単管式二段タイプに対応できます。

軽量で施工が容易

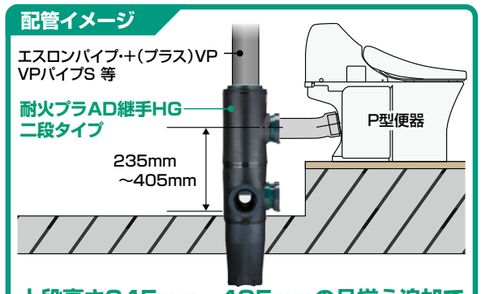
立て管、横枝管にはエスロンパイプ・+（プラス）VPを接続可能。管、継手ともに軽量で作業性に優れています。また横枝管接続はゴム輪ワンタッチ接合で、パイプの熱伸縮の吸収も行います。



※上段高さ235mm品での比較

マンション
リニューアル
に対応

配管イメージ

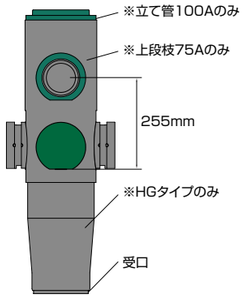


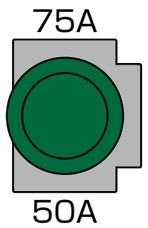
上段高さ345mm～405mmの品揃え追加で
より大きな段差のあるスラブに対応可能

耐火プラAD継手HG 二段タイプ　品番の見方

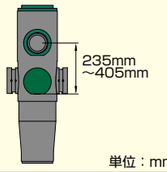
品番例　**H N C 7 0 5 U**

- 下部受口
- 下段枝管呼び径 75A-なし-50Aの2口
- 上段枝高さ255mm
- 2段タイプ（HGのみ）





1桁目	2桁目	3桁目	4桁目	5桁目	6桁目	7桁目
タイプ		上段枝高さ	枝管呼び径			下部接続
HN		上段高さ 345mm～405mmの品揃え追加!	【上段】75Aのみ / 【下段】品番4桁目→品番5桁目→品番6桁目			受口:U 差口:S



単位：mm

高さ	品　番	高さ	品　番	高さ	品　番
235	A	295	G	355	M
245	B	305	H	365	N
255	C	315	I	375	O
265	D	325	J	385	P
275	E	335	K	395	Q
285	F	345	L	405	R

枝管呼び径	品　番
50A	5
65A	6
75A	7
枝管なし	なし又は0

■価格表

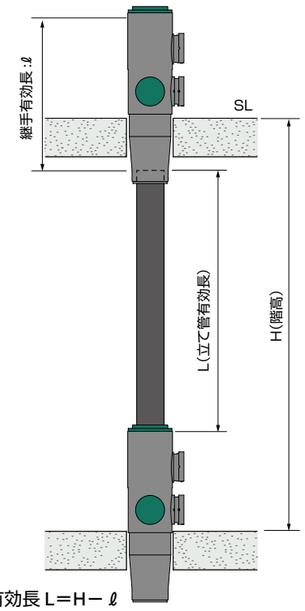
単位：mm

上　段	下　段		上段枝高さ	定価(円 / 個)
呼び径	横枝管	呼び径		
75	枝無し	ー	235～405	43,010
	1 方向	75, 65, 50		
	2 方向	75×75, 75×65, 75×50		45,540
		65×65, 65×50		
		50×50		
	3 方向	75×75×75, 75×75×65, 75×75×50		48,070
		75×65×65, 75×65×50		
		75×50×50		
		65×65×65, 65×65×50		
		65×50×50		
		50×50×50		

※品揃え、品番は設計積算価格表をご参照ください。

■配管の納まり

立て管の寸法割り出し

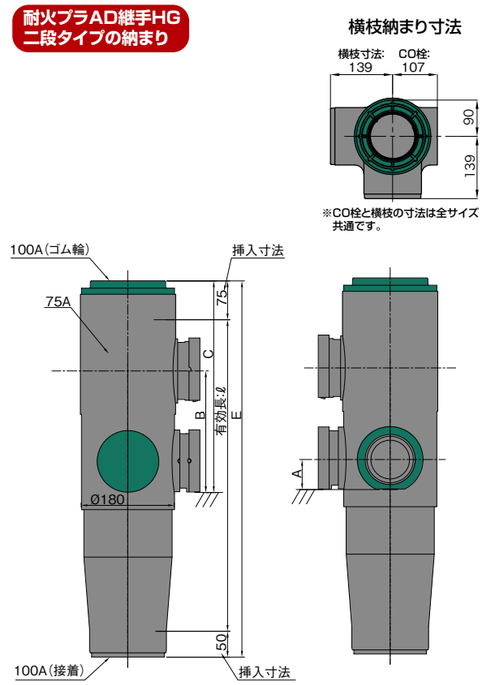


立て管有効長 L＝H－ ℓ
H：階高　ℓ：継手有効長

単位：mm

上段枝高さ	継手有効長（ℓ）	上段枝高さ	継手有効長（ℓ）
235	602	345	712
245	612	355	722
255	622	365	732
265	632	375	742
275	642	385	752
285	652	395	762
295	662	405	772
305	672		
315	682		
325	692		
335	702		

耐火プラAD継手HG
二段タイプの納まり



横枝納まり寸法

※CO栓と横枝の寸法は全サイズ共通です。

単位：mm

上段枝管高さ B	C	ℓ	E	上段枝管高さ B	C	ℓ	E
235	409	602	727	345	519	712	837
245	419	612	737	355	529	722	847
255	429	622	747	365	539	732	857
265	439	632	757	375	549	742	867
275	449	642	767	385	559	752	877
285	459	652	777	395	569	762	887
295	469	662	787	405	579	772	897
305	479	672	797				
315	489	682	807				
325	499	692	817				
335	509	702	827				

単位：mm

横枝管サイズ	挿入寸法	A
50A	55	42
65A	55	51
75A	55	58

品揃えが
11段階➡
18段階に
増えました!

エスロンパイプ・+(プラス)VP

反りにくさ歴代No.1になって新発売。

耐火プラAD継手HG・SGには
エスロンパイプ・+(プラス)VPをご使用ください!

エスロンパイプ・+(プラス) パワーアップした性能 ＋ 温暖化に伴う塩ビ管への影響を最小限に抑えるため対湾曲性能を強化

基本性能にプラス

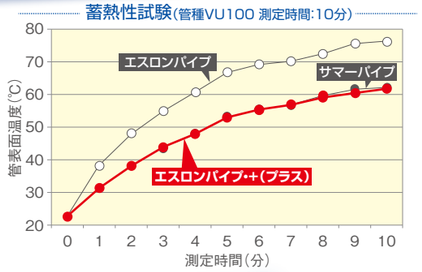
基本性能一覧

評価項目		評価方法	単位	エスロンパイプ	エスロンサマーパイプ	エスロンパイプ・+(プラス)
サマー性能	蓄熱性	自社評価※1	[℃]	76.2	62.1	61.8
	反り・湾曲	自社評価※2	ー	BM(ベンチマーク)	湾曲量1/2以下	湾曲量1/2以下

※1　赤外線ランプ照射による管表面温度の上昇を測定。照射10分時点の管表面温度を比較(当社調べ)
※2　屋外における湾曲量推移及び最大湾曲蓄積量推移の比較(当社調べ)

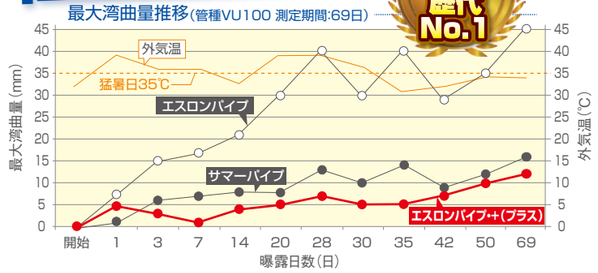
蓄熱性にプラス

蓄熱性試験(管種VU100 測定時間:10分)



最大湾曲量にプラス

最大湾曲量推移(管種VU100 測定期間:69日)

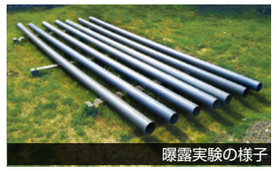


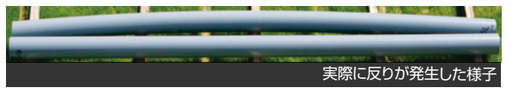
エスロンパイプの歴史の中で 反りにくさ 歴代No.1

エスロンパイプ・+(プラス) パワーアップした特長 ＋ 積水化学の配合技術が時代の変化にプラス!

年間通して反りに強い

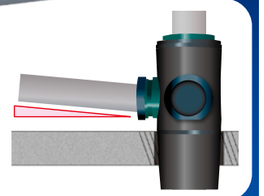
反りに強いので安心して通年で保管できます。
湾曲が抑えられるので取扱いやすさにもプラス! 施工のスピードアップに貢献します。


曝露実験の様子

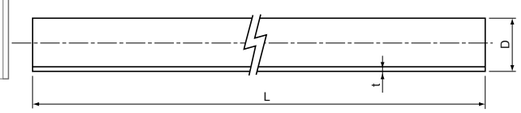

実際に反りが発生した様子

反りに強いので勾配出しが容易

勾配出しが容易にできるので、ここでも施工のスピードアップに貢献します。



※保管場所は原則的に屋内とし、やむをえず屋外に保管するときは屋根を設けるか、シート掛けなどで直射日光を避けるとともに、熱気がこもらないように風通しのよい状態に保ってください。

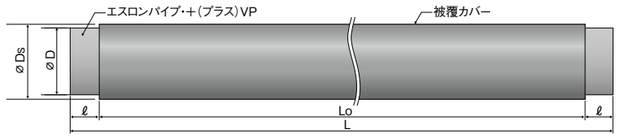


単位:mm

呼び径	外径(D)	外径の許容差(平均)	厚さ(t) 最小	厚さ(t) 許容差	近似内径(参考)	長さ(L)	参考質量(kg/m)	品番	価格(円/本)
40	48	±0.2	3.6	+0.8	40	4,000±10	0.791	VP404	3,430
50	60	±0.2	4.1	+0.8	51	4,000±10	1.122	VP504	4,840
65	76	±0.3	4.1	+0.8	67	4,000±10	1.445	VP654	6,170
75	89	±0.3	5.5	+0.8	77	2,900±10	2.202	VP7529	7,820
						4,000±10		VP754	9,470
100	114	±0.4	6.6	+1.0	100	2,900±10	3.409	VP1H29	11,480
						4,000±10		VP1H4	13,920
125	140	±0.5	7.0	+1.0	125	4,000±10	4.464	VP1Q4	17,860
150	165	±0.5	8.9	+1.4	146	4,000±10	6.701	VP1F4	26,810

※ 参考質量は比重を 1.43 として計算した参考数値であり規格の一部ではありません。

VPパイプS

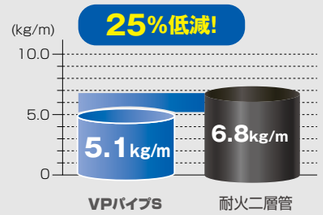


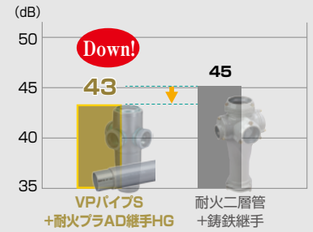
単位:mm

呼び径	VPパイプS 外径Ds	内管 VP 外径D 基準寸法	内管 VP 外径D 最大・最小外径の許容差	内管 VP 外径D 平均外径の許容差	内管 VP 長さ L	被覆カバー 長さ Lo	管端長さ ℓ[標準]	標準重量(kg/本)	品番	価格(円/本)
75	102.0	89.0	±0.50	±0.30	2900±10	2800±10	50	10.29	VP7529S	9,870
100	127.0	114.0	±0.60	±0.40	2900±10	2800±10	50	14.77	VP1H29S	13,820

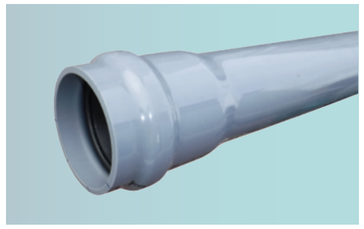
VPパイプSの特長

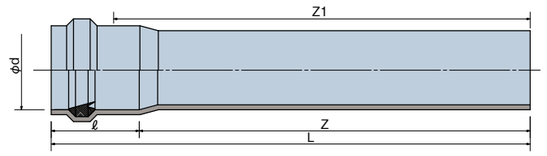
耐火二層管と比べて軽く、耐火プラAD継手HGと組み合わせることで耐火二層管や鋳鉄継手以上の遮音性能を発揮します。





VP受口付立て管





単位:mm

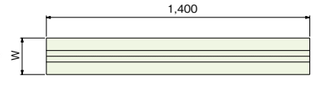
呼び径	L	Z	Z1	ℓ	d	品番	価格(円/本)
75	2,880	2,763±20	2,800	117 +5 0	90.0±0.25	VP7529R	10,630
100	2,880	2,753±20	2,790	127 +5 0	115.0±0.40	VP1H29R	15,180

※VP受口付立て管は、耐火プラAD継手HG・SGの立て管にのみご使用いただけます。
※受口付立て管は熱伸縮の吸収用には使用できません。

VP受口付き立て管の特長

耐火プラAD継手HG差口タイプと組み合わせることでワンタッチ接続が可能。簡単施工で確実な止水性を発揮します。

VPパイプ用遮音カバー

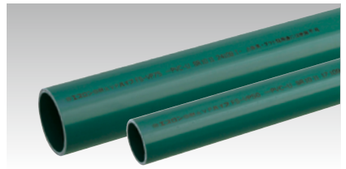


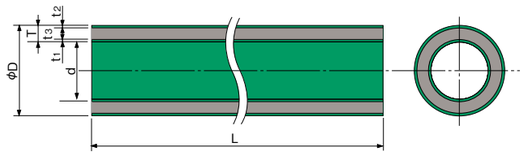
単位:mm

種類		W	入数	梱包重量(kg/箱)	品番	価格(円/本)
VPパイプ用	75A(立て管サイズ)	162	6本(2本/袋×3)	8.8	VPC75	5,700
	100A(立て管サイズ)	201	6本(2本/袋×3)	10.5	VPC1H	5,930

※VPパイプ用遮音カバーで防火区画貫通はできません。　※ジョイントテープ1枚同梱

耐火VPパイプ

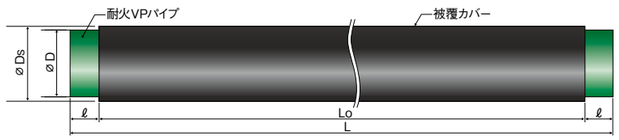




単位：mm

呼び径	外径D 基準寸法	外径D 最大・最小外径の許容差	外径D 平均外径の許容差	全体厚さT 基準寸法	全体厚さT 許容差	内層厚さt1 外層厚さt2 最小	中間層厚さt3 最小	長さL 基準寸法	長さL 許容差	参考 近似内径d	参考 質量(kg/m)	品番	価格(円/本)
40	48.0	±0.30	±0.20	4.0	±0.4	0.3	2.1	4,000	±10	40	0.797	FSVP404	5,970
50	60.0	±0.40	±0.20	4.5	±0.4	0.3	2.4	4,000	±10	51	1.132	FSVP504	7,280
65	76.0	±0.50	±0.30	4.5	±0.4	0.3	2.4	4,000	±10	67	1.458	FSVP654	10,050
75	89.0	±0.50	±0.30	5.9	±0.4	0.4	3.2	2,900	±10	77	2.221	FSV7529	10,190
								4,000				FSVP754	12,090
100	114.0	±0.60	±0.40	7.1	±0.5	0.5	3.9	2,900	±10	100	3.438	FSV1H29	14,550
								4,000				FSVP1H4	17,610
125	140.0	±0.80	±0.50	7.5	±0.5	0.6	4.1	4,000	±10	125	4.501	FSVP1Q4	24,890
150	165.0	±1.00	±0.50	9.6	±0.7	0.7	5.3	4,000	±10	146	6.746	FSVP1F4	32,750
NEW 200	216.0	±1.30	±0.70	11.0	±0.7	0.9	6.4	4,000	±10	194	10.213	FSVP2H4	58,780

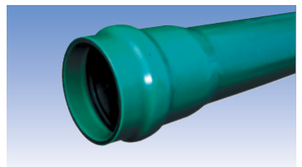
耐火VPパイプS

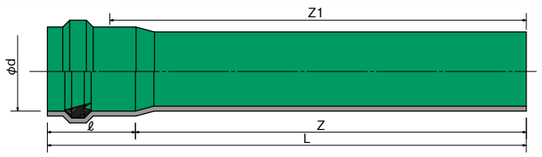


単位：mm

呼び径	耐火VPパイプS 外径Ds	内管 耐火VP 外径D 基準寸法	内管 耐火VP 外径D 最大・最小外径の許容差	内管 耐火VP 外径D 平均外径の許容差	内管 耐火VP 長さL	被覆カバー 長さLo	管端長さ ℓ[標準]	標準重量(kg/本)	品番	価格(円/本)
75	102.0	89.0	±0.50	±0.30	2900±10	2800±10	50	10.29	FS7529S	14,270
100	127.0	114.0	±0.60	±0.40	2900±10	2800±10	50	14.77	FS1H29S	20,530

耐火VP受口付立て管



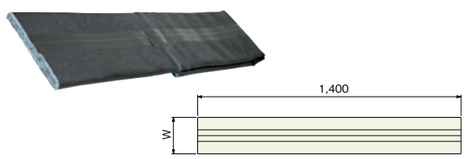


単位：mm

呼び径	L	Z	Z1	ℓ	d	品番	価格(円/本)
75	2,880	2,763±20	2,800	117^{+5}_{0}	90.0±0.25	FS7529R	18,040
100	2,880	2,753±20	2,790	127^{+5}_{0}	115.0±0.40	FS1H29R	24,440

※耐火VP受口付立て管は、耐火プラAD継手HG・SGの立て管にのみご使用いただけます。
※受口付立て管は熱伸縮の吸収用には使用できません。

耐火VPパイプ用遮音カバー

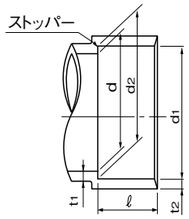


単位：mm

種類		W	入数	梱包重量(kg/箱)	品番	価格(円/本)
耐火VPパイプ用	50A(立て管サイズ)	116	6本(2本/袋×3)	6.0	FSVPC50	5,320
	65A(立て管サイズ)	141	6本(2本/袋×3)	7.5	FSVPC65	5,540
	75A(立て管サイズ)	162	6本(2本/袋×3)	8.8	FSVPC75	5,700
	100A(立て管サイズ)	201	6本(2本/袋×3)	10.5	FSVPC1H	5,930

※ジョイントテープ1枚同梱

耐火DV継手〈FS-DV〉



受口およびその他共通寸法

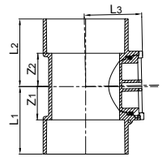
単位:mm

呼び径	d1 基準寸法	d1 許容差	d2 基準寸法	d2 許容差	ℓ 基準寸法	ℓ 許容差	d 基準寸法	d 許容差	t1 最小寸法	t2 最小寸法
40	48.30	±0.30	47.80	±0.30	22	±1	40.0	±0.9	2.7	2.5
50	60.35	±0.30	59.75	±0.30	25	±1	51.0	±0.9	3.1	3.0
65	76.40	±0.30	75.70	±0.30	35	±1	67.0	±0.9	3.1	3.0
75	89.45	±0.30	88.65	±0.30	40	±2	77.2	±0.9	3.6	3.4

単位:mm

呼び径	d1 基準寸法	d1 許容差	d2 基準寸法	d2 許容差	ℓ 基準寸法	ℓ 許容差	d 基準寸法	d 許容差	t1 最小寸法	t2 最小寸法
100	114.55	±0.35	113.55	±0.35	50	±2	98.8	±1.0	4.5	4.3
125	140.70	±0.40	139.40	±0.40	65	±2	125.0	±1.2	5.4	4.7
150	165.85	±0.45	164.25	±0.45	80	±2	145.8	±1.3	6.3	5.6
NEW 200	217.30	±0.55	215.00	±0.55	105	±2	194.0	±1.3	7.5	6.7

■コンパクト掃除口付継手



単位:mm

呼び径	L1	L2	L3	Z1	Z2	緑色 品番	緑色 価格(円)	透明 品番	透明 価格(円)
75	88.5	88.5	73	48.5	48.5	FSCT75	5,820	SFCT75	6,400
100	98.5	98.5	84	48.5	48.5	FSCT1H	6,460	SFCT1H	7,110

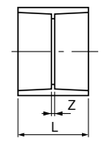
■コンパクト掃除口付継手用遮音カバー

固定バンド(2ケ)

種類	品番	入数	梱包数量(kg/個)	価格(円/枚)
75A	FCSC075	12枚(1枚/袋×12)	6.3	5,630
100A	FCSC01H	12枚(1枚/袋×12)	7.1	5,700

※コンパクト掃除口付継手以外はご使用できません。

■ソケット〈DS〉

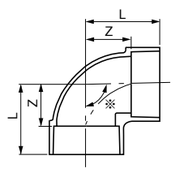


単位:mm

呼び径	Z	L	緑色 品番	緑色 価格(円)	透明 品番	透明 価格(円)
40	3	47	FSDS40	700	SFDS40	780
50	3	53	FSDS50	810	SFDS50	890
65	3	73	FSDS65	970	SFDS65	1,070
75	4	84	FSDS75	1,070	SFDS75	1,170
100	4	104	FSDS1H	1,420	SFDS1H	1,560
125	4	134	FSDS1Q	2,190	SFDS1Q	2,410
150	4	164	FSDS1F	3,250	SFDS1F	3,580
NEW 200	5	215	–	–	SFDS2H	20,280

※ Zの許容差は±2mmとします。
※ Lは標準寸法を示します。

■90°エルボ〈DL〉



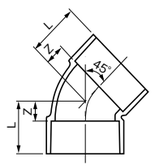
※印は91°10'

単位:mm

呼び径	Z	L	緑色 品番	緑色 価格(円)	透明 品番	透明 価格(円)
40	27	49	FSDL40	920	SFDL40	1,010
50	33	58	FSDL50	1,160	SFDL50	1,270
65	42	77	FSDL65	1,400	SFDL65	1,540
75	48	88	FSDL75	1,620	SFDL75	1,770
100	62	112	FSDL1H	2,350	SFDL1H	2,600
125	75	140	FSDL1Q	3,540	SFDL1Q	3,910
150	88	168	FSDL1F	5,520	SFDL1F	6,070
NEW 200	113	218	–	–	SFDL2H	32,450

※ Zの許容差は±2mmとします。
※ Lは標準寸法を示します。
※ 流れ角度は91°10'±30'とします。

■45°エルボ〈45L〉



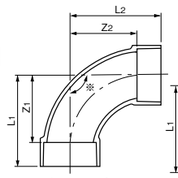
単位:mm

呼び径	Z	L	緑色 品番	緑色 価格(円)	透明 品番	透明 価格(円)
40	14	36	FS4L40	890	SF4L40	980
50	18	43	FS4L50	1,050	SF4L50	1,140
65	22	57	FS4L65	1,300	SF4L65	1,420
75	25	65	FS4L75	1,450	SF4L75	1,580
100	30	80	FS4L1H	2,020	SF4L1H	2,230
125	38	103	FS4L1Q	3,170	SF4L1Q	3,490
150	44	124	FS4L1F	4,430	SF4L1F	4,870
NEW 200	48	153	–	–	SF4L2H	27,380

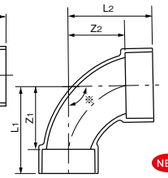
※ Zの許容差は±2mmとします。
※ Lは標準寸法を示します。

■90°大曲りエルボ〈LL〉　径違い90°大曲りエルボ〈LL〉

90°大曲りエルボ〈LL〉



※印は91°10′
90°大曲りエルボ〈LL〉



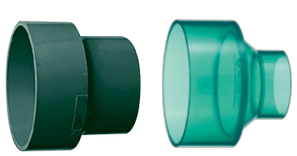
※印は91°10′
径違い90°大曲りエルボ〈LL〉

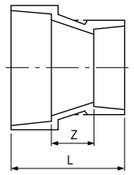
単位:mm

呼び径	Z1	Z2	L1	L2	緑色 品番	緑色 価格(円)	透明 品番	透明 価格(円)
40	52	52	74	74	FSLL40	1,490	SFLL40	1,640
50	66	66	91	91	FSLL50	1,670	SFLL50	1,840
65	90	90	125	125	FSLL65	2,000	SFLL65	2,210
75	100	100	140	140	FSLL75	2,350	SFLL75	2,600
100	128	128	178	178	FSLL1H	3,320	SFLL1H	3,650
125	140	140	205	205	FSLL1Q	4,740	SFLL1Q	5,200
150	170	170	250	250	FSLL1F	7,280	SFLL1F	8,010
NEW 200	196	196	301	301	–	–	FSLL2H	40,560
100×75	128	128	168	178	FSLL1H1	3,640	SFLL1H1	4,000

※ Zの許容差は±2mmとします。
※ Lは標準寸法を示します。
※ 流れ角度は91°10′±30′とします。

■インクリーザ〈IN〉



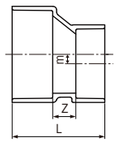


単位:mm

呼び径	Z	L	緑色 品番	緑色 価格(円)	透明 品番	透明 価格(円)
50× 40	20	67	FSIN501	780	SFIN501	860
65× 40	20	77	FSIN652	830	SFIN652	910
65× 50	20	80	FSIN651	890	SFIN651	980
75× 40	25	87	FSIN753	910	SFIN753	1,000
75× 50	25	90	FSIN752	980	SFIN752	1,080
75× 65	25	100	FSIN751	1,070	SFIN751	1,170
100× 40	30	102	FSIN1H4	1,080	SFIN1H4	1,200
100× 50	30	105	FSIN1H3	1,140	SFIN1H3	1,250
100× 65	30	115	FSIN1H2	1,270	SFIN1H2	1,400
100× 75	30	120	FSIN1H1	1,330	SFIN1H1	1,470
125× 75	35	140	FSIN1Q2	1,820	SFIN1Q2	1,990
125×100	35	150	FSIN1Q1	2,280	SFIN1Q1	2,510
150×100	40	170	FSIN1F2	3,490	SFIN1F2	3,840
150×125	40	185	FSIN1F1	3,610	SFIN1F1	3,980

※ Zの許容差は±2mmとします。
※ Lは標準寸法を示します。

■偏芯インクリーザ〈IN〉

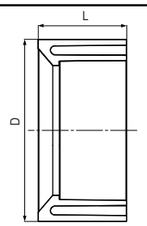


単位:mm

呼び径	Z	L	m	緑色 品番	緑色 価格(円)	透明 品番	透明 価格(円)
50× 40	20	67	5.5	FSIH501	870	SFIH501	960
65× 50	20	80	8	FSIH651	990	SFIH651	1,090

■ブッシュ〈BU〉

差し口 200 ➡



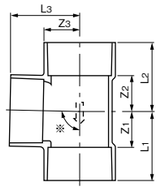
⬅ 受口 150

単位:mm

呼び径	D	L	緑色 品番	緑色 価格(円)	透明 品番	透明 価格(円)
NEW 200× 150	216	105	–	–	SFBU2H1	23,320

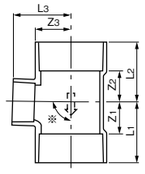
■90°Y〈DT〉　径違い90°Y〈DT〉

90°Y〈DT〉



※印は91°10′

径違い90°Y〈DT〉



※印は91°10′

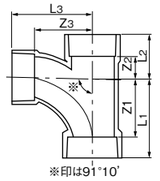
単位:mm

呼び径	Z1	Z2	Z3	L1	L2	L3	緑色 品番	緑色 価格(円)	透明 品番	透明 価格(円)
40	27	27	27	49	49	49	FSDT40	910	SFDT40	1,000
50	34	34	34	59	59	59	FSDT50	1,460	SFDT50	1,620
65	42	43	42	77	78	77	FSDT65	1,900	SFDT65	2,090
75	48	49	48	88	89	88	FSDT75	2,270	SFDT75	2,500
100	62	63	62	112	113	112	FSDT1H	3,410	SFDT1H	3,750
125	75	76	75	140	141	140	FSDT1Q	5,300	SFDT1Q	5,840
150	89	90	89	169	170	169	FSDT1F	8,720	SFDT1F	9,590
NEW 200	113	113	113	218	218	218	–	–	SFDT2H	49,680
50× 40	27	27	33	52	52	55	FSDT501	1,400	SFDT501	1,540
65× 40	27	28	42	62	63	64	FSDT652	1,520	SFDT652	1,670
65× 50	34	35	42	69	70	67	FSDT651	1,790	SFDT651	1,970
75× 40	27	28	48	67	68	70	FSDT753	1,520	SFDT753	1,670
75× 50	34	35	48	74	75	73	FSDT752	1,930	SFDT752	2,120
75× 65	42	43	48	82	83	83	FSDT751	2,130	SFDT751	2,340
100× 40	27	28	62	77	78	84	FSDT1H4	2,440	SFDT1H4	2,680
100× 50	34	35	62	84	85	87	FSDT1H3	2,570	SFDT1H3	2,830
100× 65	42	43	62	92	93	97	FSDT1H2	2,830	SFDT1H2	3,100
100× 75	48	49	62	98	99	102	FSDT1H1	2,990	SFDT1H1	3,290
125×100	61.5	63	75	126.5	128	124.5	FSDT1Q1	4,740	SFDT1Q1	5,200
150×100	61.5	62.5	90	141	142	140	FSDT1F2	7,690	SFDT1F2	8,460

※ Z1、Z2、Z3の許容差は±2mmとします。
※ L1、L2、L3は標準寸法を示します。
※ 流れ角度は91°10′±30′とします。

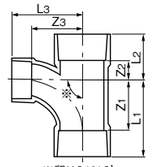
■90°大曲りY〈LT〉　径違い90°大曲りY〈LT〉

90°大曲りY〈LT〉



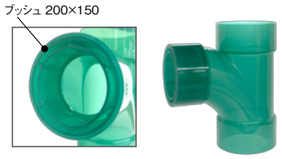
※印は91°10′

径違い90°大曲りY〈LT〉200×150以外

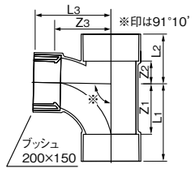


※印は91°10′

ブッシュ 200×150



径違い90°大曲りY〈LT〉200×150

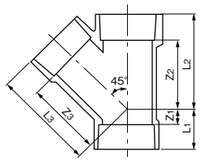


単位:mm

呼び径	Z1	Z2	Z3	L1	L2	L3	緑色 品番	緑色 価格(円)	透明 品番	透明 価格(円)
40	52	23	52	74	45	74	FSLT40	1,460	SFLT40	1,620
50	66	26	66	91	51	91	FSLT50	1,650	SFLT50	1,820
65	90	33	90	125	68	125	FSLT65Y	2,150	SFLT65Y	2,350
75	100	30	100	140	70	140	FSLT75	2,500	SFLT75	2,750
100	128	45	128	178	95	178	FSLT1H	3,830	SFLT1H	4,200
125	140	50	140	205	115	205	FSLT1Q	5,980	SFLT1Q	6,580
150	170	65	170	250	145	250	FSLT1F	10,100	SFLT1F	11,110
NEW 200	196	88	196	301	193	301	–	–	SFLT2H	58,820
50× 40	52	23	57	77	48	79	FSLT501	1,550	SFLT501	1,710
65× 40	52	24	66	87	59	88	FSLT652	1,930	SFLT652	2,120
65× 50	66	27	74	101	62	99	FSLT61Y	1,940	SFLT61Y	2,130
75× 40	52	25	71	92	65	93	FSLT753	2,000	SFLT753	2,210
75× 50	66	29	79	106	69	104	FSLT752	2,150	SFLT752	2,350
75× 65	90	32	95	130	72	130	FSLT751	2,390	SFLT751	2,630
100× 40	52	28	82	102	78	104	FSLT1H4	2,700	SFLT1H4	2,970
100× 50	66	32	90	116	82	115	FSLT1H3	2,900	SFLT1H3	3,190
100× 65	90	36	107	140	86	142	FSLT1H2	3,170	SFLT1H2	3,490
100× 75	100	33	110	150	83	150	FSLT1H1	3,330	SFLT1H1	3,660
125× 75	100	42	124	165	107	164	FSLT1Q2	3,910	SFLT1Q2	4,290
125×100	128	52	140	193	117	190	FSLT1Q1	5,430	SFLT1Q1	5,970
NEW 200×150	196	88	221	301	193	301	–	–	SFLT2H1	56,780

※ Z1、Z2、Z3の許容差は±2mmとします。
※ L1、L2、L3は標準寸法を示します。
※ 流れ角度は91°10′±30′とします。
※ 呼び径200×150の径違い90°大曲りYは、呼び径200の90°大曲りYとブッシュの組み合わせ品です。

■45°Y〈Y〉



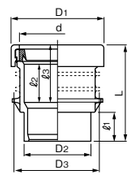
単位:mm

呼び径	Z1	Z2	Z3	L1	L2	L3	緑色 品番	緑色 価格(円)	透明 品番	透明 価格(円)
40	12	58	62	34	80	84	FSY40	1,400	SFY40	1,540
50	20	72	78	45	97	103	FSY50	1,520	SFY50	1,670
65	20	92	98	55	127	133	FSY65Y	1,970	SFY65Y	2,170
75	26	106	115	66	146	155	FSY75	2,300	SFY75	2,520
100	32	134	144	82	184	194	FSY1H	3,540	SFY1H	3,910
125	38	172	175	103	237	240	FSY1Q	5,800	SFY1Q	6,380
150	44	204	210	124	284	290	FSY1F	9,990	SFY1F	10,990
NEW 200	42	258	268	147	363	373	–	–	SYF2H	56,780
50× 40	8	62	70	33	87	92	FSY501	1,330	SFY501	1,470
65× 40	−1	72	82	34	107	104	FSY652	1,420	SFY652	1,560
65× 50	8	80	88	43	115	113	FSY651Y	1,760	SFY651Y	1,940
75× 40	−6	78	92	34	118	114	FSY753	1,840	SFY753	2,020
75× 50	3	86	98	43	126	123	FSY752	1,990	SFY752	2,190
75× 65	14	98	106	54	138	141	FSY751	2,180	SFY751	2,400
100× 40	−14	96	112	36	146	134	FSY1H4	2,660	SFY1H4	2,930
100× 50	−8	98	118	42	148	143	FSY1H3	2,850	SFY1H3	3,150
100× 65	3	110	125	53	160	160	FSY1H2	2,900	SFY1H2	3,190
100× 75	19	118	132	69	168	172	FSY1H1	3,270	SFY1H1	3,600
125×100	19	150	171	84	215	221	FSY1Q1	5,260	SFY1Q1	5,790
150×100	6	165	185	86	245	235	FSY1F2	7,490	SFY1F2	8,240

※ Z1、Z2、Z3の許容差は±2mmとします。
※ L1、L2、L3は標準寸法を示します。

■差込ソケット〈ES〉

⚠ ゴムリングにはエスロン滑剤No.1を必ずご使用ください。

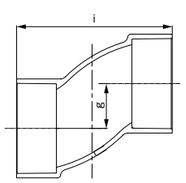


単位:mm

呼び径	D1	D2	D3	d	L	ℓ1	ℓ2	ℓ3	緑色 品番	緑色 価格(円)	透明 品番	透明 価格(円)
40	69	48	60	48.9	80	23	34	48	FSSS40	1,650	SFSS40	1,820
50	85	60	76	60.8	85	26	35	51	FSSS50	1,720	SFSS50	1,890
65	110	76	86	77.1	103	36	37	58	FSSS65	1,770	SFSS65	1,960
75	118	89	114	90.0	113	41	44	65	FSSS75	1,800	SFSS75	1,980
100	148	114	140	115.2	134	51	51	76	FSSS1H	2,520	SFSS1H	2,770
125	181	140	165	141.2	160	66	53	83	FSSS1Q	4,690	SFSS1Q	5,160
150	211	165	191	166.3	191	83	62	96	FSSS1F	6,230	SFSS1F	6,850

※ D3の寸法は支持金具取付部寸法を示します。
※ 呼び径65以外は点線の通りのリブが付いています(固定バンド用)。
※ 呼び径200での伸縮処理はやりとりソケットをご使用ください。

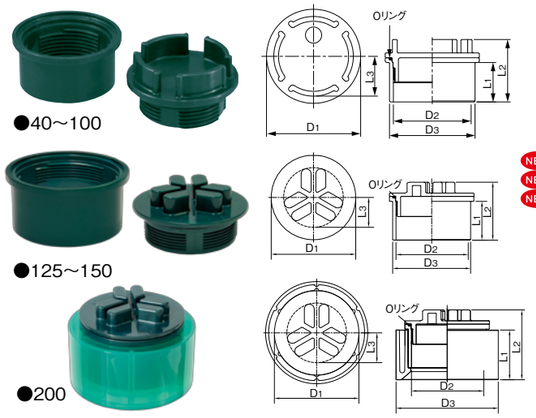
NEW ■Sソケット



単位:mm

呼び径	i	g	緑色 品番	緑色 価格(円)	透明 品番	透明 価格(円)
40	84	24	FSDSS40	1,800	SFDSS40	2,000
50	100	30	FSDSS50	2,000	SFDSS50	2,200
65	134	38	FSDSS65	2,200	SFDSS65	2,400
75	155	44.5	FSDSS75	2,400	SFDSS75	2,600
100	195	57	FSDSS1H	3,300	SFDSS1H	3,600

■ねじ式掃除口

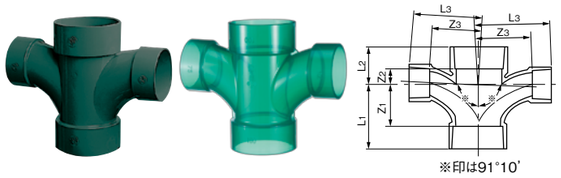


単位:mm

呼び径	D1	D2	D3	L1	L2	L3	締付けトルク(N・m)	品　番	価格(円/個)
40	55	41	48	23	44.5	24	4	FSC040	880
50	68	51	60	26	47.5	29	5	FSC050	920
65	84	69	76	36	57.5	36	5	FSC065	1,070
75	98	81	89	41	65	42	5	FSC075	1,200
100	125	104	114	51	76	46	5	FSC01H	1,770
NEW 125	154	128	140	67	106	55	8	FSC01Q	6,850
NEW 150	179	151	165	82	123	63	8	FSC01F	9,960
NEW 200	179	151	216	105	148	63	8	FSC02H	22,310

※ 呼び径200は、呼び径150のねじ式掃除口とブッシュの組み合わせ品です。

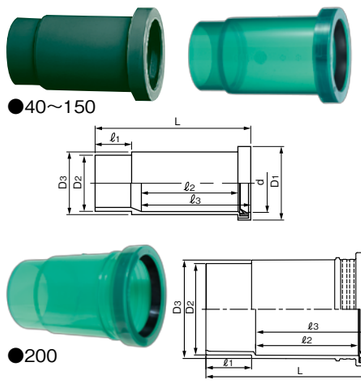
■径違い90°大曲両Y〈WLT〉



単位:mm

呼び径	Z1	Z2	Z3	L1	L2	L3	緑　色		透　明	
							品　番	価格(円)	品　番	価格(円)
100×75	100	40	110	150	90	150	FSWT1H1	7,910	SFWT1H1	8,710
125×100	128	52	140	193	117	190	FSWT1Q1	11,070	SFWT1Q1	12,170

■やりとりソケット〈LES〉

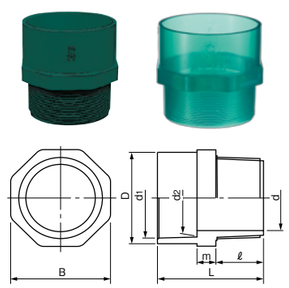


⚠ ゴムリングにはエスロン滑剤No.1を必ずご使用ください。　単位:mm

呼び径	D1	D2	D3	d	L	ℓ1	ℓ2	ℓ3	緑　色		透　明	
									品　番	価格(円)	品　番	価格(円)
40	69	48	54.0	48.6	121.5	23	78	92.0	FSYS40	1,750	SFYS40	1,930
50	85	60	67.0	60.9	134.5	26	85	101.0	FSYS50	2,080	SFYS50	2,280
65	106	76	86.5	77.1	170.0	36	107	122.0	FSYS65	2,640	SFYS65	2,900
75	120	89	99.0	90.0	195.0	41	124	144.5	FSYS75	2,840	SFYS75	3,110
100	150	114	125.0	115.2	236.0	51	151	176.0	FSYS1H	4,040	SFYS1H	4,440
125	181	140	151.0	141.2	290.5	66	183	212.5	FSYS1Q	5,950	SFYS1Q	6,550
150	211	165	178.9	166.3	351.0	80	223	256.5	FSYS1F	10,600	SFYS1F	11,670
NEW 200	268	216	236.0	218.7	400.0	108	245	283.0	—	—	SFYS2H	32,450

※ 呼び径200のみD3寸法は支持金具取付部寸法を示します。呼び径200は点線の通りのリブが付いています(固定バンド用)。
呼び径200は耐火二層管呼び径200の固定バンドをご使用ください。

■排水用バルブソケット〈VS〉

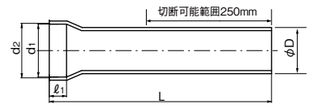


単位:mm

呼び径	d1	d2	d	D	ℓ	m	L	B	ねじ部呼び	緑　色		透　明	
										品　番	価格(円)	品　番	価格(円)
40	48.30	47.80	39.0	54	27	10	59	56	R1 1/2	FSVS40	640	SFVS40	700
50	60.35	59.75	51.0	67	30	13	70	67	R2	FSVS50	790	SFVS50	880
65	76.40	75.70	65.0	83	35	15	85	86	R2 1/2	FSVS65	890	SFVS65	980
75	89.45	88.65	77.2	97	39	16	95	100	R3	FSVS75	1,050	SFVS75	1,160
100	114.55	113.55	98.8	124	47	18	115	128	R4	FSVS1H	1,520	SFVS1H	1,670

■耐火VPサニタリーベンド

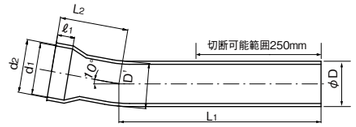
【ストレートタイプ】



ストレートタイプ　単位:mm

呼び径	φD	L	ℓ1	d1	d2 参考値	品　番	価格(円/個)
75	89.0	450.0	35.0	102.0	105.0	FSPSBS	3,490

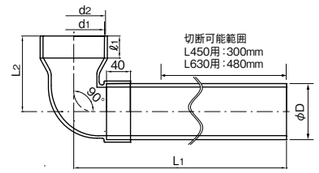
【10°曲がりタイプ】



10°曲がりタイプ　単位:mm

呼び径	φD	L1	L2	ℓ1	D'	d1	d2 参考値	品　番	価格(円/個)
75	89.0	417.0	141.0	35.0	89.0	102.0	105.0	FSPSB10	3,800

【90°曲がりタイプ】



90°曲がりタイプ　単位:mm

呼び径	種　類	φD	L1	L2	ℓ1	d1	d2 参考値	品　番	価格(円/個)
75	L450用	89.0	450	120	35	102	105.0	FSPSB94	5,060
	L630用		630					FSPSB96	6,330

※パッキンは付属しておりませんので、器具側のものをご使用ください。

※耐火VPパイプ・耐火DV継手と同一の材質で、アイボリー色としています。
※90°曲がりタイプの切断時には挿入代を確保してください。

80°サニタリーベンドシステム　P型便器専用

改修現場でのP型便器の接続を簡単・確実に!!

排水高さが変わっても調整が可能です。

● 便器交換が容易になります。

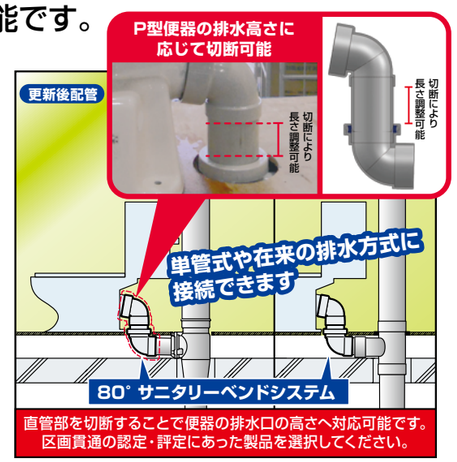
便器交換する際、P型便器の排水口高さが変化しても、80°サニタリーベンド管を切断することで簡単・確実に接続が可能です。

● 耐久性が向上します。

排水で実績のある塩ビ素材のため、劣化や詰まりに対する信頼性が向上します。

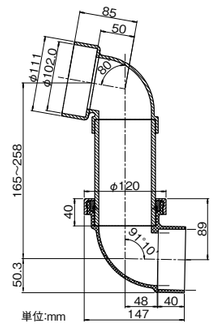
● 接続部の止水が確実です。

便器との接続部および配管の組み合わせ部は、現行のサニタリーベンドおよび差込みソケットと同様の構造のため、接続部における止水は確実です。



■80°サニタリーベンド管・継手

耐火アイボリー　シルバー

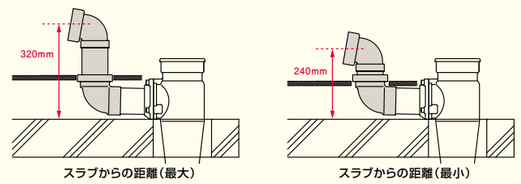


呼び径	種　類	品　番	価格(円/個)
75	耐火アイボリー(耐火VP仕様)	FSPSB80	9,490
	シルバー(ノーマルVP仕様)	JPSB80	8,730

※防火区画で耐火VPの認定が必要な場合、必ず耐火アイボリーを使用してください。

※80°サニタリーベンドシステムの施工等詳細につきましては、別途パンフレットをご参照ください。

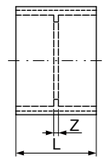
納まり例



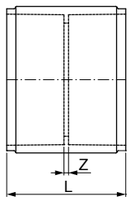
耐火DV遮音継手

■ソケット〈DS〉

呼び径50、65



呼び径75、100

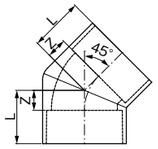


単位:mm

呼び径	Z	L	品　番	価格(円/個)
50	3	53	FZDS50	1,540
65	3	73	FZDS65	1,670
75	4	84	FZDS75	1,900
100	4	104	FZDS1H	2,490

※ Zの許容差は±2mmとします。
※ Lは基準寸法を示します。

■45°エルボ〈45L〉

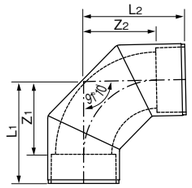


単位:mm

呼び径	Z	L	品　番	価格(円/個)
75	25	65	FZ4L75	2,330
100	30	80	FZ4L1H	3,280

※ Zの許容差は±2mmとします。
※ Lは基準寸法を示します。

■90°大曲りエルボ〈LL〉

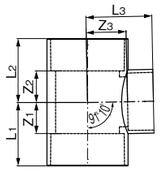


単位:mm

呼び径	Z1	Z2	L1	L2	品　番	価格(円/個)
75	100	100	140	140	FZLL75	3,860
100	128	128	178	178	FZLL1H	5,390

※ Z1、Z2の許容差は±2mmとします。
※ 流れ角度91°10'の許容差は±30'とします。
※ L1、L2は基準寸法を示します。

■90°Y〈DT〉 / 径違い90°Y〈DT〉

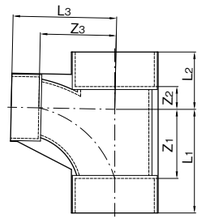


単位:mm

呼び径	Z1	Z2	Z3	L1	L2	L3	品　番	価格(円/個)
50	34	34	34	59	59	59	FZDT50	2,770
65	42	43	42	77	78	77	FZDT65	3,140
75	48	49	48	88	89	88	FZDT75	3,280
65×50	34	35	42	69	70	67	FZDT651	3,070
75×50	34	35	48	74	75	73	FZDT752	3,140
75×65	42	43	48	82	83	83	FZDT751	3,200
100×65	42	43	62	92	93	97	FZDT1H2	4,240
100×75	48	49	62	98	99	102	FZDT1H1	4,370

※ Z1、Z2、Z3の許容差は±2mmとします。
※ 流れ角度91°10'の許容差は±30'とします。
※ L1、L2及びL3は基準寸法を示します。

■90°大曲りY〈LT〉 / 径違い90°大曲りY〈LT〉

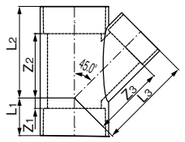


単位:mm

呼び径	Z1	Z2	Z3	L1	L2	L3	品　番	価格(円/個)
50	66	26	66	91	51	91	FZLT50	3,140
65	90	33	90	125	68	125	FZLT65	3,580
75	100	30	100	140	70	140	FZLT75	3,860
50×40	52	23	57	77	48	79	FZLT501	2,920
65×50	66	27	74	101	62	99	FZLT651	3,420
75×50	66	29	79	106	69	104	FZLT752	3,580
75×65	90	32	95	130	72	130	FZLT751	3,710
100×65	90	36	107	140	86	142	FZLT1H2	5,030
100×75	100	33	110	150	83	150	FZLT1H1	5,170

※ Z1、Z2、Z3の許容差は±2mmとします。
※ 流れ角度91°10'の許容差は±30'とします。
※ L1、L2及びL3は基準寸法を示します。

■45°Y〈Y〉

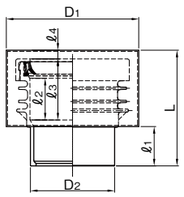


単位:mm

呼び径	Z1	Z2	Z3	L1	L2	L3	品　番	価格(円/個)
50	20	72	78	45	97	103	FZY50	3,070
65	20	92	98	55	127	133	FZY65	3,420
75	26	106	115	66	146	155	FZY75	3,780
100	32	134	144	82	184	194	FZY1H	6,270
75×65	14	98	106	54	138	141	FZY751	3,650
100×75	19	118	132	69	168	172	FZY1H1	5,100

※ Z1、Z2、Z3の許容差は±2mmとします。
※ L1、L2及びL3は基準寸法を示します。

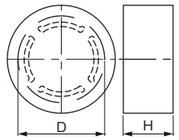
■差込ソケット〈ES〉



単位:mm

呼び径	D1	D2	L	ℓ1	ℓ2	ℓ3	ℓ4	品　番	価格(円/個)
50	105	60	94	26	35	51	9	FZSS50	3,860
65	131	76	112	36	37	58	9	FZSS65	4,810
75	140	89	122	41	44	65	9	FZSS75	5,100
100	169	114	143	51	51	76	9	FZSS1H	6,270

■掃除口〈CO〉



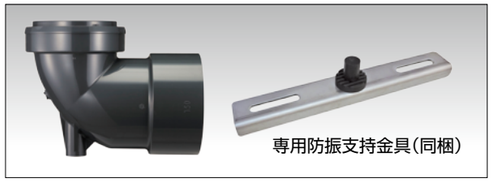
単位:mm

呼び径	D	H	品　番	価格(円/個)
50	68	40	FZCO50	1,830
65	84	50	FZCO65	1,900
75	98	55	FZCO75	1,970

プラ脚部継手

●プラ脚部継手

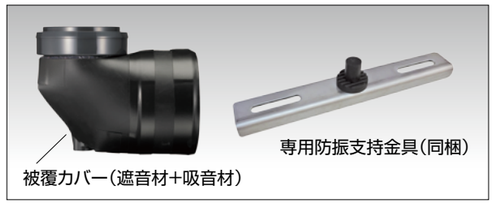
〈標準グレード〉被覆カバーがないので、ピット配管等の遮音性が要求されない場所に最適です。



呼び径	品番 標準※1	品番 SUS仕様	価格(円/個) 標準※1	価格(円/個) SUS仕様
75×100	PL7H★	PL7HS	12,650	15,180
75×125	PL7Q★	PL7QS	13,920	16,450
100×125	PLHQ★	PLHQS	15,180	17,710
100×150	PLHF★	PLHFS	17,710	20,240
125×125※2	PLQQ★	PLQQS	15,180	17,710
125×150※2	PLQF★	PLQFS	17,710	20,240

※1. 支持金具:ユニクロメッキ仕様
※2. 呼び径125×125、125×150は耐火プラAD継手HG 最下階タイプとの接続専用です。
※★は標準品です。その他は受注生産品となります。

〈遮音グレード〉被覆カバーが巻かれており、エントランスの天井配管等の遮音性が要求される場所に最適です。



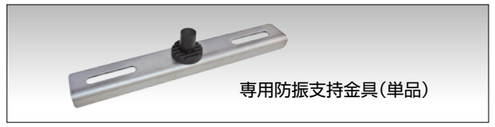
※遮音グレードは鋳鉄脚部継手とほぼ同等の遮音性能です。
要求される遮音性能に応じて鋳鉄脚部と同様に遮音材を巻くことをご検討ください。

呼び径	品番 標準※1	品番 SUS仕様	価格(円/個) 標準※1	価格(円/個) SUS仕様
75×100	PLS7H★	PLS7HS	18,980	21,510
75×125	PLS7Q★	PLS7QS	20,240	22,770
100×125	PLSHQ★	PLSHQS	21,510	24,040
100×150	PLSHF★	PLSHFS	24,040	26,570
125×125※2	PLSQQ★	PLSQQS	21,510	24,040
125×150※2	PLSQF★	PLSQFS	24,040	26,570

※1. 支持金具:ユニクロメッキ仕様
※2. 呼び径125×125、125×150は耐火プラAD継手HG 最下階タイプとの接続専用です。
※★は標準品です。その他は受注生産品となります。

⚠
プラ脚部継手呼び径125×125、125×150は
耐火プラAD継手HG 最下階タイプと組み合わせてご使用ください。

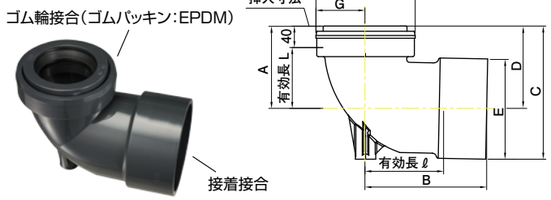
〈プラ脚部継手 専用防振支持金具〉※標準、遮音グレード兼用



品番 標準※1	品番 SUS仕様	価格(円/個) 標準※1	価格(円/個) SUS仕様
SJKPKT★	SUSPKT★	3,800	6,330

※1. 支持金具:ユニクロメッキ仕様
※★は標準品です。その他は受注生産品となります。

●寸法・構造



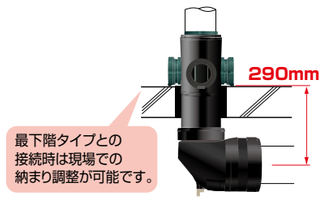
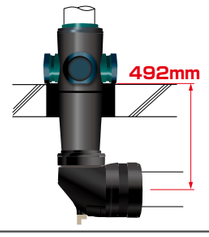
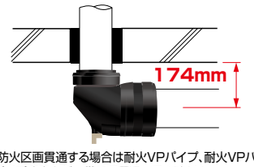
〈標準グレード〉

単位：mm

呼び径	A	B	C※1	D	E※1	F	G	L	ℓ
75×100	127	181	198	130	136	158	78	87	131
75×125	148	224	234	153	161	184	78	108	159
100×125	149	211	234	153	161	184	91	109	146
100×150	150	226	247	154	186	184	91	110	146
125×125※2	144	210	229	148	161	193	97	104	145
125×150※2	145	225	242	149	186	193	97	105	145

※1. 遮音グレードの寸法は上記表のCに10mm、Eに20mm加えた値となります。
※2. 呼び径125×125、125×150は耐火プラAD継手HG 最下階タイプとの接続専用です。

●プラ脚部継手 上流受口側の接続パターンと最小納まり(立て管100A、横主管150Aの場合)

最下階合流システムの場合		最下階住戸排水単独の場合
プラ脚部継手(呼び径125×150)	プラ脚部継手(呼び径100×150)	
耐火プラAD継手HG 最下階タイプ(227mm切断時)	耐火プラAD継手 HG・SG	立て管
		
最下階タイプとの接続時は現場での納まり調整が可能です。 ※最下階タイプを切断しない場合：納まり517mm(最長)		※パイプで防火区画貫通する場合は耐火VPパイプ、耐火VPパイプS、耐火VPパイプ遮音カバー巻きで貫通してください。

※ご使用の際には必ず認定書、評定書の内容をご確認ください。
※防火区画貫通部についてご不明な点は、所轄の消防機関までご確認ください。
※ADスリム継手との接続は行わないでください。

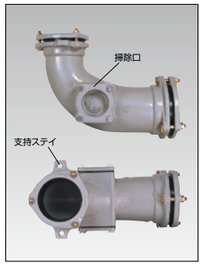
AD脚部継手・関連製品

●AD脚部継手(フランジ付品)

呼び径	品番 標準	品番 SUS仕様	価格(円/個) 標準	価格(円/個) SUS仕様
80× 80	LEAD808★	LAD808S	21,910	26,270
80×100	LEAD80★	LAD80S	23,230	27,590
80×125	LEAD805★	LAD805S	27,720	35,090
80×150	LEAD806★	LAD806S	36,430	43,800
100×100	LEAD1H4★	LAD1H4S	26,800	31,150
100×125	LEAD1H★	LAD1HS	33,920	41,290
100×150	LEAD1H6★	LAD1H6S	39,200	46,570
100×200	LEAD1H8★	LAD1H8S	59,140	67,710

※SUS仕様：フランジ用ボルト・ナット
※★は標準品です。その他は受注生産品となります。

●掃除口付支持付(フランジ付品)



呼び径	品番 標準	品番 SUS仕様	価格(円/個) 標準	価格(円/個) SUS仕様
80×100	LAD804B★	AD804BS	43,960	48,310
100×125	LAD1H5B★	AD1H5BS	52,140	59,510
100×150	LAD1H6B★	AD1H6BS	63,230	70,600

※SUS仕様：フランジ用ボルト・ナット
※★は標準品です。その他は受注生産品となります。

●ロングタイプ(フランジ付品)

呼び径	品番 標準	品番 SUS仕様	価格(円/個) 標準	価格(円/個) SUS仕様
80×100	LEAD84L★	LAD84LS	31,280	35,640
80×125	LEAD85L★	LAD85LS	32,870	40,240
80×150	LEAD86L	LAD86LS	53,720	61,090
100×125	LEAD1HL★	LAD1HLS	36,430	43,800
100×150	LEAD1FL★	LAD1FLS	55,570	62,940
100×200	LEAD18L	LAD18LS	71,540	80,110

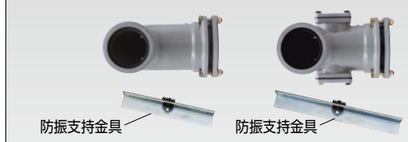
※SUS仕様：フランジ用ボルト・ナット
※★は標準品です。その他は受注生産品となります。

●スリム直結ショートタイプ(フランジ、防振支持金具付品)

● 最下階合流システム専用

呼び径	品番 標準	品番 SUS仕様	価格(円/個) 標準	価格(円/個) SUS仕様
80×100	LAD84RH★	AD84RHS	29,040	40,660
80×125	LAD85RH★	AD85RHS	38,540	50,160
100×125	LAD1HRH★	AD1HRHS	39,730	51,350
100×150	LAD1FRH★	AD1FRHS	45,010	56,630

※SUS仕様：支持金具、フランジ用ボルト・ナット
※★は標準品です。その他は受注生産品となります。



<掃除口付>

呼び径	品番 標準	品番 SUS仕様	価格(円/個) 標準	価格(円/個) SUS仕様
80×100	LAD84RB★	AD84RBS	43,960	58,610
80×125	LAD85RB★	AD85RBS	49,630	64,280
100×125	LAD1HRB★	AD1HRBS	52,010	66,660
100×150	LAD1FRB★	AD1FRBS	63,360	78,010

※SUS仕様：支持金具、フランジ用ボルト・ナット
※★は標準品です。その他は受注生産品となります。

⚠
・最下階合流システム用継手です。
・ADスリム継手、耐火プラAD継手差口タイプと組み合わせてご使用ください。
・ラセンDVLPとの組み合わせでは、使用できません。
・スリム直結ショートタイプの立管側の受口は、ゴム輪による接続となります。

●支持金具セット

● 脚部継手用

※全ねじボルトはセットには含まれておりません。

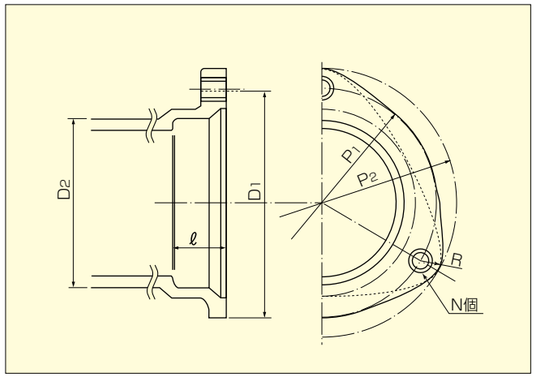
● 脚部継手ロング用

継手品種		品番	価格(円/個)
AD脚部継手	80A(立て管サイズ)	SJKK80★	4,880
	100A(立て管サイズ)	SJKK100★	5,020
	125A(立て管サイズ)	SJKK125★	6,600
AD脚部継手(SUS製)	80A(立て管サイズ)	SUSK80★	10,820
	100A(立て管サイズ)	SUSK100★	11,350
AD脚部継手ロングタイプ	80A(立て管サイズ)	SJKL80★	10,560
	100A(立て管サイズ)	SJKL100★	11,220

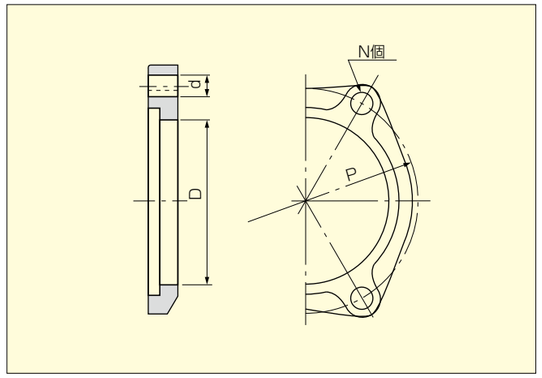
※★は標準品です。その他は受注生産品となります。

品揃え・規格　AD脚部継手・ADメカニカル継手

●継手本体の端部



●フランジ



受け口の共通寸法

単位:mm

呼び径	D1	D2	ℓ	P1	P2	R	N
80	124	92	28	126	150	12	3
100	151	116	33	152	176	12	3
125	180	143	36	181	209	14	3
150	209	167	39	210	238	14	3
200	264	221	48	266	298	16	3

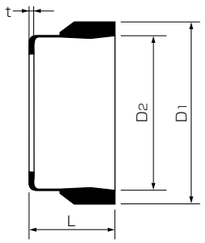
単位:mm

呼び径	品　番	D	d	P	N
80	ADMF80	92	12	126	3
100	ADMF1H	117	12	152	3
125	ADMF1Q	143	15	181	3
150	ADMF1F	169	15	210	3
200	ADMF2H	221	17	266	4

継手本体・フランジの材料

区　分	材　料	備　考
ねずみ鋳鉄製	JIS G 5501(ねずみ鋳鉄品)のFC150	継手本体
球状黒鉛鋳鉄製	JIS G 5502(球状黒鉛鋳鉄品)のFCD400、450又は500	フランジ

●パッキン

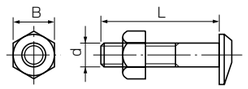


単位:mm

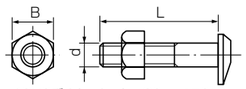
呼び径	品　番	D1	D2	L	t
80	ADPAK80	102.0	87.8	41.8	3.0
100	ADPAK1H	128.0	113.0	48.7	3.0
125	ADPAK1Q	154.0	137.8	56.7	3.0
150	ADPAK1F	182.0	163.2	60.5	3.0
200	ADPAK2H	238.0	214.3	72.0	4.0

●ボルト・ナット

■小判ボルト

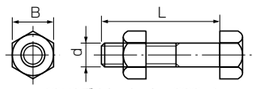


■小判ボルト



<SUSボルト・ナット　80A～150A>

■六角ボルト



<SUSボルト・ナット　200A>

●ボルト・ナット

単位:mm

呼び径	品　番	L	d	B
80	ADMBN80	50	10	17
100	ADMBN1H	50	10	17
125	ADMBN1Q	65	12	19
150	ADMBN1F	65	12	19
200	ADMBN2H	70	14	22

●材質及びメッキ仕様
ボルト:JIS G 3539(SWCH)冷間圧造用炭素鋼線
ナット:JIS G 3505(SWRM)軟鋼線材
メッキ:JIS H 8610(SWCH)電気亜鉛メッキ1種または2種の2級以上

●SUSボルト・ナット

単位:mm

呼び径	品　番	L	d	B	種　類
80	ADMSB80	50	10	17	小判ボルト
100		50	10	17	
125	ADMSB1Q	65	12	19	
150		65	12	19	
200	ADMSB2H	70	14	22	六角ボルト

●材質
ボルト:SUS 304
ナット:SUS 304

品揃え・規格　関連製品

●掃除口付ソケット(COS)

<フランジタイプ>

<RRタイプ>

呼び径	品　番		価格(円/個)	
	フランジタイプ	RRタイプ	フランジタイプ	RRタイプ
80	COSM80★	COSRR80★	16,130	16,730
100	COSM1H★	COSRR1H★	20,500	21,270
125	COSM1Q★	COSRR1Q★	35,090	36,470

※★は標準品です。その他は受注生産品となります。

●満水試験兼用掃除口付継手(COS-T Ⅱ)

<フランジタイプ>

<RRタイプ>

呼び径	品　番		価格(円/個)	
	フランジタイプ	RRタイプ	フランジタイプ	RRタイプ
80	COSTM80★	COSTR80★	32,600	34,140
100	COSTM1H★	COSTR1H★	45,470	47,100
125	COSTM1Q★	COSTR1Q★	66,920	69,500

※★は標準品です。その他は受注生産品となります。

●満水試験用治具(COS-TPA Ⅱ)

呼び径	品　番	価格(円/個)
80	ADMMA80★	42,300
100	ADMMA1H★	48,570
125	ADMMA1Q★	60,740

※★は標準品です。その他は受注生産品となります。

エスロン接着剤・滑剤

No.73S ブルー〈色付き接着剤〉

容量：500g缶(筆付)
1kg缶(筆付)

No.75S ブルーN〈色付き低粘度タイプ〉

容量：500g缶(筆付)
1kg缶(筆付)

No.73S

容量：500g缶(筆付)
1kg缶(筆付)

No.75S

容量：500g缶(筆付)
1kg缶(筆付)

No.73S UV〈蛍光接着剤〉

容量：500g缶(筆付)

No.73S バイオレット

容量：500g缶(筆付)
1kg缶(筆付)

No.80S

容量：500g缶(筆付)
1kg缶(筆付)

No.83Sホワイト

容量：500g缶(筆付)
1kg缶(筆付)

エスロン滑剤 No.1

容量：1kg缶、2kg缶

配管の納まり例

■ 立て管の寸法割り出し

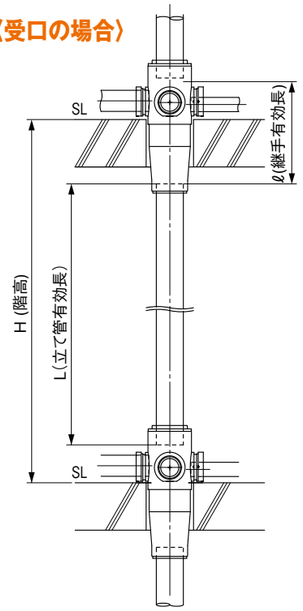
立て管有効長 L=H —ℓ
H：階高
ℓ：継手有効長

耐火プラ AD継手 HG・SG	呼び径	ℓ:継手有効長(mm)	
		受口	差口S
	75	425	545
	100	425	565

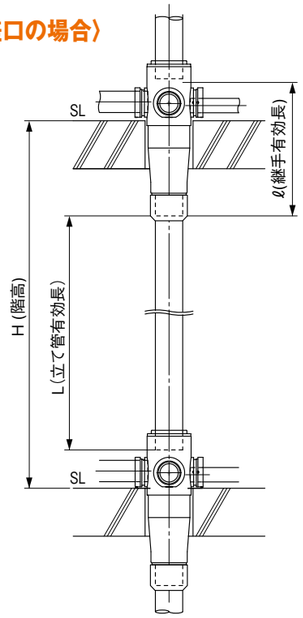
※差口はHGのみ

※差口M:本体75は差口Sの有効長の125mm延長
本体100は差口Sの有効長の145mm延長
差口L:本体100は差口Sの有効長の245mm延長

〈受口の場合〉

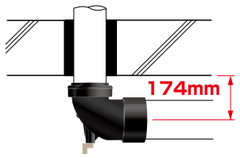
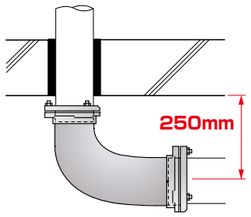
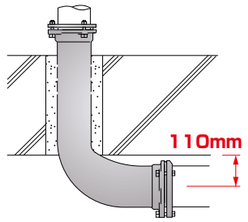


〈差口の場合〉



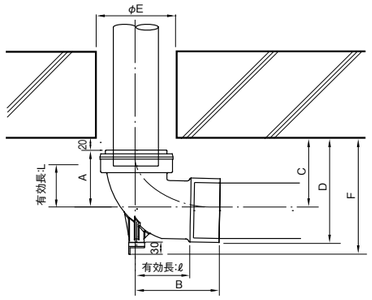
■ 最下階住戸排水単独の場合

各脚部継手における最小納まり例 （立て管100A、横主管125Aの場合）

脚部継手	プラ脚部継手	AD脚部継手	AD脚部継手ロングタイプ
最小納まり（C寸法）			

※パイプで防火区画貫通する場合は耐火VPパイプ、耐火VPパイプS、耐火VPパイプ遮音カバー巻きで貫通してください。

プラ脚部継手



プラ脚部継手 標準グレード

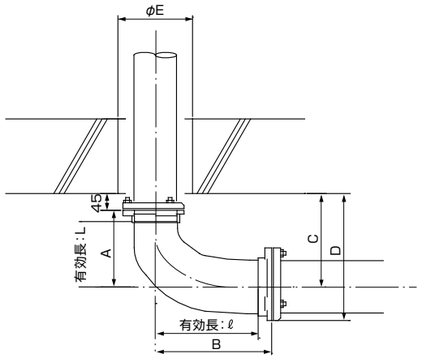
単位:mm

品番(標準)	呼び径	A	B	C (min)	D※ (min)	E	F (min)	L	ℓ
PL7H	75×100	127	181	150	218	175	248	87	131
PL7Q	75×125	148	224	174	254	175	284	108	159
PLHQ	100×125	149	211	174	253	200	284	109	146
PLHF	100×150	150	226	174	267	200	297	110	146

※遮音グレードの寸法は上記表のDに10mm加えた値となります。

■ 最下階住戸排水単独の場合

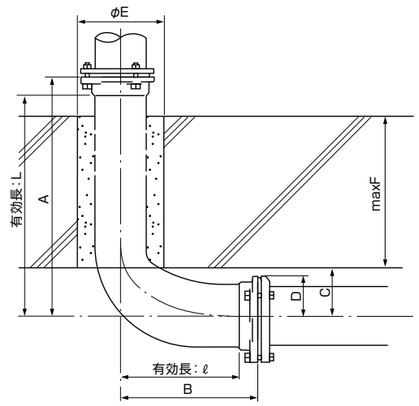
AD脚部継手・掃除口付支持付AD脚部継手



単位:mm

品番(標準)	呼び径	A	B	C(min)	D(min)	E	L	ℓ
LEAD808	80× 80	199	260	244	307	175	174	235
LEAD80	80×100	185	275	230	306	175	160	245
LEAD805	80×125	205	310	250	341	175	180	277
LEAD806	80×150	226	350	271	376	175	201	314
LEAD1H4	100×100	192	275	237	313	200	162	245
LEAD1H	100×125	205	310	250	341	200	175	277
LEAD1H6	100×150	226	350	271	376	200	196	314
LEAD1H8	100×200	247	412	292	425	200	217	368

AD脚部継手ロングタイプ



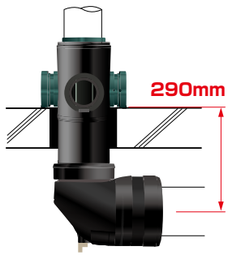
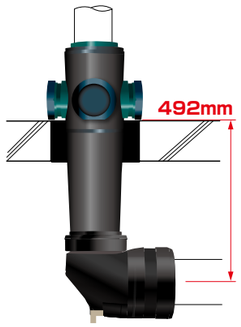
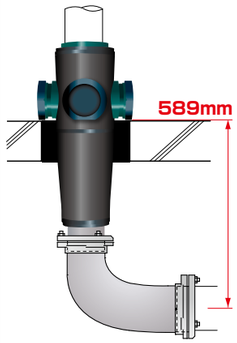
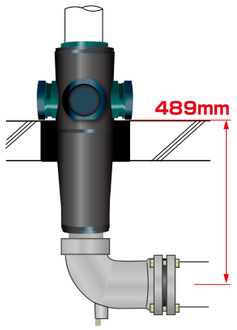
単位:mm

品番(標準)	呼び径	A	B	C(min)	D	E	F	L	ℓ
LEAD84L	80×100	530	275	100	76	175	365	505	245
LEAD85L	80×125	530	310	120	90	175	345	505	277
LEAD86L	80×150	530	350	120	105	175	340	505	314
LEAD1HL	100×125	530	310	110	90	200	355	500	277
LEAD1FL	100×150	530	350	120	105	200	355	500	314
LEAD18L	100×200	530	412	153	133	200	312	500	368

配管の納まり例

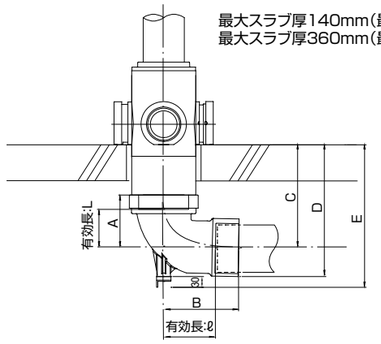
■ 最下階合流システムの場合

各脚部継手における最小納まり例 （立て管100A、横主管150Aの場合）

脚部継手	プラ脚部継手（呼び径125×150）	プラ脚部継手（呼び径100×150）	AD脚部継手（呼び径100×150）	AD脚部継手スリム直結ショート（呼び径100×150）
集合継手	耐火プラAD継手HG最下階タイプ（227mm切断時）	耐火プラAD継手HG·SG	耐火プラAD継手HG·SG	耐火プラAD継手HG·SG
最小納まり（C寸法）	 ※最下階タイプを切断しない場合: 納まり517mm(最長)			

プラ脚部継手

〈最下階タイプとの接続の場合〉



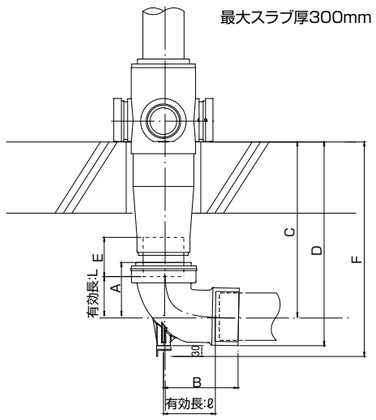
プラ脚部継手 標準グレード

単位:mm

呼び径	A	B	C(min)※1	D(min)※2	E(min)	L	ℓ
125×125	144	210	289	370	400	104	145
125×150	145	225	290	383	413	105	145

※1. 最下階タイプ本体227mm切断時の寸法です。切断しない場合はC寸法517mmとなります。
※2. 遮音グレードの寸法は上記表のDに10mm加えた値となります。

〈HG·SGとの接続の場合〉



プラ脚部継手 標準グレード

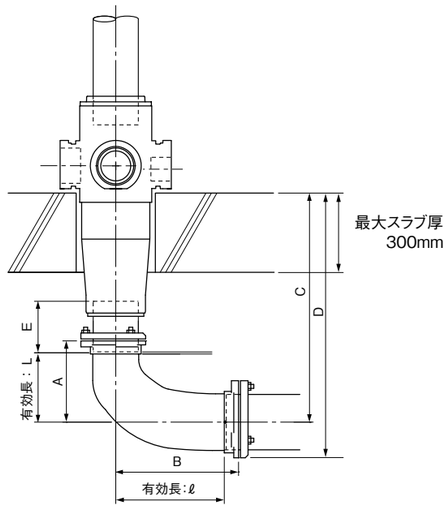
単位:mm

呼び径	A	B	C(min)※2	D(min)※1,2	E(min)	F(min)※2	L	ℓ
75×100	127	181	458	526	100	556	87	131
75×125	148	224	482	562	100	592	108	159
100×125	149	211	492	572	110	602	109	146
100×150	150	226	492	585	110	615	110	146

※1. 遮音グレードの寸法は上記表のDに10mm加えた値となります。
※2. HG差口をそのまま脚部継手に挿入する場合は、上記表のC、D、Fに75Aでは20mm、100Aでは30mm加えた値となります。

■ 最下階合流システムの場合

AD脚部継手・掃除口付支持付AD脚部継手

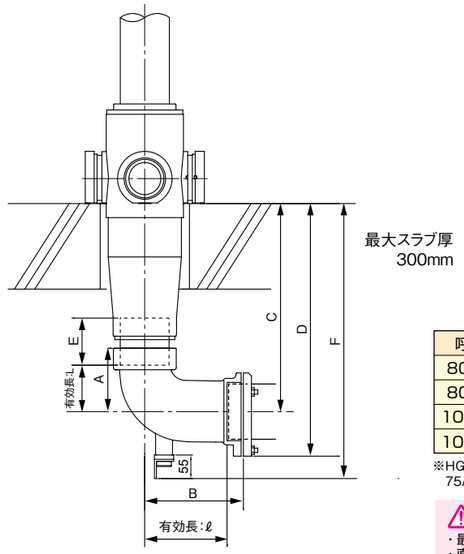


単位:mm

呼び径	A	B	C(min)※	D(min)※	E(min)	L	ℓ
80×100	185	275	538	614	110	160	245
80×125	205	310	558	649	110	180	277
100×125	205	310	568	659	125	175	277
100×150	226	350	589	694	125	196	314
100×200	247	412	600	733	125	217	368

※HG差口をそのまま脚部継手に挿入する場合は、上記表のC、Dに75Aでは20mm、100Aでは30mm加えた値となります。

AD脚部継手 スリム直結ショートタイプ・掃除口付AD脚部継手 スリム直結ショートタイプ



単位:mm

呼び径	A	B	C(min)※	D(min)※	E(min)	F(min)※	L	ℓ
80×100	115	180	443	531	100	586	75	150
80×125	150	180	478	583	100	631	110	147
100×125	148	225	486	591	110	643	108	192
100×150	151	225	489	608	110	658	111	189

※HG差口をそのまま脚部継手に挿入する場合は、上記表のC、D、Fに75Aでは20mm、100Aでは30mm加えた値となります。

⚠
・最下階合流システムでのみご使用ください。
・直付けの場合のみでご使用ください。

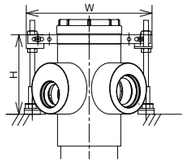
支持金具の納まり例

■支持金具の納まり例

■ 耐火プラAD継手HG・SG

単位：mm

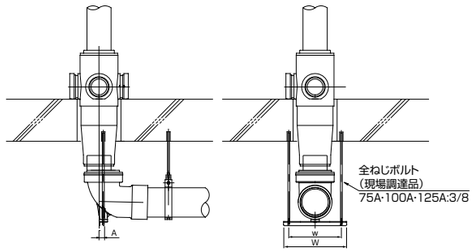
呼び径	支持金具品番	W	H (min)	H (max)
75	SJKPAD	300	160	270
100				



■ VPパイプS、耐火VPパイプS

●VPパイプS、耐火VPパイプSは耐火二層管と外径が同じですので、耐火二層管用立てバンド（アカギ製TNF用）等をご使用ください。

■ プラ脚部継手

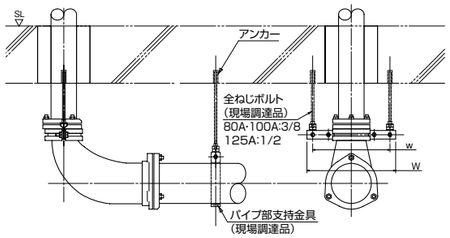


単位：mm

呼び径	A	W	w
75×100	1	300	150～250
75×125	14		
100×125	1		
100×150	1		
125×125※	0		
125×150※	0		

※呼び径125×125、125×150は耐火プラAD継手HG 最下階タイプとの接続専用です。

■ AD脚部継手

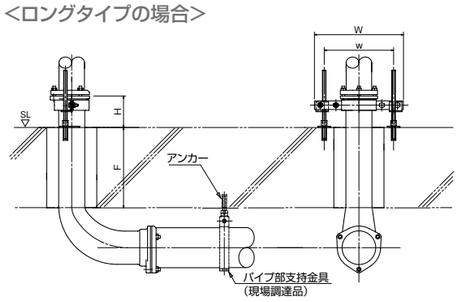


●AD脚部継手

単位：mm

呼び径	防振支持金具品番	W	w
80×80	SJKK80	310	270
80×100			
80×125			
80×150			
100×100	SJKK100	337	297
100×125			
100×150			
100×200			

<ロングタイプの場合>

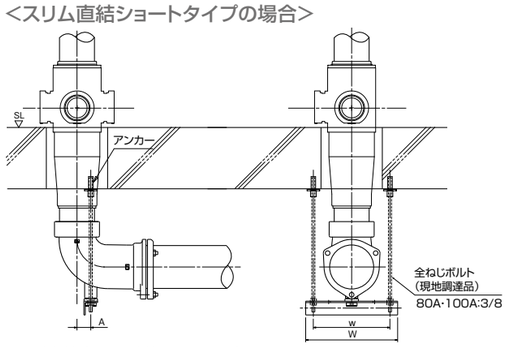


●AD脚部継手ロングタイプ

単位：mm

呼び径	防振支持金具品番	W	w	H (min)	F (max)
80×100	SJKL80	310	242	110	320
80×125					300
80×150					300
100×125	SJKL100	337	269	115	305
100×150					295
100×200					268

<スリム直結ショートタイプの場合>



●AD脚部継手 スリム直結ショートタイプ

単位：mm

呼び径	A	W	w
80×100	40	300	150～250
80×125	40	300	
100×125	45	300	
100×150	45	300	

●掃除口付AD脚部継手 スリム直結ショートタイプ

単位：mm

呼び径	A	W	w
80×100	40	400	340
80×125	40	400	340
100×125	45	400	340
100×150	45	400	340

■施工上の注意点

⚠1. 支持固定は、必ず各階継手で行ってください。
⚠2. 継手は必ず支持固定を行ってから、上階の配管を行ってください。
⚠3. 配管後は、必ず適切な埋め戻しを行ってください。
⚠4. 支持高さが納まり寸法値maxを超える場合は、弊社までお問い合わせください。
5. 脚部継手用防振支持金具（ロングタイプ用除く）には、全ねじボルトが付属しておりませんので、現場調達品となります。他の継手用防振支持金具は、付属の全ねじボルトをご使用ください。**アンカー等スラブへの固定具は全て現場調達品となります。**
6. 防振支持金具の設置、施工方法については、防振支持金具セットに同梱の施工マニュアルをご参照ください。

標準施工方法

■耐火プラAD継手HG・SGの標準施工方法

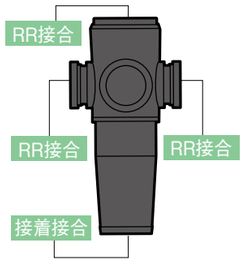
●VPパイプS、耐火VPパイプS、耐火VPパイプ等の切断寸法は接続する継手および接合方法によって異なりますのでご注意ください。

■ 使用部材

■ 継手の接続部の構造

●耐火プラAD継手HG·SG ※RR:ゴムリング接合

【下部受口仕様】

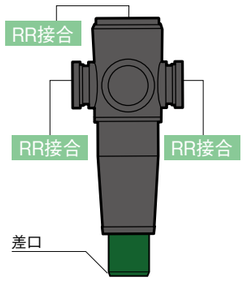


上側-RR接合
⚠パッキンには滑剤が塗布されています。挿入が困難な場合は、滑剤（エスロン滑剤No.1等）を塗布してください。

横枝-RR接合
⚠横枝パッキンは滑剤が必要ない構造になっておりますので、滑剤を塗布せずにそのまま管を挿入してください。

下側-接着接合

【下部差口仕様】

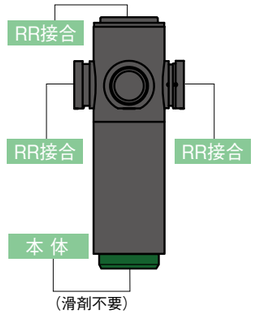


上側-RR接合
⚠パッキンには滑剤が塗布されています。挿入が困難な場合は、滑剤（エスロン滑剤No.1等）を塗布してください。

横枝-RR接合
⚠横枝パッキンは滑剤が必要ない構造になっておりますので、滑剤を塗布せずにそのまま管を挿入してください。

下側-RR接合（受口立て管）
⚠受口付立て管と接続する際、差口は切断禁止です。端部にエスロン滑剤No.1を塗布し挿入してください。
⚠脚部継手との接続に伴い、差口を切断する際は脚部継手受口への挿入長さを確保してください。

●耐火プラAD継手HG 最下階タイプ

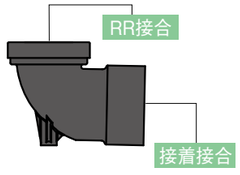


上側-RR接合
⚠パッキンには滑剤が塗布されています。挿入が困難な場合は、滑剤（エスロン滑剤No.1等）を塗布してください。

横枝-RR接合
⚠横枝パッキンは滑剤が必要ない構造になっておりますので、滑剤を塗布せずにそのまま管を挿入してください。

下側-RR接合
⚠プラ脚部継手受口のパッキンに滑剤が塗布されているため、滑剤を塗布せずにそのまま挿入してください。
⚠本体切断可能範囲は本体下側より227mm以内としてください。

●プラ脚部継手



上流受口-RR接合
⚠パッキンには滑剤が塗布されています。挿入が困難な場合は、滑剤（エスロン滑剤No.1等）を塗布してください。

下流受口-接着接合

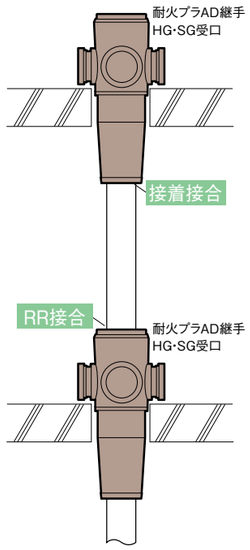
⚠必ずプラ脚部継手（呼び径125×125、125×150）と組み合わせてご使用ください。
⚠耐火プラAD継手HG最下階タイプ本体下部への管の接続・延長は行わないでください。必ず最下階タイプ本体下部とプラ脚部継手を直接接続してください。

標準施工方法

■ 接続・施工のパターン

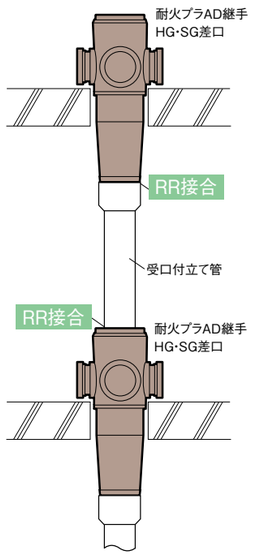
①耐火プラAD継手HG・SG 下部受口仕様の接続

RR+接着

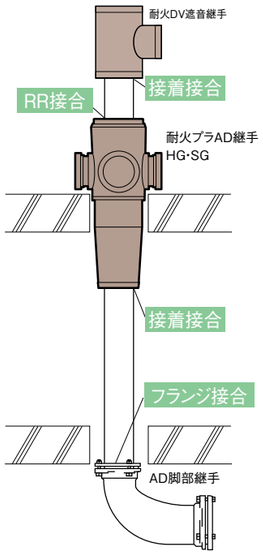


②耐火プラAD継手HG・SG 下部差口仕様＋受口付立て管の接続

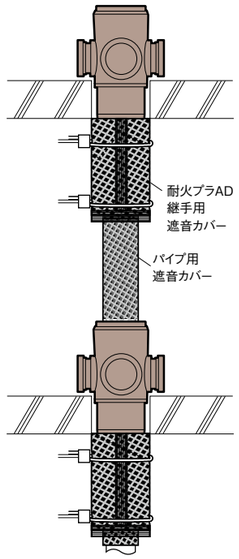
RR+RR



③フランジなどとの接続

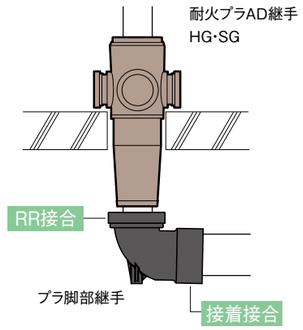


④遮音カバーの巻きつけ

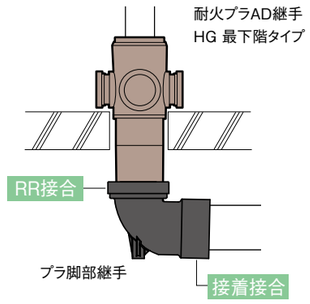


⑤プラ脚部継手との接続

⑤-1 耐火プラAD継手 HG・SGの場合

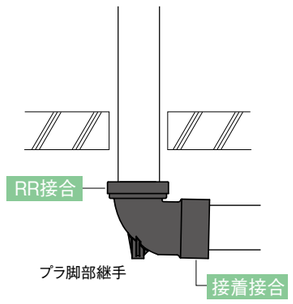


⑤-2 耐火プラAD継手HG 最下階タイプの場合



⚠ 耐火プラAD継手HG最下階タイプは必ずプラ脚部継手（呼び径125×125、125×150）と組み合わせてご使用ください。

⑤-3 立て管の場合



■ ① 耐火プラAD継手HG・SG 下部受口仕様の接続方法（立て管:VPパイプS・耐火VPパイプSの場合）

作業事項	作業手順および注意事項

VPパイプS、耐火VPパイプSの切断

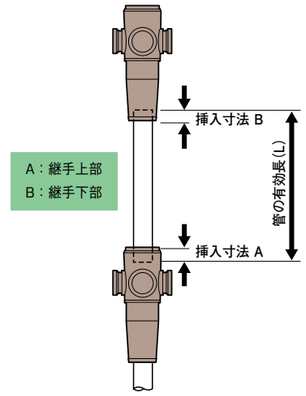
※内管と被覆カバーを以下の方法で同時に切断してください。

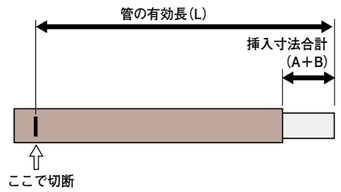
①切断標線の記入

・管を接続する両側の継手の挿入寸法の合計（A+B）で内管をスライドしてください。
・管の有効長に応じて標線を記入してください。
（継手受口への挿入寸法（A+B）は下表でご確認ください。）

● 継手受口への挿入寸法

接合方法＼呼び径		75	100
A:継手上部	RR接合	75mm	75mm
B:継手下部	接着接合	40mm	50mm
A+B		115mm	125mm





②管の切断

・バンドソー、塩ビ用ノコギリを用いて、内管と被覆カバーを同時に切断してください。

⚠ 切断前に内管のスライド代がずれていないことを確認してください。

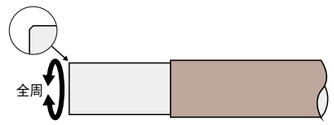
⚠ 管軸に直角に切断してください。

⚠ 高速砥石カッターは使用しないでください。

⚠ 内管、被覆カバーが変形した部分は切り除いてください。

③バリ取り、清掃

・面取り器等を用いて内管の内外面全周にわたり糸面取りを行ってください。
・バリやカエリのないように管端面をきれいに仕上げてください。
・被覆カバーの面取りは不要です。



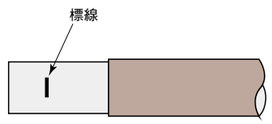
VPパイプS、耐火VPパイプSの接続準備

①挿入標線の記入

・接続する継手受口に応じた挿入寸法で、VPパイプS、耐火VPパイプSの内管に標線を記入してください。

● 管の標線寸法

接合方法＼呼び径	75	100
RR接合	75mm	75mm
接着接合	40mm	50mm

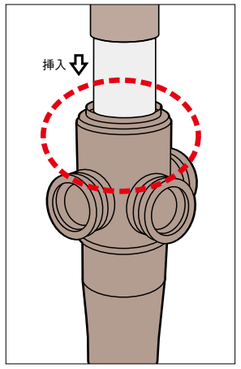


その後、管差口内外面を乾いたウエスできれいに拭いた後次頁からの方法で継手と接続してください。

標準施工方法

作業事項	作業手順および注意事項

上部立て管との接続



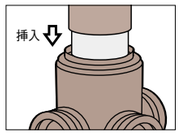
耐火プラAD継手HG・SGの上側との接続（RR接合）

管の接続

①耐火プラAD継手HG・SGの立て管挿入部の養生シールを剥がしてください。
②管軸を合わせて挿入標線の位置までまっすぐ挿入してください。

⚠ パッキンには滑剤が塗布されています。
挿入が困難な場合は滑剤（エスロン滑剤No.1等）を塗布してください。

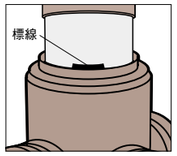
⚠ たたき込みや斜め挿入は漏水の原因となりますので、絶対に行わないでください。



接続の確認

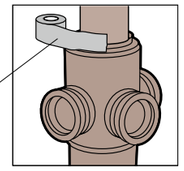
①挿入標線まで挿入されていることを確認してください。

⚠ 接続完了後は接続部に曲げや引っ張り等の無理な力がかからないようにしてください。

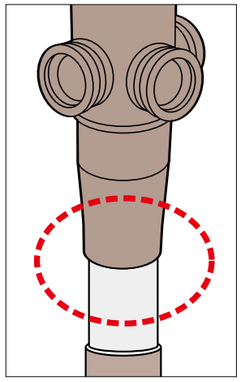


接続部の処理

①管と継手の接続部にジョイントテープ（P.28）を1周以上、又はエスロンテープNo.340（厚み0.4mm、幅50mm）を2周以上巻き、隙間を塞いでください。



下部立て管との接続



耐火プラAD継手HG・SGの下側との接続（接着接合）

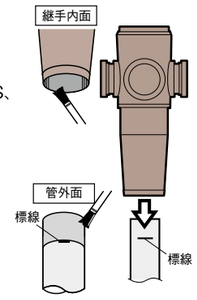
管の接続

①下記の接着剤を使用して、継手内面、管の外面の順に適量を均一に塗布してください。
※使用可能な接着剤
エスロン接着剤＝No.73S、73Sブルー、73S UV、73Sバイオレット、75S、75SブルーN、80S、83Sホワイト

②継手受口と管差口の軸を合わせ、速やかに標線の位置まで挿入してください。その後、30秒以上保持し抜け戻りが無いことを確認してください。

⚠ 管の挿入、保持後はみ出した接着剤を拭き取ってください。

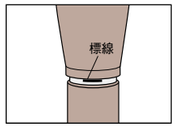
⚠ たたき込みや斜め挿入は漏水の原因となりますので、絶対に行わないでください。



接続の確認

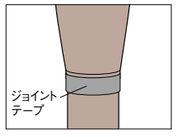
①挿入標線まで挿入されていることを確認してください。

⚠ 接続完了後は接続部に曲げや引っ張り等の無理な力がかからないようにしてください。

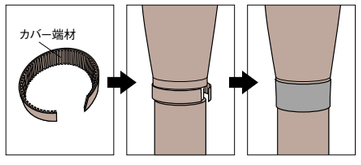


接続部の処理

①隙間が20mm以下の場合は、管と継手の接続部にジョイントテープ（P.28）を1周以上、又はエスロンテープNo.340（厚み0.4mm、幅50mm）を2周以上巻き、隙間を塞いでください。

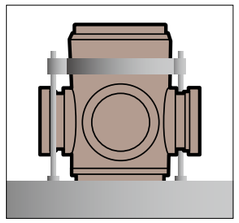


巾20mm以上の隙間がある場合は、VPパイプS、耐火VPパイプSの切り取った被覆カバー端材を巻き付けた上からテープを巻いてください。



作業事項	作業手順および注意事項

支持固定



継手の支持

耐火プラAD継手HG・SGの金具取り付け位置に割バンドを設置し、同梱のボルトとナット(M10)で締め付けてください。

⚠ 耐火プラAD継手HG・SGの支持金具 固定位置シールの矢印が隠れる位置に必ず金具を取り付けてください。
指定位置以外に取り付けると、固定が不十分になります。

⚠ 左右のボルトは片締めにならないよう、均等に締め付けてください。
また、過剰な力で締め付けると、ボルトがねじ切れるおそれがあります。

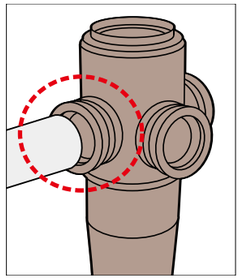
⚠ 耐火プラAD継手HGを施工する場合は必ず支持金具を取り付けてください。

⚠ 耐火プラAD継手HGを枝浮かし配管する際は、継手横枝管底とスラブ上面の距離は140mm以下としてください。

⚠ 耐火プラAD継手HGは枝浮かしにより支持金具の全ねじボルト長さが不足する場合があります。
その場合は現地調達(W1/2)をお願いします。

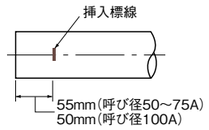
⚠ 耐火プラAD継手SGを枝浮かし配管する際は、継手横枝管底とスラブ上面の距離は50mm以下としてください。

横枝管の接続



管に挿入標線記入

①挿入標線の記入
継手受口に接続するVPパイプ、耐火VPパイプに挿入標線を記入してください。
（呼び径50、65、75Aは全て55mm、呼び径100Aは50mm）



管の接続

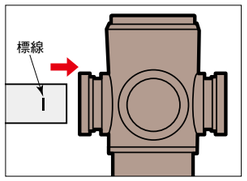
①管軸に合わせて挿入標線の位置（受口最奥部）までまっすぐ挿入してください。

⚠ パッキンには滑剤が塗布されていませんが、**滑剤を塗布せずに**そのまま管を挿入してください。挿入前に管の内外全面にわたり糸面取りを行ってください。

⚠ 一度管を接続すると非常に引き抜きにくい為、横枝管の仮差しはしないでください。どうしても横枝管を抜かなければならない場合は、下記を参照してください。

⚠ 斜め挿入は行わないでください。

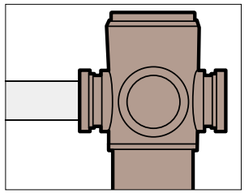
⚠ 叩き込み挿入等による無理な挿入はしないでください。



接続の確認

①挿入標線まで挿入されていることを確認してください。

⚠ 接続完了後は、接続部に曲げや引っ張り等の無理な力がかからないようにしてください。



横枝管の引き抜き方

万一、横枝管を抜かなければならない場合は、以下の方法で抜いてください。

①水で濡らした金属製のヘラを、パッキンと管の隙間に数カ所差し込んでください。

⚠ パッキンに傷が付かないよう、ヘラはできるだけ薄くて先端のまるいものをご用意ください。

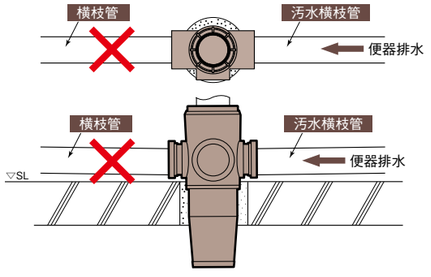
②管を回転させるようにしながら、引き抜いてください。
③パッキンが破れていたり、パッキンに傷が付いていないことを確認してください。

⚠ 引き抜く際に管が傷つくことがありますので、引き抜いた管は再使用しないでください。

⚠ 対面流入の注意点

耐火プラAD継手HG・SGでは、便器排水流入口の対面に横枝管を接続しないでください。

汚水横枝管の対面に、同一レベルで別の横枝管を接続すると、汚水横枝管の配管形態や便器のタイプによっては、便器排水が対面の横枝管に流入する恐れがあります。便器排水の対面に横枝管を接続する場合は、ADスリム対面合流継手をご使用ください。



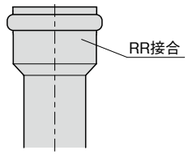
※詳細は、エスロン単管式排水システムカタログをご参照ください。

■②耐火プラAD継手HG 下部差口仕様の接続方法（受口付立て管の場合）

●VP受口付立て管、耐火VP受口付立て管は必ず耐火プラAD継手HG（差口タイプ）と組み合わせてご使用ください。ADスリム継手にはご使用できません。

■ 接続部の構造

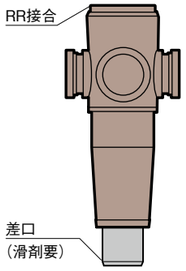
<VP受口付立て管、耐火VP受口付立て管>



⚠ VP受口付立て管、耐火VP受口付立て管は立て管専用です。横枝管にはご使用できません。

⚠ パッキンには滑剤が塗布されていませんので滑剤（エスロン滑剤No.1）を塗布してください。

<耐火プラAD継手HG 差口タイプ（差口S･M･L）>



上側-RR接合

⚠ パッキンには滑剤が塗布されています。管の挿入が困難な場合には滑剤（エスロン滑剤No.1）を塗布してください。

下側（差口） ※滑剤要

⚠ 端部にエスロン滑剤No.1を塗布し、VP受口付立て管、耐火VP受口付立て管の受口に差し込んでください。

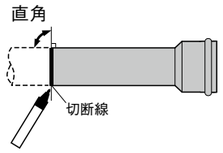
⚠ 差口は切断禁止です。

作業事項	作業手順および注意事項

VP受口付立て管、耐火VP受口付立て管の切断

①切断標線の記入

・切断位置に標線を記入してください。



②管の切断

・バンドソー、塩ビ用ノコギリを用いて、切断してください。

⚠ 管軸に直角に切断してください。

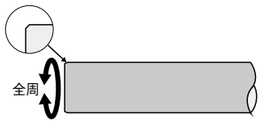
⚠ 高速砥石カッターは使用しないでください。

⚠ 管が変形したもの、擦り傷の付いた部分は切り除いてください。

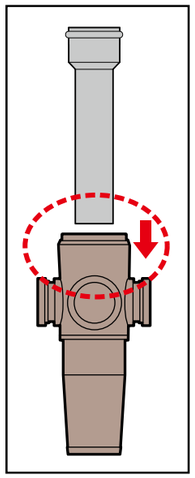
③バリ取り、清掃

・面取り器等を用いて内管の内外面全周にわたり糸面取りを行ってください。

・バリやカエリのないように管端面をきれいに仕上げてください。



耐火プラAD継手の上側（受口）への接続



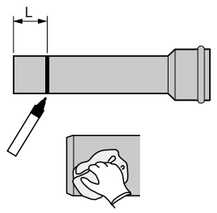
①挿入標線の記入

・耐火プラAD継手HGの上側受口の挿入長さ分で、VP受口付立て管、耐火VP受口付立て管に標線を記入してください。

・VP受口付立て管、耐火VP受口付立て管の差口の内外面を乾いたウエスできれいに拭いてください。

● 管の標線寸法

管　径	75A	100A
L	75mm	75mm



②管の接続

・耐火プラAD継手HGの立て管挿入部の養生シールを剥がしてください。

・管軸を合わせて挿入標線の位置までまっすぐ挿入してください。

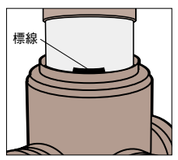
⚠ 耐火プラAD継手HGの受口パッキンには滑剤が塗布されています。挿入が困難な場合は滑剤（エスロン滑剤No.1）を塗布してください。

⚠ たたき込みや斜め挿入は漏水の原因となりますので絶対に行わないでください。

③接続の確認

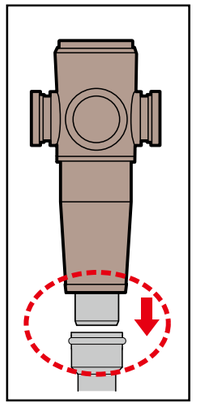
・挿入標線まで挿入されていることを確認してください。

⚠ 接続完了後は接続部に曲げや引っ張り等の無理な力がかからないようにしてください。



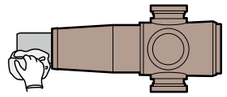
作業事項	作業手順および注意事項

下部立て管との接続



①清掃

・耐火プラAD継手HGの差口の内外面を乾いたウエスできれいに拭いて清掃してください。



②接続

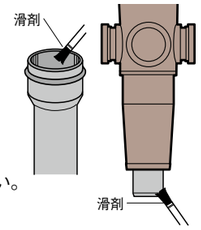
・VP受口付立て管、耐火VP受口付立て管の受口の保護材を取り外してください。

・VP受口付立て管、耐火VP受口付立て管の受口及び耐火プラAD継手HGの差口（受口長さ分）にエスロン滑剤No.1を塗布してください。

・管軸を合わせて、まっすぐ挿入してください。

・差口S･M･Lの施工方法と差口長さは同じです。

管　径	75A	100A
受口挿入長さ	80mm	90mm

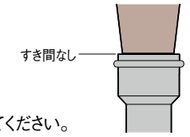


⚠ たたき込みや斜め挿入は漏水の原因となりますので絶対に行わないでください。

⚠ 耐火プラAD継手HGの差口は切断禁止です。

③接続の確認

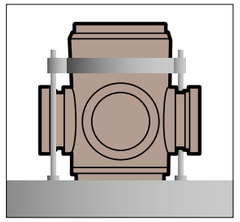
・挿入が完了したことを確認してください。
差口と受口との隙間は奥まで挿入されます。



⚠ 接続完了後は接続部に曲げや引っ張り等の無理な力がかからないようにしてください。

⚠ 受口付立て管と耐火プラAD継手HGを事前に接続しないでください。
施工中に抜け、落下する恐れがあります。

支持固定



継手の支持

耐火プラAD継手HGの金具取り付け位置に割バンドを設置し、同梱のボルトとナット(M10)で締め付けてください。

⚠ 耐火プラAD継手HGの支持金具 固定位置シールの矢印が隠れる位置に必ず金具を取り付けてください。
指定位置以外に取り付けると、固定が不十分になります。

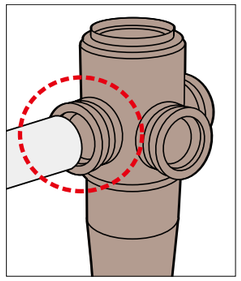
⚠ 左右のボルトは片締めにならないよう、均等に締め付けてください。
また、過剰な力で締め付けると、ボルトがねじ切れるおそれがあります。

⚠ 耐火プラAD継手HGを施工する場合は必ず支持金具を取り付けてください。

⚠ 耐火プラAD継手HGを枝浮かし配管する際は、継手横枝管底とスラブ上面の距離は140mm以下としてください。

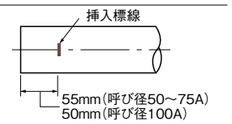
⚠ 耐火プラAD継手HGは枝浮かしにより支持金具の全ねじボルト長さが不足する場合があります。
その場合は現地調達(W1/2)をお願いします。

横枝管の接続



管に挿入標線記入

①挿入標線の記入
継手受口に接続するVPパイプ、耐火VPパイプに挿入標線を記入してください。
（呼び径50、65、75Aは全て55mm、呼び径100Aは50mm）



管の接続

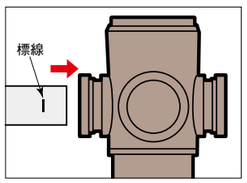
①管軸に合わせて挿入標線の位置（受口最奥部）までまっすぐ挿入してください。

⚠ パッキンには滑剤が塗布されていませんが、**滑剤を塗布せずに**そのまま管を挿入してください。挿入前に管の内外全面にわたり糸面取りを行ってください。

⚠ 一度管を接続すると非常に引き抜きにくい為、横枝管の仮差しはしないでください。どうしても横枝管を抜かなければならない場合は、P.54を参照してください。

⚠ 斜め挿入は行わないでください。

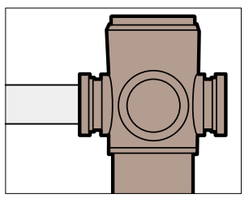
⚠ 叩き込み挿入等による無理な挿入はしないでください。



接続の確認

①挿入標線まで挿入されていることを確認してください。

⚠ 接続完了後は、接続部に曲げや引っ張り等の無理な力がかからないようにしてください。



■ ③フランジなどとの接続方法（立て管:VPパイプS・耐火VPパイプSの場合）

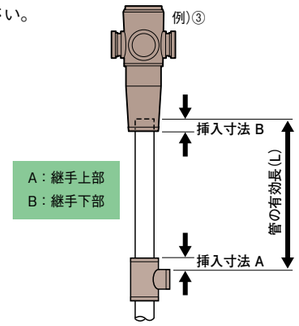
作業事項	作業手順および注意事項

VPパイプS、耐火VPパイプSの切断

※❶と同様に内管と被覆カバーを以下の方法で同時に切断してください。

①切断標線の記入

・管を接続する両側の継手の挿入寸法の合計（A+B）で内管をスライドしてください。
・管の有効長に応じて標線を記入してください。
（継手受口への挿入寸法（A+B）は下表でご確認ください。）

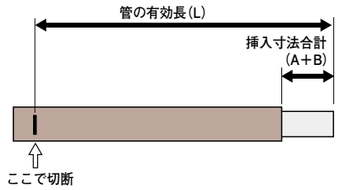


● 継手受口への挿入寸法

接合方法＼呼び径	75	100
RR接合	75mm	75mm
接着接合	40mm	50mm
フランジ接合	46mm	52mm

● 挿入寸法合計（A+B）の早見表

接合方法＼呼び径	75	100
RR+接着	115mm	125mm
RR+フランジ	121mm	127mm
接着+接着	80mm	100mm
接着+フランジ	86mm	102mm



②管の切断

・バンドソー、塩ビ用ノコギリを用いて、内管と被覆カバーを同時に切断してください。

⚠切断前に内管のスライド代がずれていないことを確認してください。

⚠管軸に直角に切断してください。

⚠高速砥石カッターは使用しないでください。

⚠内管、被覆カバーが変形した部分は切り除いてください。

③バリ取り、清掃

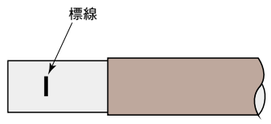
・面取り器等を用いて内管の内外面全周にわたり糸面取りを行ってください。
・バリやカエリのないように管端面をきれいに仕上げてください。
・被覆カバーの面取りは不要です。

VPパイプS、耐火VPパイプSの接続準備

● 管の標線寸法

接合方法＼呼び径	75	100
RR接合	75mm	75mm
接着接合	40mm	50mm
フランジ接合※	46mm	52mm

※弊社ADメカニカル継手と脚部継手の場合。



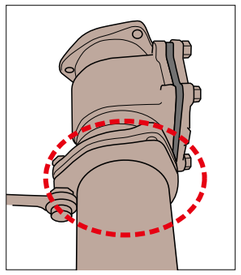
VPパイプS、耐火VPパイプSとの接続

●継手の種類に応じて、施工を行ってください。

①耐火プラAD継手HG・SGの上側との接続の場合（RR接合）→53ページ
②耐火プラAD継手HG・SGの下側または耐火DV遮音継手との接続の場合（接着接合）→53ページ
③AD脚部継手またはADメカニカル継手との接続の場合（フランジ接合）→58ページ

作業事項	作業手順および注意事項

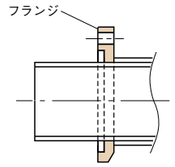
VPパイプS、耐火VPパイプSとフランジの接続



掃除口付ソケット(COS)、満水試験兼用掃除口付継手(COS-T Ⅱ)等との接続の場合（フランジ接合）

管の接続

①フランジのセット。
管にフランジを図のようにセットしてください。

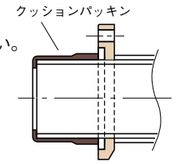


②クッションパッキンの装着。
クッションパッキンを管端部にあたるまで挿入してください。
⚠管端部への挿入が困難な場合には、管表面に少量の水を塗布してください。

③ボルトの締め付け。
管の先端を継手に挿入し、締め付けボルトを均一に締め付けてください。

管　径	80A	100A
トルク	20N・m	25N・m

⚠過大トルクにならないように注意してください。
⚠片締めにならないようにボルトを均一に締め付けてください。

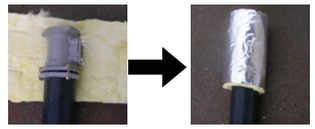


接続の確認

①挿入標線まで挿入されていることを確認してください。
⚠接続完了後は接続部に曲げや引っ張り等の無理な力がかからないようにしてください。

隙間処理

①継手と被覆カバーの隙間をグラスウールで覆い保温と同時に隙間処理してください。
（現地調達部材）



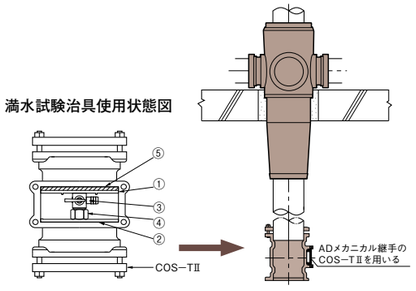
満水試験方法

満水試験は、ADメカニカル継手の満水試験兼用掃除口付継手（COS−TⅡ）、および満水試験治具（COS−TPAⅡ）を用いた方法または、テストボールを用いた方法で実施してください。

試験治具部品名

番号	名　称
①	フランジ（a）
②	フランジ（b）
③	バルブ
④	セット用ネジ
⑤	ゴムパッキン

満水試験治具使用状態図



■④遮音カバーの巻きつけ

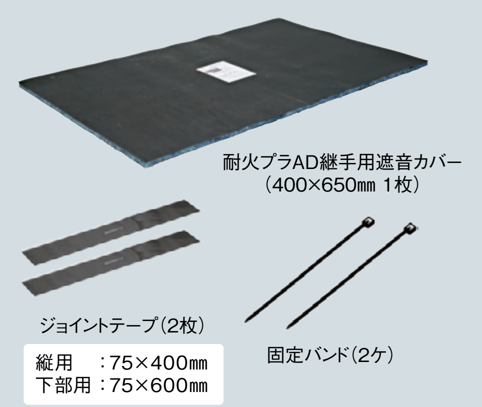
●本遮音カバーは耐火プラAD継手HG・SGシステム専用です。ADスリム継手のシステムにはご使用できません。

■ 使用部材

■耐火VPパイプ用遮音カバー（100A用、75A用）

■VPパイプ用遮音カバー（100A用、75A用）

■耐火プラAD継手用遮音カバー（100A、75A 兼用）



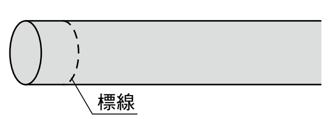
■遮音カバー用ジョイントテープ

作業事項	作業手順および注意事項
パイプ用遮音カバーの切断	下記参照

パイプ用遮音カバーの切断

①パイプに挿入標線の記入

・VPパイプ、耐火VPパイプを所定の寸法に切断し、面取りと清掃によりバリや付着物を取り除いた後、パイプ両端部に挿入代確認の標線を記入してください。



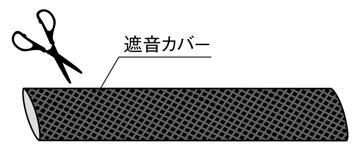
● 管の標線寸法

接合方法＼呼び径	75	100
RR接合	75mm	75mm
接着接合	40mm	50mm
フランジ接合※	46mm	52mm

※弊社ADメカニカル継手と脚部継手の場合

②パイプ用遮音カバーの切断

・VPパイプ、耐火VPパイプの両端の継手挿入代を差し引いた寸法でパイプ用遮音カバーをハサミで切断してください。

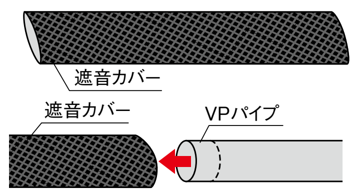


パイプ用遮音カバーの挿入と接続

①パイプ用遮音カバーの挿入

・パイプ用遮音カバーを手で円筒状にならし、VPパイプ、耐火VPパイプを差し込んでください。

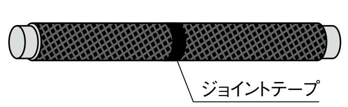
⚠パイプ用遮音カバーはVPパイプS、耐火VPパイプSには挿入できません。



②パイプ用遮音カバーの隙間処理

・VPパイプ、耐火VPパイプが1.4m以上ある時は、パイプ用遮音カバーを継ぎ合わせ、継ぎ目に同梱のジョイントテープを巻き付け、よくなじませてください。

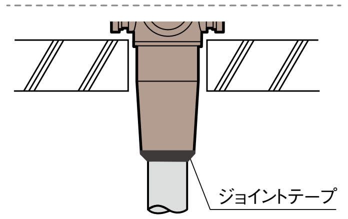
⚠ジョイントテープは、遮音カバーの汚れやほこりをよく取り除いてから貼りつけてください。



③立て管と耐火プラAD継手との接続

・パイプ用遮音カバーを巻き付けた立て管と耐火プラAD継手を接続してください。

・パイプ用遮音カバーと耐火プラAD継手下部の接続部をジョイントテープ(P.28)で1周以上巻き、カバーの固定及び隙間処理を行ってください。



作業事項	作業手順および注意事項
耐火プラAD継手用遮音カバーの取り付け	下記参照

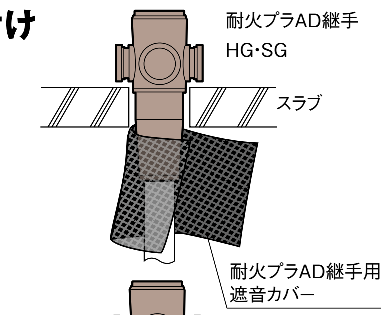
耐火プラAD継手用遮音カバーの取り付け

①耐火プラAD継手用遮音カバーの巻き付け

・耐火プラAD継手用遮音カバーの上端部をスラブ下面に合わせて、耐火プラAD継手HG・SGに巻き付けてください。

※耐火プラAD継手用遮音カバーをパイプ用遮音カバーの上から重ねて巻き付け、隙間処理してください。

⚠耐火プラAD継手用遮音カバーはフェルト面が内側です。



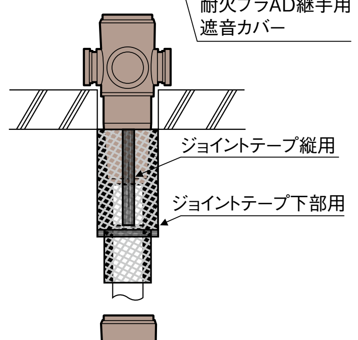
②ジョイントテープの貼り合わせ

・耐火プラAD継手用遮音カバーの巻き合わせ部（縦、下部）の2か所を同梱のジョイントテープで貼り合わせてください。（縦用＝長さ400mm、下部用＝長さ600mm）

※ジョイントテープ下部用は、耐火プラAD継手用遮音カバーの下端とパイプ用遮音カバーに巻き付け、隙間処理を行ってください。

⚠耐火プラAD継手用遮音カバーの巻き付けはスラブの埋め戻し後に行ってください。

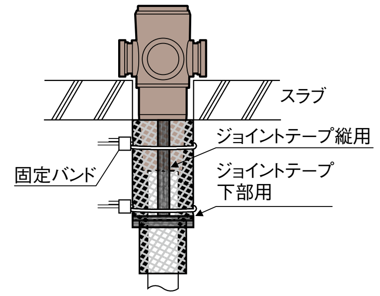
⚠ジョイントテープは、遮音カバーの汚れやほこりをよく取り除いてから貼りつけてください。

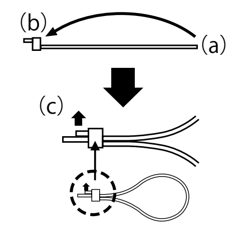


③固定バンドの固定

・同梱の固定バンド2本で上下2か所に、耐火プラAD継手用遮音カバーを固定してください。

⚠固定バンドを使用する際は、先端(a)を本体(b)に差し込み、しっかりと締めつけてください。
位置変更が必要な際には(C)のレバーを→方向に引くと緩めることができます。

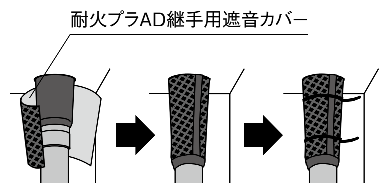




●VP受口付立て管、耐火VP受口付立て管＋耐火プラAD継手HG差口の施工時の注意点

・パイプ用遮音カバーの端部と受口付立て管をジョイントテープ(P.28)で1周以上巻き、カバーを固定してください。

・耐火プラAD継手用遮音カバーを受口付立て管の露出部の上から重ねて巻き付け、隙間処理してください。

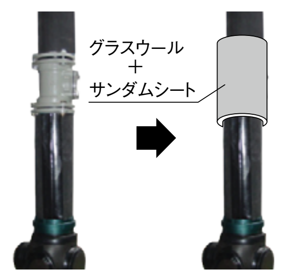


作業事項	作業手順および注意事項
その他	下記参照

その他

①掃除口継手等の遮音処理

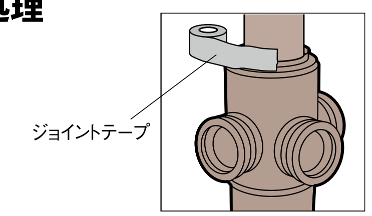
・立て管途中に掃除口継手等がある場合には、継手部をグラスウール＋サンダムシート（現地調達部材）を巻く等、遮音処理を行ってください。



②耐火プラAD継手HG・SG上部の隙間処理

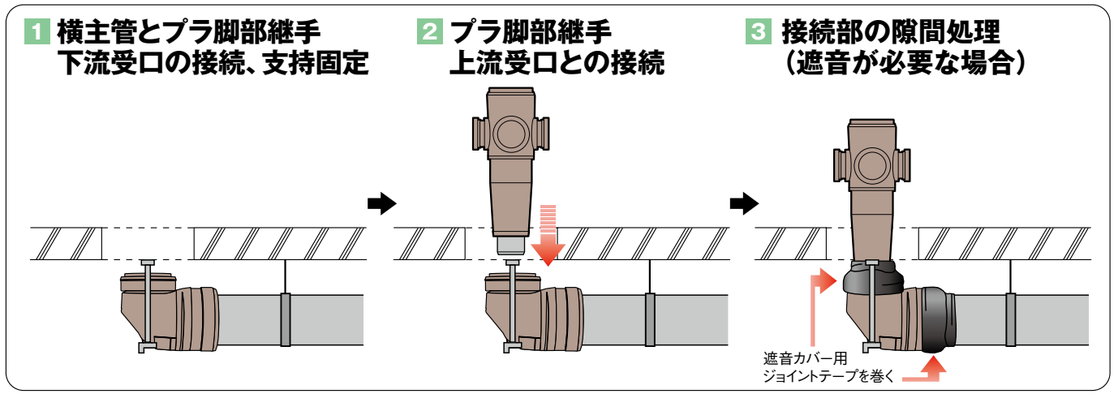
・耐火プラAD継手HG・SGの上部受口とパイプとの接続部にはジョイントテープ（P.28）を1周以上、又はエスロンテープNo.340（厚み0.4mm、幅50mm）を2周以上巻き、隙間を塞いでください。

・差口S・M・Lの施工方法は同じです。



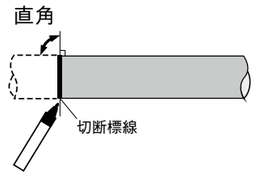
■⑤プラ脚部継手との接続方法

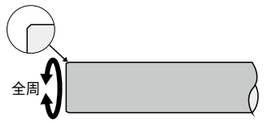
■ 施工手順例

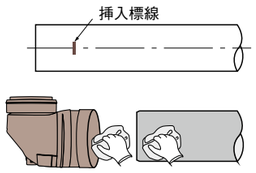


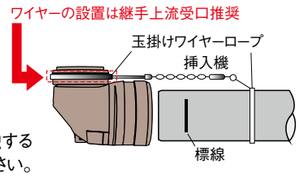
1 横主管とプラ脚部継手下流受口の接続、支持固定

作業事項	作業手順および注意事項
横主管の切断	**①切断標線の記入** ・切断位置に標線を記入してください。 **②管の切断** ・バンドソー、塩ビ用ノコギリを用いて切断してください。 ⚠ 管軸に直角に切断してください。 ⚠ 高速砥石カッターは使用しないでください。 ⚠ 管が変形したもの、擦り傷の付いた部分は切り除いてください。 **③バリ取り、清掃** ・面取り器等を用いて内外面全周にわたり糸面取りを行ってください。 ・バリやカエリがないように管端面をきれいに仕上げてください。
プラ脚部継手の下流受口との接続	**①挿入標線の記入** ・横主管に挿入標線を記入してください。 （呼び径100は50mm、呼び径125は65mm、呼び径150は80mm） ・その後、継手下流受口内面と管差口外面を乾いたウエスできれいに拭いてください。 **②挿入機の取付け** ・継手、管の両側に玉掛けワイヤーロープを1本ずつ掛け、挿入機を取付けます。 ⚠ 被覆カバーの保護のため、下記事項に注意してください。 ・継手上流受口へのワイヤーの設置を推奨します。 ・被覆カバーの上からワイヤーを設置する場合は、ワイヤーが接触する部分をゴムシート等で保護し、過剰な締め付けは行わないでください。

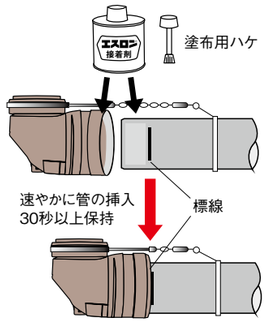


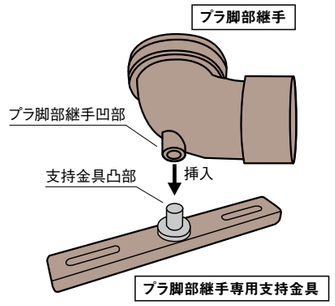


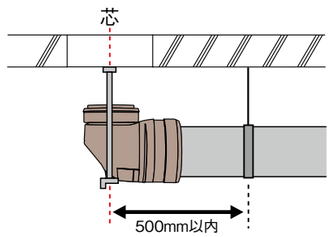




作業事項	作業手順および注意事項
プラ脚部継手の下流受口との接続	**③管の接続** ・下記の接着剤を使用して、継手下流受口内面、管差口外面の順に適量を均一に塗布してください。 ＊使用可能な接着剤 エスロン接着剤=No.73S, 73Sブルー, 73S UV, 73Sバイオレット,75S,75SブルーN,80S,83Sホワイト ・継手下流受口と管差口の軸を合わせ、速やかに標線の位置まで挿入機を用いて挿入してください。その後、30秒以上保持し抜け戻りが無いことを確認してください。 ⚠ 管の挿入、保持後はみ出した接着剤は拭き取ってください。 ⚠ 管の挿入には挿入機を使用し、途中で停止することなく速やかに一気に挿入してください。(ねじらず挿入してください) ⚠ 叩き込みや斜め挿入は継手の破損や漏水の原因となりますので絶対に行わないでください。 **④接続の確認** ・挿入標線まで挿入されていることを確認してください。 ⚠ 接続完了後は接続部に曲げや引っ張り等の無理な力がかからないようにしてください。
プラ脚部継手、横主管の支持固定	**①プラ脚部継手の支持固定** ・同梱のプラ脚部継手専用支持金具を全ネジボルト・ナット（W3/8,現地調達品）により設置してください。 ・プラ脚部継手の凹部を支持金具の凸部に挿入してください。 ⚠ 必ず同梱のプラ脚部専用支持金具を使用してください。 ⚠ 脚部継手はスラブに埋設しないでください。 **②横主管の支持固定** ・プラ脚部継手直近（継手芯から500mm以内）に管を支持固定してください。







2 プラ脚部継手上流受口との接続

作業事項	作業手順および注意事項

管又は継手差口部の切断

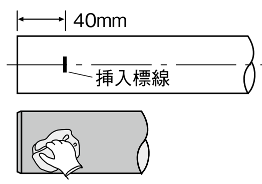
①切断

・納まりに応じて、接続する管又は継手差口部の切断を行ってください。
　切断方法詳細はP.64の⑤-1〜3を参照。

プラ脚部継手の上流受口との接続

①挿入標線の記入

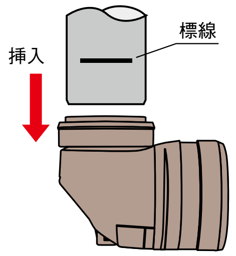
・挿入標線40mmを記入してください。（管・継手差口タイプ呼び径75,100および継手最下階タイプ呼び径125共通）
　その後、差口外面を乾いたウエスできれいに拭いてください。



②接続

・継手上流受口の養生シールを剥がしてください。
・管軸を合わせて挿入標線の位置までまっすぐ挿入してください。

⚠ パッキンには滑剤が塗布されています。挿入が困難な場合は滑剤（エスロン滑剤No.1:非水溶性滑剤）を塗布してください。
⚠ 叩き込みや斜め挿入は継手の破損や漏水の原因となりますので絶対に行わないでください。
⚠ 耐火プラAD継手HG最下階タイプは必ずプラ脚部継手（呼び径125×125、125×150）と組み合わせてご使用ください。

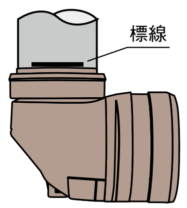


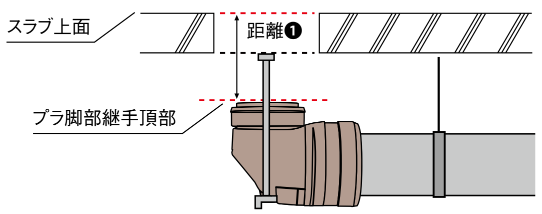
③接続の確認

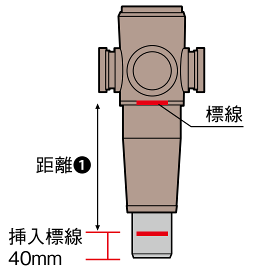
・挿入標線まで挿入されていることを確認してください。

⚠ 接続完了後は接続部に曲げや引っ張り等の無理な力がかからないようにしてください。

＊参考：スラブ上より接続を確認する場合
　プラ脚部継手の頂部からスラブ上面までの距離❶を測定し接続する管又は継手に「距離❶＋挿入標線40mm」の標線を記入してください。
　挿入後、標線とスラブ上面が一致することを確認してください。







3 接続部の隙間処理（遮音が必要な場合）

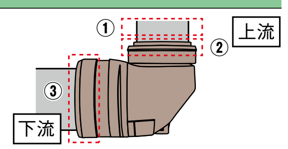
作業事項	作業手順および注意事項

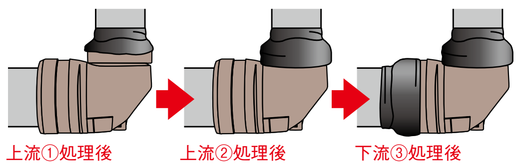
接続部の隙間処理（遮音が必要な場合）

・プラ脚部継手上流の接続部（①,②の2箇所）と下流の接続部（③）に遮音カバー用ジョイントテープ（別売り）を巻き、隙間を塞いでください。

⚠ 遮音カバー用ジョイントテープは被覆カバーの汚れやほこりをよく取り除いてから貼り付けてください

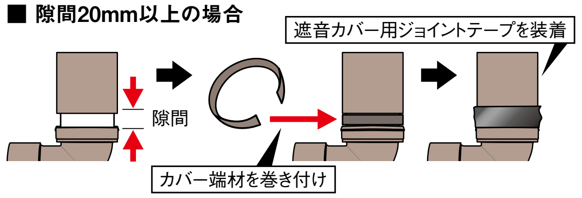
＊テープは700mm×3枚目安。
＊遮音カバー用ジョイントテープ
　品番：FSVPCT、カタログP.28参照。





・プラ脚部継手上端と立て管の遮音カバーとの隙間が20mm以上ある場合は、隙間が20mm以内となるようにパイプ用遮音カバーもしくは被覆カバーの端材を巻き付けた上から遮音カバー用ジョイントテープを巻いてください。その後上記の通り、接続部①②③の隙間処理を行ってください。

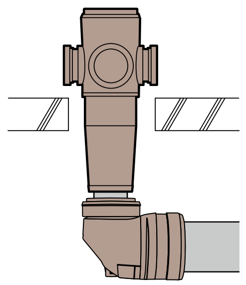
■ 隙間20mm以上の場合



プラ脚部継手上流受口との接続時の管又は継手差口部の切断方法について

接続パターン	作業手順および注意事項

⑤-1 耐火プラAD継手HG（差口タイプ）の場合



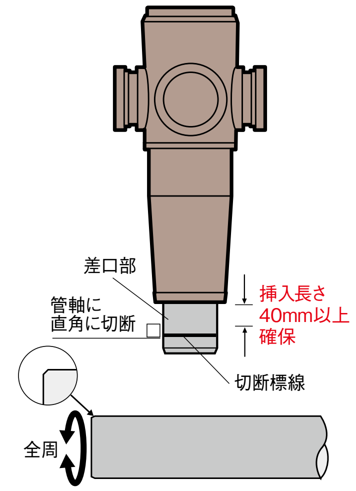
①切断

・納まりに応じて差口部の切断位置に標線を記入し、バンドソー、塩ビ用ノコギリを用いて切断してください。

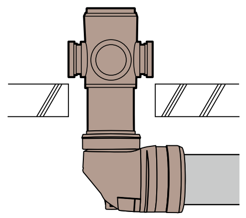
⚠ 切断時は被覆カバーの保護のため、カバーの過剰な締め付けは行わないでください。
⚠ 切断時はプラ脚部継手上流受口への挿入長さ40mm以上を必ず確保してください。差口S・M・Lの切断可能範囲は同じです。

②バリ取り、清掃

・面取り器等を用いて内外面全周にわたり糸面取りを行ってください。
・バリやカエリのないように管端面をきれいに仕上げてください。



⑤-2 耐火プラAD継手最下階タイプの場合



⚠ 耐火プラAD継手HG最下階タイプは必ずプラ脚部継手（呼び径125×125、125×150）と組み合わせてご使用ください。

①被覆カバーの切断

・本体切断位置より50mm上部の位置に切断標線を記入し被覆カバーをハサミで切断してください。

⚠ 被覆カバーの切断はハサミを使用してください。
　バンドソー等でのカバーの切断は行わないでください。

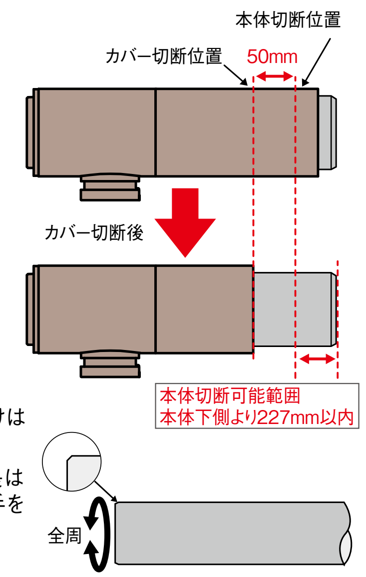
②本体の切断

・切断位置に標線を記入し、バンドソー、塩ビ用ノコギリを用いて本体を切断してください。

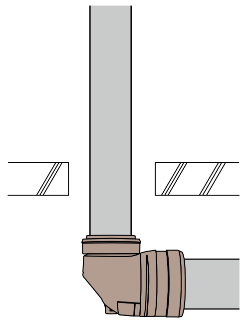
⚠ 管軸に直角に切断してください。
⚠ 高速砥石カッターは使用しないでください。
⚠ 本体の切断は本体下側より227mm以内にしてください。
⚠ 本体切断時は被覆カバーの保護のため、カバーの過剰な締め付けは行わないでください。
⚠ 耐火プラAD継手HG最下階タイプ本体下部への管の接続・延長は行わないでください。必ず最下階タイプ本体下部とプラ脚部継手を直接接続してください。

③本体のバリ取り、清掃

・面取り器等を用いて内外面全周にわたり糸面取りを行ってください。
・バリやカエリのないように管端面をきれいに仕上げてください。



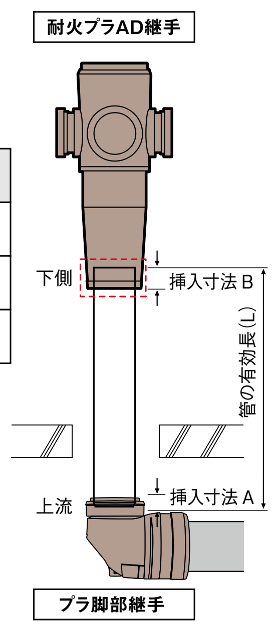
⑤-3 VPパイプS、耐火VPパイプSの場合



・P.52と同様の方法で内管をスライドして切断してください。
　ただし継手受口への挿入寸法合計は下表でご確認ください。

● 継手受口への挿入寸法合計

接合方法 ＼ 呼び径		75	100
A：プラ脚部継手上流受口	RR接合	40mm	40mm
B：耐火プラAD継手HG・SG下側受口	接着接合	40mm	50mm
A＋B		80mm	90mm



注意事項

設計上の注意事項

- ⚠ ご使用に当たっては、必ず最新の各エスロンプラスチック単管式排水システムの技術資料をご参照ください。
- ⚠ 本文に記載の許容排水量は、耐火プラAD継手HG・SGとプラ脚部継手もしくはAD脚部継手との組み合わせによるものです。耐火プラAD継手HG・SGを使用した立て管の最下部には必ずプラ脚部継手もしくはAD脚部継手をご使用ください。
- ⚠ 横主管の管径は、立て管管径よりも1サイズ以上大きくしてください。（負荷流量によっては2サイズ以上大きくなる場合があります。なお、便器排水、または洗濯排水が含まれる系統については125A以上としてください。）
- ⚠ 立て管でのオフセット配管は極力避けてください。やむを得ずオフセット配管となる場合には、バイパス通気管を設置する等の適切な処置を行ってください。（各技術資料をご参照ください。）また、オフセット部には適切な騒音対策をご検討ください。
- ⚠ 耐火プラAD継手HG・SG（二段タイプ含む）とADスリム継手（二段タイプ含む）・ADスリム継手ハイパワー・ADミニ継手は、同一立て管系統で混在して使用しないでください。
- ⚠ 立て管に流入されない階がある場合（無流入階）にも、基本的に各階に耐火プラAD継手HG・SGを設置してください。
- ⚠ 伸頂通気管の管径は、立て管の管径と同径以上としてください。
- ⚠ ベントキャップは、有効断面積が伸頂通気管の内断面積と同等以上あるものをご使用ください。
- ⚠ 「最下階合流システム」をご採用の場合は、最下階合流システムの設計基準に基づいて設計・施工を行ってください。詳細は各技術資料をご参照ください。
- ⚠ AD脚部継手　スリム直結ショートタイプは、「最下階合流システム」専用脚部継手ですので、従来システム（最下階住戸排水単独）では使用しないでください。
- ⚠ 耐火プラAD継手HG 最下階タイプは必ずプラ脚部継手(呼び径125×125、125×150)と組み合わせてご使用ください。

施工上の注意事項

- ⚠注意 他社耐火性硬質ポリ塩化ビニル管・継手との組み合わせは認定・評定外となりますので使用しないでください。
- ⚠注意 製品の重量が20kgを超える物については、必ず2人以上で持ち運びしてください。
- ⚠ 耐火プラAD継手HG・SGは落としたり、転倒させたりなど過度の衝撃を加えたりすると、破損する恐れがありますので取り扱いに注意してください。
- ⚠ プラ脚部継手、AD脚部継手は落としたり、過度の衝撃を加えたりすると、破損する恐れがありますので取り扱いに注意してください。
- ⚠ 耐火VPパイプは落としたり、過度の衝撃を加えたりすると、破損する恐れがありますので取り扱いに注意してください。
- ⚠ 管内に異物（木片、詰まり易い物）が入らないようにしてください。
- ⚠注意 耐火VPパイプSの運搬の際は、内管の抜け落ちにご注意ください。
- ⚠注意 挿入する管を切断、面取りする際には必ず管を固定してください。また、切り粉が目に入らないよう、必ず防塵メガネを着用してください。
- ⚠注意 挿入する管の外面やゴム輪内面に埃、砂などが付着したまま接合しないでください。漏水となる場合や、管の抜け出し抵抗力が低下する場合があります。
- ⚠ 横枝管、横主管の配管は適切な勾配にて配管し、必要に応じて支持金具で固定してください。
- ⚠注意 満水試験などの際には、水圧や空気圧により排水横枝管や枝栓が飛び出す恐れがありますので支持金具等で固定し、試験を行ってください。
- ⚠ 製品の保管は、高温、多湿、直射日光の当たる場所や砂・埃の多い場所は避けてください。パッキン等が劣化し、漏水の原因となる可能性があります。
- ⚠ 耐火VPパイプSの被覆カバーの隙間や継手との接続部には、音漏れ防止のため、テープ等で接続部の隙間処理を行ってください。
- ⚠ ガス給湯器等ガス機器と、周囲の配管との離隔距離については「ガス機器の設置基準及び実務指針」（一般財団法人　日本ガス機器検査協会）に定められた基準を遵守してください。またガス給湯器種類により緩和されることがありますので、具体的な離隔距離についてはガス事業者またはガス機器メーカーにご確認ください。
- ⚠ ガスコンロなどの直火の近くには配管しないでください。
- ⚠ 防火区画貫通の施工については、通知・認定書・評定書の内容をご確認ください。また、ご不明な点は、所轄の消防機関までご確認ください。
- ⚠ 耐火プラAD継手HGを施工する場合は必ず支持金具を取り付けてください。
- ⚠ 防火区画貫通は耐火プラAD継手HG・SGまたは耐火VPパイプで行ってください。耐火プラAD継手HG・SGと組み合わせてもVP管で防火区画を貫通することはできません。
- ⚠ 耐火プラAD継手HGを枝浮かし配管する際は、継手横枝管底とスラブ上面の距離は140mm以下としてください。
- ⚠ 耐火プラAD継手SGを枝浮かし配管する際は、継手横枝管底とスラブ上面の距離は50mm以下としてください。
- ⚠ 脚部継手はスラブに埋設しないでください。
- ⚠ 耐火プラAD継手HG・SG、遮音グレードの継手、遮音カバーの輸送・保管・施工・使用時には水分と接触しないようにしてください。段差スラブ等では、雨水がたまらないようにご配慮ください。
- ⚠ 耐火プラAD継手HG最下階タイプ本体下部への管の接続・延長は行わないでください。必ず最下階タイプ本体下部とプラ脚部継手を直接接続してください。

使用上の注意事項

- ⚠ エスロンプラスチック単管式排水システムシリーズは、重力式排水配管（無圧）です。集合住宅やホテルの汚水・雑排水等の生活排水以外のものは流さないでください。また、適切な伸縮処理が施されている場合は使用温度は60℃（排水温度）以下で使用可能ですが、屋内排水管路の形態は様々で、温度変化による力が複雑に作用し、有効な伸縮処理がとれない場合が多いことから、安全性を考慮して45℃未満でご使用ください。
- ⚠ エスロンプラスチック単管式排水システムシリーズを末永く安全・快適にご使用いただくために、必ず定期的な配管洗浄や保守点検を実施してください。また、洗浄に際しては継手および管内面の損傷を防ぐため、樹脂やゴム等で覆われた洗浄ホースをご使用ください。

耐火VPパイプの注意事項

- ⚠ 洗濯洗剤、食器洗い洗剤は必ず洗剤メーカー指定の濃度以下でご使用ください。高濃度の洗剤排水は泡の吹き出しトラブルが生じる場合があります。
- ⚠ 気泡力の高い洗濯槽クリーナーや入浴剤などのご使用は避けてください。泡の吹き出しトラブルが生じる場合があります。

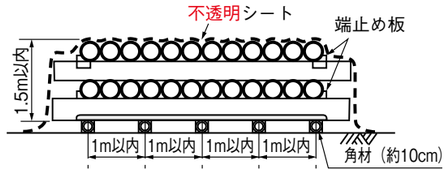
設計上の注意事項

- ⚠ エスロン耐火VPパイプ配管システムは、汚水、雑排水などの生活排水、雨水排水、通気の用途にお使いください。特殊排水用途や給水給湯など圧力が加わる用途には使用しないでください。
- ⚠ ご使用の際には必ず認定書、評定書の内容をご確認ください。他社耐火性硬質ポリ塩化ビニル管・継手との組み合わせは認定・評定外となりますので使用しないでください。
- ⚠ 防火区画貫通部から1m以内の範囲では、P.9～12及び、認定書、評定書の内容をご確認の上ご使用ください。また、1m以内で他の認定評定品と接続する場合には、認定・評定外となる恐れがありますので所轄の消防機関までご確認ください。
- ⚠ 換気ダクト類用途には使用できません。
- ⚠ 適切な伸縮処理を行ってください。
- ⚠ 防火区画貫通部についてご不明な点は、所轄の消防機関までご確認ください。

保管上の注意事項

- ⚠ 塩ビ管の反り、変形などを防止するため、平坦な場所に井げた積みし、不透明シートをかけて保管してください。また、端部には必ず荷くずれ防止の端止め材を施してください。

◇井げた積み



- ⚠ やむをえず立てかけ保管する場合は、安全確保のために、ロープがけなどの転倒防止策を施してください。
- ⚠ 原則、屋外で保管はしないでください。屋外で保管する場合は、塩ビ管の反りや変形などを防止するために、簡単な屋根を設けるか、不透明シートをかけて直射日光を避けるようにしてください。シートがけの場合は風通しがよくなるように注意してください。
- ⚠ 継手の変形やよごれを防止するため、屋内保管を原則としてください。特に、高温雰囲気下（夏場の車中等）は、継手が変形するおそれがあるため、さけてください。

施工上の注意事項

- ⚠警告 施工時に接着剤などの有機溶剤を使用する場合は、火気には充分注意してください。
- ⚠警告 接着剤使用時には、換気を充分に行ってください。また、接着剤が皮膚に付着したときは、速やかに落としてください。もし、気分が悪くなったり、身体に異常を感じた際には、速やかに医師の診断を受けてください。
- ⚠ 耐火VPパイプと耐火DV継手、透明耐火DV継手と接続する場合、接着剤を塗布した後は、速やかに管を奥まで差し込み、抜け戻りのないように保持してください。
- ⚠ 耐火VPパイプを継手に接続する場合は、たたき込み挿入を絶対に行わないでください。
- ⚠ 接着接合による配管完了後は、内面の接着剤の溶剤蒸気除去のため、必ず通風してください。
- ⚠ 管の加熱加工は、管が焦げたり焼けたり膨張して強度が低下する恐れがあるので、絶対に行わないでください。
- ⚠ 耐火VPパイプに直接ネジを切らないでください。
- ⚠ 中空壁、片面強化せっこうボード重張壁の防火区画貫通部処理にはシリコーン系シーリング材を使用してください。その他の防火区画はモルタルで埋め戻してください。
- ⚠ シーリング材には、硬質ポリ塩化ビニル管・継手に悪影響を及ぼす可塑剤（フタル酸エステル、DOP等）や有機溶剤（キシレン、トルエン等）を含む物（ポリウレタン系シーリング材等）があります。これらの成分を含むシーリング材は塩ビ管や継手に悪影響を及ぼす恐れがありますので使用しないでください。（推奨品: 積水フーラー社製　シリコーン系シーリング材）
- ⚠ 耐火VPパイプ・耐火DV継手・透明耐火DV継手は、有機溶剤に対して材質的に侵される恐れがあります。クレオソート（木材用防腐剤）、シロアリ駆除剤、殺虫剤、有機溶剤系塗料などに接触させないでください。
- ⚠ 可塑剤入りの被覆電線等は、耐火VPパイプ・耐火DV継手・透明耐火DV継手を侵すことがありますので、直接管・継手に接触させないでください。
- ⚠ 屋外露出配管では、直射日光による管の劣化を防ぎ、また外部衝撃から保護するために防護カバーをつけるなどの措置をとってください。露出管となる場合は塩ビ管に適した塗料で塗装してください。
- ⚠ ガス給湯器等ガス機器と周囲の配管との離隔距離については、ガス機器の設置基準及び実務指針（一般財団法人　日本ガス機器検査協会）に定められた基準を遵守ください。またガス給湯器の機種により緩和されることがありますので具体的な離隔距離についてはガス事業者またはガス機器メーカーにご確認ください。
- ⚠ ガスコンロなどの直火の近くには配管しないでください。
- ⚠ 製品の重量が20kgを超えるものについては必ず2人以上で持ち運びしてください。

耐火VPパイプの注意事項

使用上の注意事項

⚠ 硬質ポリ塩化ビニルは、高温水が連続して流れると軟化します。また、温度変化によって伸び縮みし、耐火VPパイプ・耐火DV継手が破損する場合がありますので、差し込みソケットを使用するなど適切な伸縮処理が必要となります。適切な伸縮処理が施されている場合は60℃以下の排水管路に使用可能ですが、屋内排水管路の形態は様々で、温度変化による力が複雑に作用し、有効な伸縮処理がとれない場合が多いことから、安全性を考慮して45℃未満でご使用ください。

⚠ 長期的に安全・快適にご使用いただくために、必ず定期的な高圧洗浄水による配管洗浄および保守点検を実施してください。また、洗浄に際しては継手および管の内面の損傷を防ぐため、樹脂やゴム等で覆われたホースをお使いください。

※上記注意事項を守らずにご使用された場合の破損、事故に関しては、当社では責任をおいかねますのでご了承ください。
※FS-VP、FS-DVは、日本における登録商標です。

塩ビ管・継手のリサイクルについて

⚠警告 塩ビ管・継手は現場焼却しないでください。有害な塩化水素ガスが発生し、たいへん危険です。

⚠警告 塩ビ管・継手の残材や使用後の廃材の処分は、法令および地方自治体の条例に従ってください。なお、残材や廃材はハンマーなどによる破砕は、破片が飛散し危険です。

●「耐火VPパイプ配管システムカタログ」に記載されている耐火VPパイプ・耐火DV継手製品は、塩化ビニル管・継手協会のリサイクル対象製品です。

●耐火VPパイプ・耐火DV継手廃材の持ち込み先は、リサイクル協力会社、中間集積場、または小口集積場（管工事組合の集積場）です。

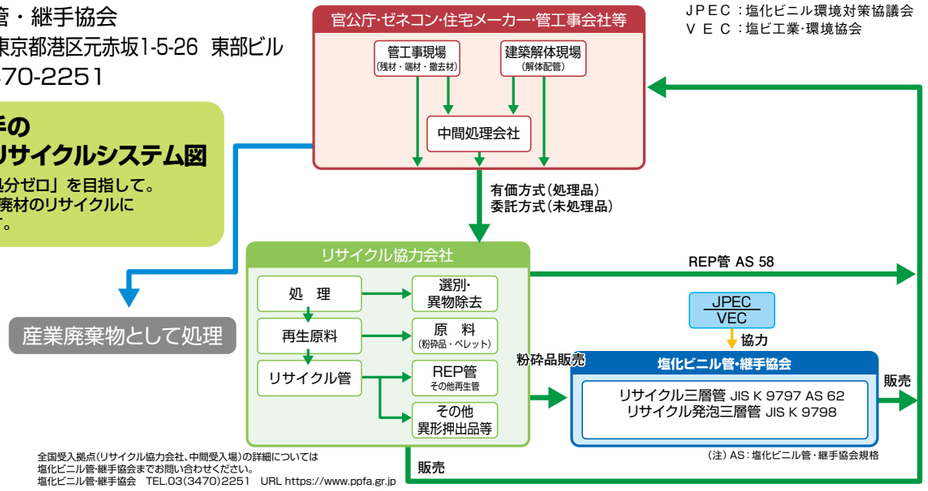
●廃材を持ち込む際には、事前に廃材持ち込み先へ連絡してください。

●廃材の持ち込み先、持ち込み基準、硬質ポリ塩ビ管・継手のリサイクルの詳細につきましては、塩化ビニル管・継手協会へお問合せください。

塩化ビニル管・継手協会
〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル
TEL.03-3470-2251

塩ビ管・継手のマテリアルリサイクルシステム図

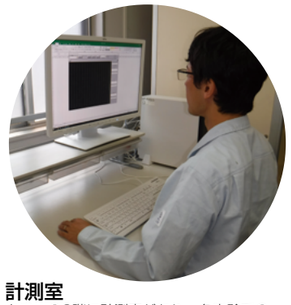
「焼却・埋め立て処分ゼロ」を目指して。
積水化学は、塩ビ廃材のリサイクルに取り組んでいます。



単管式排水システム実験塔“エスロンタワー”

積水化学が誇る、高さ約52mの建物排水実験塔（17階）

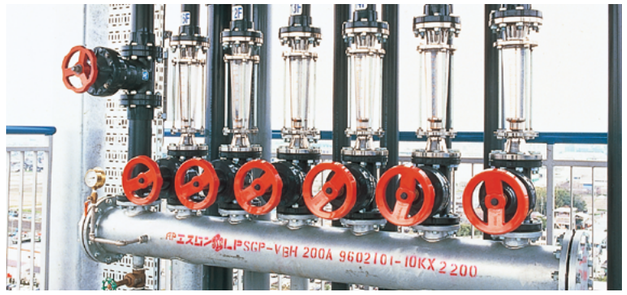
建物排水は、理論式だけでは簡単に片付けられない複雑な要因が重なり合っていることが多く、カタログや技術資料だけでは十分に満足して頂き難い分野であり、また建築物の高層化が進むにつれ、より一層複雑になってきております。そこで、このような現状に対応するために滋賀栗東工場内に業界一の規模を誇る建物排水実験塔「エスロンタワー」を完成いたしました。当社では、この「エスロンタワー」を用いて定常流排水性能実験、器具排水性能実験、洗剤排水実験、雑物排水実験等の様々な実験を行うことにより、建物排水分野での技術確立を図り皆様のお役に立ちたいと考えております。



計測室
タワーの2階に計測室があり、各実験での管内圧力変動をリアルタイムで画面に写し出すことができます。

立て管・継手
継手にはADスリム継手を、立て管にはDVLPの管を用いており、排水流下状況の確認、および管内圧力変動の測定ができます。

器具排水
実際に浴槽、便器を使用して器具排水を行った場合の、管内圧力変動を測定することができます。



定常流排水
途中階に設けられたヘッダーより流量計を通して、各階へ定常流排水を行うことができます。